

函館の教育 2017

函館市教育委員会

函館市教育目標

- 1 資源を愛護し、すすんでこれを開発利用する市民
- 2 勤労を愛好し、科学的に生産を高める市民
- 3 生命の保存に努め、地域に適した健康生活を実践する市民
- 4 郷土を愛し、広い視野から郷土文化を創造する市民
- 5 政治や法律がわかり、公民として活動をりっぱにする市民
- 6 たがいに敬愛し、民主的徳徳を実践する市民

市民憲章

- 1 真心あふれる函館市民、あたたかいまち
- 1 健康で働く函館市民、にぎわうまち
- 1 文化を誇る函館市民、はぐくむまち
- 1 自然を生かす函館市民、きれいなまち
- 1 郷土を愛する函館市民、のびゆくまち

(昭和 52 年 5 月 3 日制定)

都市宣言

- ・ 安全都市宣言
(昭和 36 年 3 月 6 日制定)
- ・ 核兵器廃絶平和都市宣言
(昭和 59 年 8 月 6 日制定)
- ・ 国際観光都市宣言
(平成元年 8 月 1 日制定)
- ・ スポーツ健康都市宣言
(平成 4 年 10 月 10 日制定)
- ・ いきいき長寿都市宣言
(平成 6 年 12 月 10 日制定)

「函館の教育」の刊行にあたって

函館市教育委員会教育長 辻 俊行

急速な人口減少や少子高齢化、高度情報化の進展など、社会情勢が大きく変化するなかで、市民一人ひとりが主体的に社会に関わり、活力ある地域社会を創り出していくことが求められており、そのためには、新たな価値を創造していく柔軟性を持ち地域の発展を支える人材の育成が重要であります。

人口減少や少子高齢化が進展するなかで、持続可能なまちづくりを進めるためには、生涯にわたって他者と絆を結び、様々な困難を乗り越えながら、夢と志の実現のために挑戦し、活力ある社会づくりに貢献していく人材を育成することが一層重要になります。

また、そうした市民一人ひとりの力を高めるためには、学校教育はもとより、生涯を通じて学び、様々な課題を協働して解決する経験の積み重ねが地域を支える人づくりに不可欠であり、教育の果たす役割は極めて重要であります。

教育委員会といたしましては、社会の要請や時代の変化に柔軟かつ真摯に対応するとともに、郷土に愛着と誇りをもち、本市の魅力をさらに高めることができる人材の育成を目指し、

○豊かな人生を支援する生涯学習の充実

○子どもの「生きる力」を育む学校教育の推進

の2つの重点目標を掲げ、教育行政の積極的な推進に努めてまいります。

この「函館の教育」は、本市における教育の現況を理解していただくために、刊行いたしました。

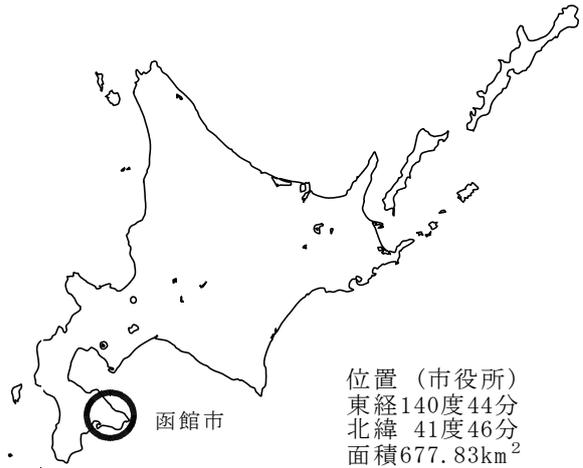
皆様のさらなるご理解とご支援をお願い申し上げます。

函館市の概況

函館は、古くは室町時代の享徳3年(1454年)、津軽の豪族 河野政通が宇須岸(ウスケシ:アイヌ語で湾の端の意)と呼ばれていた漁村に館を築き、この館が箱に似ているところから「箱館」と呼ばれることになりました。

明治2年(1869年)、蝦夷が北海道となり、箱館も函館と改められました。

函館市は、渡島半島の南東部に位置し、東・南・北の三方を太平洋・津軽海峡に囲まれ、西は北斗市・七飯町・鹿部町と接しています。



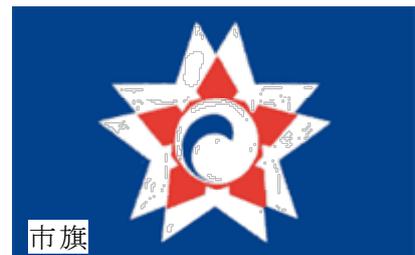
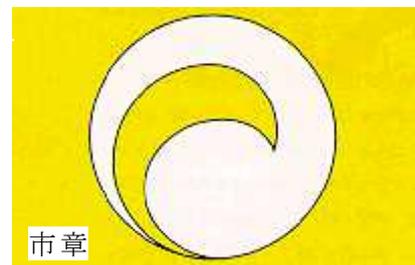
- 市の木 おんこ(いちい)
- 市の花 つつじ(やまつつじ)
- 市の鳥 ヤマガラ
- 市の魚 イカ

姉妹都市

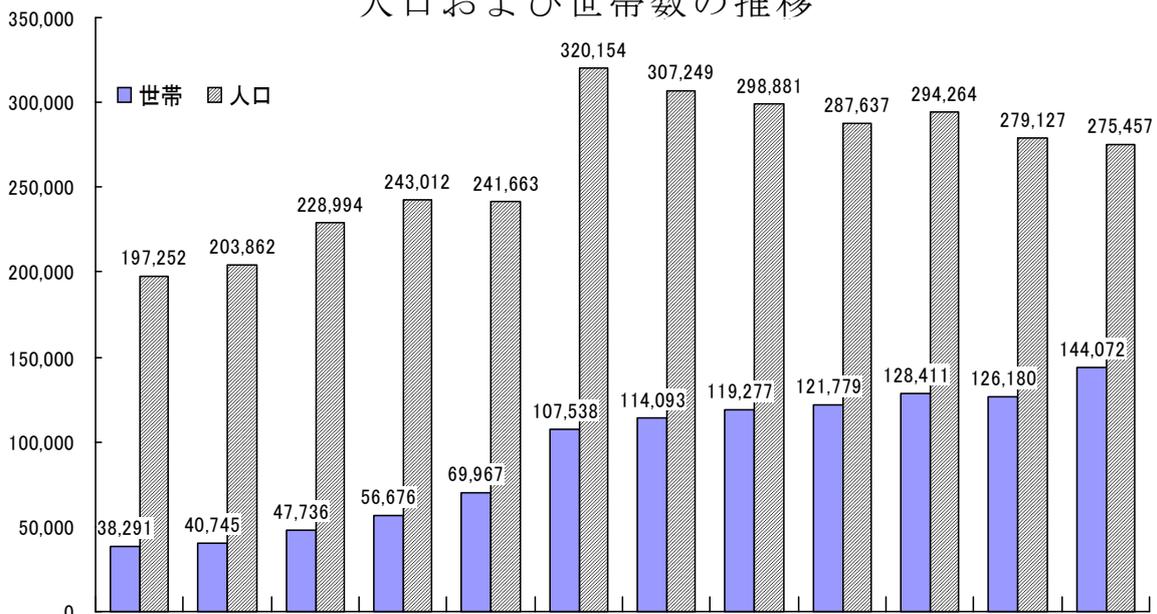
- ハリファックス市 (カナダ S57. 11. 25提携)
- ウラジオストク市 (ロシア連邦 H4. 7. 28提携)
- レイク・マコーリー市 (オーストラリア H4. 7. 31提携)
- ユジノサハリンスク市(ロシア連邦 H9. 9. 27提携)
- 高陽市 (韓国 H23. 8. 1提携)

友好交流都市

- 天津市 (中華人民共和国 H13. 10. 18提携)



人口および世帯数の推移



昭和5年 昭和15年 昭和25年 昭和35年 昭和45年 昭和55年 平成2年 平成7年 平成12年 平成17年 平成22年 平成25年
 ← 国勢調査 → 住民基本台帳 人口7月末日

総目次

I 教育行財政

1	教育委員	1
2	附属機関委員	2
3	行政組織	5
4	組織の編成	7
5	教育財政	8

II 生涯学習

1	生涯学習の推進	12
2	社会教育の重点	13
3	社会教育事業の概要	14
4	社会教育・スポーツ施設の概要	43
5	学校開放事業の概要	82

III 学校教育

	函館市の学校教育の充実に向けて	85
1	市立学校施設一覧	86
2	児童・生徒	90
3	学校保健	92
4	学校安全	94
5	学校給食	95
6	就学援助	96
7	特別支援	98
8	中学生海外派遣事業	99
9	函館市南北海道教育センター	100

IV 資料編

1	函館市教育の沿革概要	102
2	函館市内の指定文化財	119
3	市立学校・幼稚園一覧	126
4	市内学校・幼稚園一覧(市立学校・幼稚園を除く)	130
5	社会教育関係団体一覧	132

I 教育行財政

1	教育委員	1
2	附属機関委員	2
3	行政組織	5
4	組織の編成	7
5	教育財政	8

1 教育委員



教育長

委員

(教育長職務代理者)

委員

委員

委員

辻 俊行 藤井 壽夫 小葉松 洋子 須田 新崇 青田 基

役職	氏名	性別	就任年月日	現在の任期
教育長	辻 俊行	男	平成29年4月1日	(1期目) 平成29年4月1日 ～ 平成32年3月31日
委員 (教育長職務代理者)	藤井 壽夫	男	平成28年10月24日	(1期目) 平成28年10月24日 ～ 平成29年10月23日
委員	小葉松 洋子	女	平成19年10月23日	(3期目) 平成27年10月23日 ～ 平成31年10月22日
委員	須田 新崇	男	平成26年10月15日	(1期目) 平成26年10月15日 ～ 平成30年10月14日
委員	青田 基	男	平成28年10月24日	(1期目) 平成28年10月24日 ～ 平成32年10月23日

2 附属機関委員（平成29.9.1現在）

(1) 函館市学校教育審議会

（発足）「函館市学校教育審議会条例」に基づき、昭和46年発足

（目的）教育委員会の諮問に応じ、児童生徒の通学区域の設定または変更に関する事項について調査審議する。

（委員）学識経験者、PTA、市立学校の教職員（25人以内）

（任期）平成31年8月31日まで

氏名	役職名
鶴 晟司	函館市町会連合会常任理事
藤川 隆	函館大学教授
小松 一保	北海道教育大学教授
大西 正光	函館短期大学教授
長谷 恵	北海道退職校長会函館支部理事
高橋 登	北海道退職校長会函館支部
横田 貴之	函館青年会議所顧問
千山 毅	函館市PTA連合会会長
竹内 岳	函館市PTA連合会副会長
唐崎 圭輔	函館市PTA連合会副会長
相馬 礼子	函館市PTA連合会母親委員
福田 幹一	函館市PTA連合会常任委員
中川 志保	函館市PTA連合会母親委員
安井 睦美	函館市PTA連合会母親委員
山田 幸俊	函館市小学校長会会長
花田 譲	函館市小学校長会副会長
蓮本 裕一	函館市中学校長会事務局長
風間 和夫	函館市中学校長会事務局次長
田湯 義浩	函館市小学校教頭会事務局長
對馬 寿恵	函館市中学校教頭会
土川 千枝	函館市立戸井幼稚園長
木村 一雄	函館市私立幼稚園協会会長
太田 幸子	函館保育協会監事
豊田 リカ	函館保育協会
伊藤 史人	北海道教職員組合函館支部書記次長

(2) 函館市教育支援委員会

（発足）「函館市就学指導委員会条例」に基づき、平成10年発足

平成27年4月より、函館市就学指導委員会から名称変更。

（目的）教育委員会の諮問に応じ、教育上特別な配慮を要する児童生徒の心身の障がいの種類、程度等について調査審議する。

（委員）医師、学識経験者、教育職員、児童福祉施設の職員、関係行政機関の職員（20人以内）

（任期）平成30年5月25日まで

氏名	役職名
廣瀬 三恵子	函館中央病院小児科囃医
加藤 知子	かとうメンタルクリニック副院長
細谷 一博	北海道教育大学函館校准教授
阿部 千春	函館大谷短期大学こども学科講師
水野 修	函館特別支援教育研究会会長
工藤 千香	函館市中学校長会
松田 賢治	函館市中学校長会
工藤 勉	函館市小学校長会
生内 聡	北海道函館養護学校長
平田 新次郎	函館市立亀田小学校教諭
檜原 永都子	児童発達支援センターうみのほし園長
畑中 雅昭	函館特別支援教育研究会副会長
細川 和成	函館市中学校教頭会
小濱 誠	函館市小学校教頭会
櫻井 信太郎	函館市立五稜郭中学校教諭
三浦 眞紀	函館市立日吉が丘小学校教諭
早坂 文雄	はこだて療育・自立支援センター主査
戸巻 淳	おしま地域療養センター副所長
南部 葵	北海道函館児童相談所判定援助係長
曾根田 敏彦	北海道函館児童相談所子ども支援課長

(3) 函館市青少年芸術教育奨励事業企画推進委員会

- (発足) 「函館市青少年芸術教育奨励基金の設置および管理に関する条例」に基づき、平成3年発足
- (目的) 奨励事業の実施について教育長から付託された専門的事項について審議する。
- (委員) 小・中学校長会、高等学校長協会道南支部、PTA連合会および文化団体協議会の各代表(5人)

(任期) 平成29年6月17日まで

氏名	役職名
阿部 哲治	函館市文化団体協議会事務局長
板東 成美	函館市PTA連合会
西田 正史	北海道高等学校長協会道南支部
宇佐美 雅司	函館市小学校長会代表
中村 吉秀	函館市中学校長会代表

(4) 函館市スポーツ振興審議会

- (発足) 「函館市スポーツ振興審議会条例」に基づき、平成3年に発足
- (目的) 教育委員会の諮問に応じ、スポーツ振興に関する重要事項について調査審議する。
- (委員) 学識経験のある者、関係団体の推薦する者、公募による者(10人以内)

(任期) 平成29年12月21日まで

氏名	役職名
近藤 健	函館市体育協会副会長
名古屋 貞俊	函館市スポーツ推進委員会会長
高井 真澄美	函館市中学校体育連盟学校代表幹事
川口 正勝	北海道高等学校体育連盟函館支部委員
伊藤 和恵	函館レクリエーション協会理事
橋本 友幸	(公社)函館市医師会理事
堀田 剛史	(一社)函館青年会議所理事長
原子 はるみ	函館短期大学教授
嘉多山 幸雄	公募
小泉 正勝	公募

(5) 函館市社会教育委員

- (発足) 「函館市社会教育委員設置条例」に基づき、昭和24年発足
- (目的) 教育委員会の諮問に応じ、社会教育に関する諸計画の立案に関して意見を述べるほか、社会教育について調査・研究する。
- (委員) 学校の長、社会教育関係団体の代表者、学識経験者および公募(15人)
- (任期) 平成30年3月10日まで

氏名	役職名
池田 孝道	NPO法人函館市青年サークル協議会
佐々木 満代	函館市文化団体協議会副会長
長谷川 巖	函館市小学校長会
滝澤 智子	函館市中学校長会
佐竹 卓	北海道高等学校長協会道南支部
外崎 紅馬	北海道教育大学函館校准教授
佐々木 香	函館市女性会議会長
絹野 重治	函館市体育協会理事
竹内 岳	函館市PTA連合会副会長
森山 智子	公益社団法人函館法人会女性部会員
宍戸 仁明	日本放送協会函館放送局放送部長
相原 秀起	北海道新聞社函館支社報道部長
川口 英孝	函館市町会連合会東部地区協議会副会長
澤田 寛之	公募
菅野 寿恵	公募

(6) 函館市文化財保護審議会

(発足) 「函館市文化財保護条例」に基づき、昭和58年発足

(目的) 教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存・活用に関する重要事項について調査審議する。

(委員) 学識経験者等 (14人以内)

(任期) 平成29年9月30日まで

氏名	役職名
石王 紀仁	石王紀仁建築設計事務所代表
奥山 三雄	一級建築士
上平 幸好	函館短期大学名誉教授
齊藤 サダ	北栄測量設計(株)専務取締役
中村 和之	函館工業高等専門学校副校長
練谷 喜文	北海道函館中部高等学校教諭
松崎 水穂	元上ノ国町教育委員会文化財課長
村田 敦郎	北海道教育大学函館校准教授
柳 英克	公立ほこだて未来大学教授
小栗 祐美	北海道教育大学函館校教授

(7) 博物館協議会

(発足) 「市立函館博物館条例」に基づき、昭和27年発足

(目的) 館長の諮問に応じ、博物館の運営に関し意見を述べる。

(委員) 学校教育・社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者および公募(11人以内)

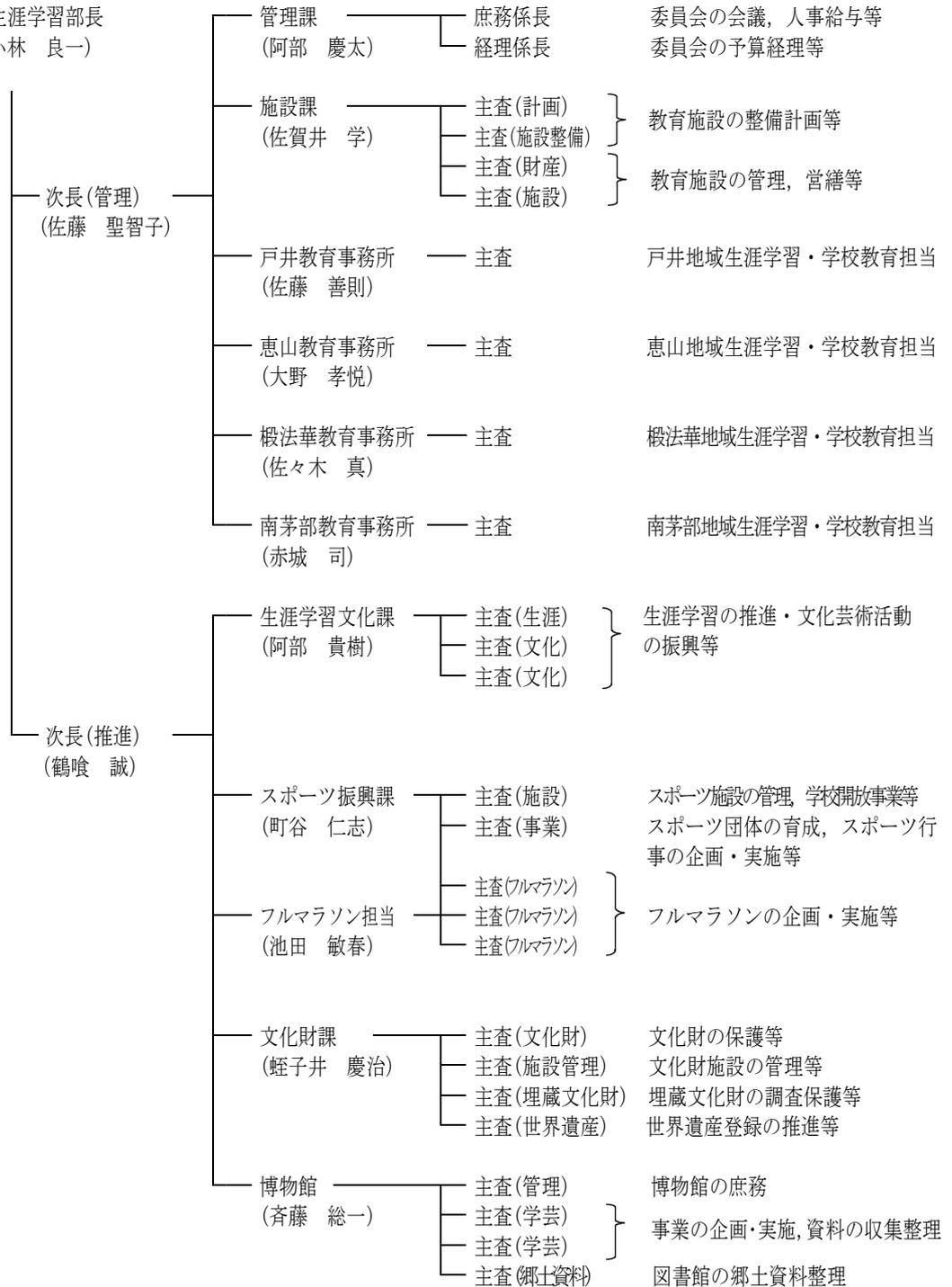
(任期) 平成30年2月21日まで

氏名	役職名
佐々木 馨	北海道教育大学函館校特任教授
川嶋 稔夫	公立ほこだて未来大学教授
小山 みゆき	函館市小学校長会
武井 佳子	函館市文化団体協議会舞台委員長
野澤 信子	函館市社会学級生連絡協議会会長
館 佳代	函館市PTA連合会 母親委員
山内 一男	(株)建築企画山内事務所代表取締役
若山 直	(株)五島軒代表取締役社長
駒井 惇助	公募
藤野 広善	公募
大泉 三郎	公募

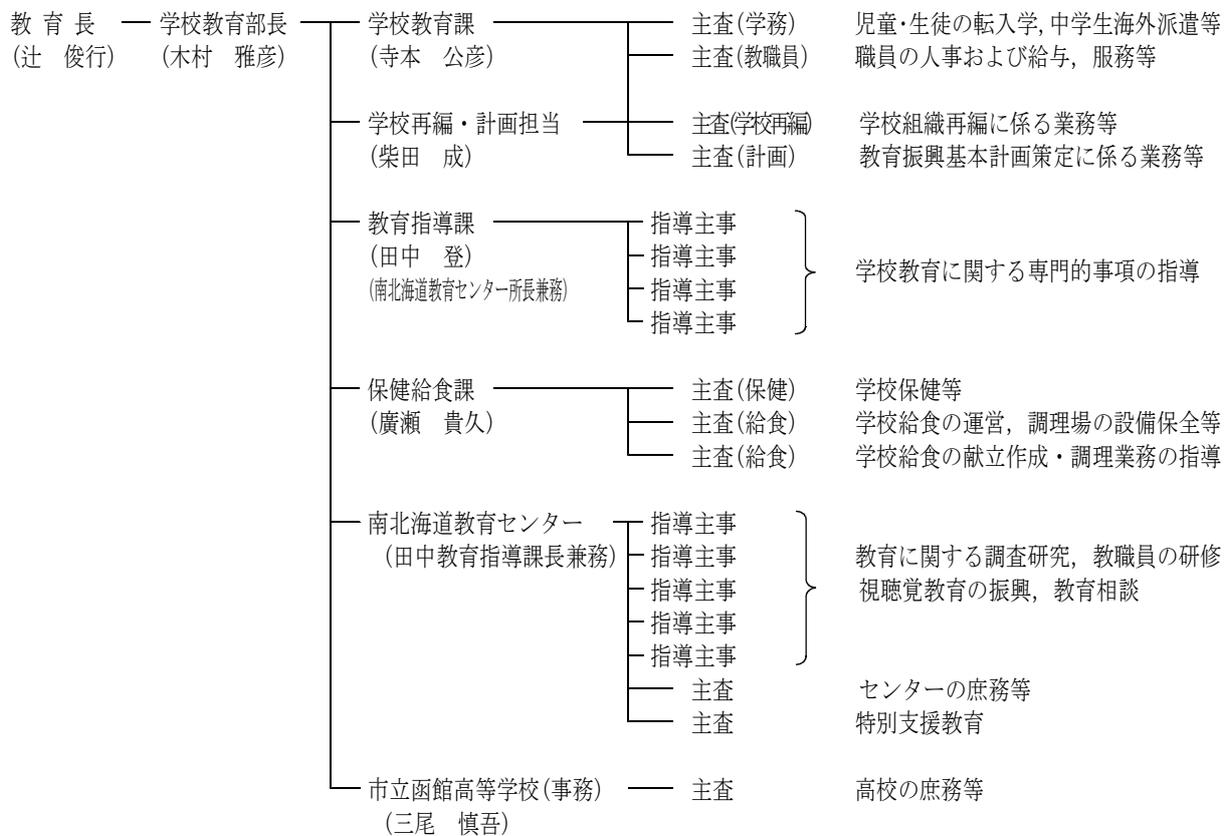
3 行政組織 (平成29年4月1日現在)

(1) 生涯学習部

教育長 — 生涯学習部長
(辻 俊行) (小林 良一)



(2) 学校教育部



4 組織の編成

(1) 教育委員会関係職員総数

(平成29年6月1日現在)

区 分	職 員 数
事務局関係職員数	129人
学校関係職員数	1,511人 (うち市費職員256人)
合 計	1,640人

※ 学校関係職員数のうち市費職員には嘱託職員を含む

(2) 事務局関係職員数

※ 派遣主事除く，社会教育主事は再掲 (平成29年6月1日現在)

部 名	区 分 課 名	一般行政職			栄養士	指導主事	社会教育主事	計
		一般事務	一般技術	学芸員				
生涯学習部	管理課	17						17
	施設課	8	3					11
	戸井教育事務所	2	1					3
	恵山教育事務所	4						4
	椴法華教育事務所	2	1					3
	南茅部教育事務所	2	2					4
	生涯学習文化課	12					※1	12
	スポーツ振興課	10	2					12
	文化財課	5		4				9
	博物館	7		4				11
	計	69	9	8				86
学校教育部	学校教育課	18						18
	教育指導課	1				4		5
	保健給食課	8			3			11
	南北海道教育センター	4				5		9
	計	31			3	9		43
	合 計	100	9	8	3	9	※1	129

※社会教育主事1名は生涯学習部一般事務内に含まれる。

(3) 学校関係職員数内訳

※ 嘱託職員を含む

(平成29年6月1日現在)

区 分	教 育 職 員						そ の 他 の 職 員						合計
	校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	小計	事務	栄養職員	実習助手	調理	用務	小計	
小学校	45	46	580	46	14	731	道48 72	2		17	71	162	893
中学校	25	24	370	23	10	452	道24 35			10	36	81	533
高等学校	1	2	64	2		69	5		1			6	75
幼稚園	2	1	5			8	1				1	2	10
計	73	73	1,019	71	24	1,260	113	2	1	27	108	251	1,511

5 教育財政

(1) 平成29年度一般会計予算（当初）

歳 入

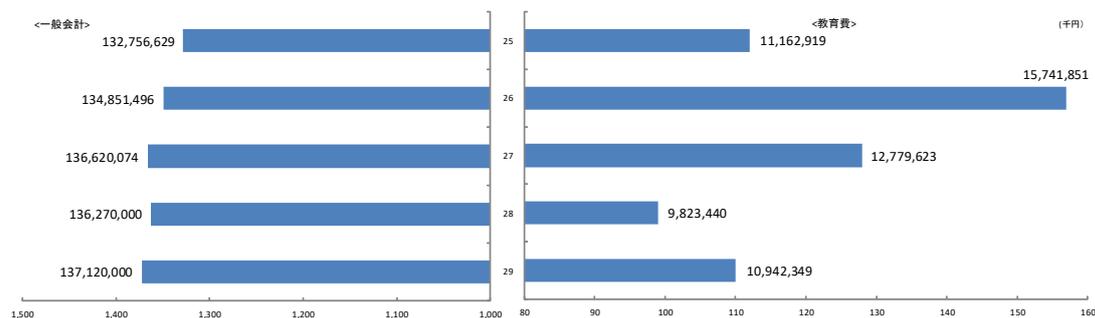
款	予 算 額	構成比	
		千円	%
1 市 税	31,711,000		23.1
2 地 方 譲 与 税	723,200		0.5
3 利 子 割 交 付 金	24,000		0.0
4 配 当 割 交 付 金	97,000		0.1
5 株式等譲渡所得割交付金	69,000		0.0
6 地方消費税交付金	4,853,700		3.5
7 ゴルフ場利用税交付金	14,000		0.0
8 自動車取得税交付金	143,300		0.1
9 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	2,200		0.0
10 地方特例交付金	119,600		0.1
11 地 方 交 付 税	32,856,000		24.0
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	47,900		0.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	360,344		0.3
14 使 用 料 及 び 手 数 料	3,647,178		2.7
15 国 庫 支 出 金	28,045,969		20.5
16 道 支 出 金	7,546,119		5.5
17 財 産 収 入	726,102		0.5
18 寄 付 金	548,202		0.4
19 繰 入 金	3,294,378		2.4
20 繰 越 金	100,000		0.1
21 諸 収 入	10,846,708		7.9
22 市 債	11,344,100		8.3
計	137,120,000		100

歳 出

款	予 算 額	構成比	
		千円	%
1 議 会 費	403,283		0.3
2 総 務 費	5,306,081		3.9
3 民 生 費	52,094,092		38.0
4 衛 生 費	8,821,982		6.4
5 労 働 費	146,436		0.1
6 農 林 水 産 費	741,816		0.5
7 商 工 費	11,336,176		8.3
8 土 木 費	10,879,749		7.9
9 消 防 費	694,581		0.5
10 教 育 費	(10,942,349) 8,027,688		(8.0) 5.9
11 公 債 費	14,123,677		10.3
12 諸 支 出 金	7,028,612		5.1
13 職 員 費	17,415,827		12.7
14 予 備 費	100,000		0.1
計	137,120,000		100

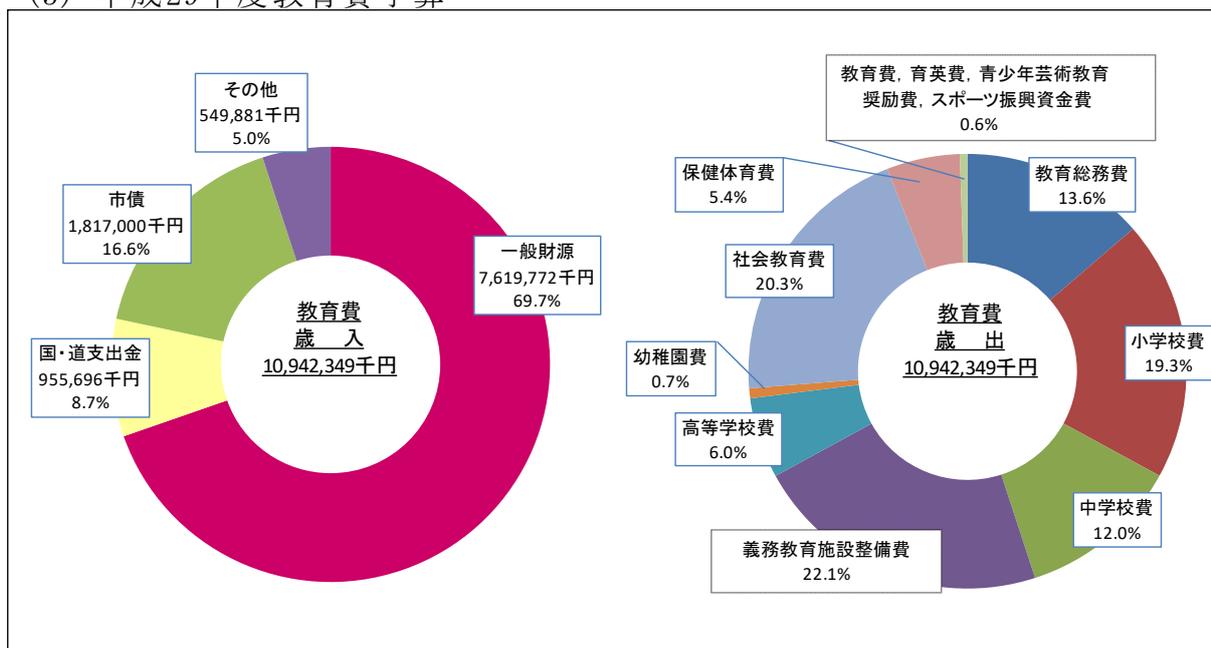
※ ()は職員費を含んだ場合の額

(2) 教育費の推移



年 度	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9
人 口 A	26. 3. 31時点 272, 530人	27. 3. 31時点 269, 628人	28. 3. 31時点 266, 773人	29. 3. 31時点 263, 706人	29. 6. 30時点 263, 685人
一 般 会 計 B	千円 132, 756, 629	千円 134, 851, 496	千円 136, 620, 075	千円 138, 016, 352	千円 137, 120, 000
教 育 費 C ※ 職員費含む	千円 11, 162, 919	千円 15, 741, 851	千円 12, 779, 623	千円 9, 151, 252	千円 10, 942, 349
市民一人当たりの経費 B / A	円 487, 127	円 500, 139	円 512, 121	円 523, 372	円 520, 014
市民一人当たりの教育費 C / A	円 40, 960	円 58, 384	円 47, 904	円 34, 702	円 41, 498
構 成 比 C / B	% 8. 4	% 11. 7	% 9. 4	% 6. 6	% 8. 0
備 考	決算額	決算額	決算額	決算見込	予算額

(3) 平成29年度教育費予算



分担金及び負担金	6,677千円
使用料及び手数料	332,037千円
財産収入	1,715千円
寄附金	19,127千円
繰入金	93,657千円
諸収入	96,668千円

項 目	予 算 額	内 訳					
		職 員 費	構 成 比	経 常 費	構 成 比	事 業 費	構 成 比
	千円	千円	%	千円	%	千円	%
1 教育総務費	1,492,361	741,193	49.7	389,909	26.1	361,259	24.2
2 小学校費	2,116,529	738,829	34.9	1,311,271	62.0	66,429	3.1
3 中学校費	1,315,796	332,130	25.3	898,991	68.3	84,675	6.4
4 義務教育施設整備費 (小学校分) (中学校分)	2,406,080 (5,152) (2,400,928)	— — —	— — —	— — —	— — —	2,406,080 (5,152) (2,400,928)	100.0
5 高等学校費	657,674	584,299	88.8	73,375	11.2	—	—
6 幼稚園費	81,732	69,645	85.2	12,087	14.8	—	—
7 社会教育費	2,218,645	261,047	11.7	1,614,708	72.8	342,890	15.5
8 保健体育費	592,247	187,518	31.6	151,359	25.6	253,370	42.8
9 奨学費	50,268	—	—	3,118	6.2	47,150	93.8
10 育英費	2,160	—	—	—	—	2,160	100.0
11 青少年芸術教育奨励費	3,396	—	—	50	1.5	3,346	98.5
12 スポーツ振興資金費	5,461	—	—	561	10.3	4,900	89.7
計	10,942,349	2,914,661	26.6	4,455,429	40.7	3,572,259	32.7

(4) 平成29年度教育費予算の主な内容（単位：千円）

生涯学習の推進

亀田地区統合施設整備費	亀田地区における5つの公共施設、「亀田福祉センター」「亀田青少年会館」「亀田公民館」「美原老人福祉センター」「美原児童館」の統合施設整備に向けた実施設計ほか	76,454
生涯学習推進費	高齢者対象大学を行う市民交流施設 「ふらっとD a i m o n」の開設等	6,396

文化芸術の振興・文化財の保存整備

文化芸術アウトリーチ事業費	小・中学校に芸術家等を派遣し、ワークショップ等を実施	3,000
特別史跡五稜郭跡環境整備事業費	石垣保存修理工事ほか	145,200
史跡垣ノ島遺跡整備事業費	史跡整備に向けた発掘調査、実施設計ほか	64,800

スポーツ・レクリエーションの振興

函館マラソン大会開催負担金	フルマラソンおよびハーフマラソンを同時開催 参加定員 各4,000人	36,000
函館フットボールパーク移転改修事業費	新外環状道路整備等に伴うクレーグラウンド等の移転	117,280
スポーツ大会・合宿誘致推進事業費	アリーナ・フットボールパーク等への大会・合宿誘致活動	1,741
スポーツ合宿誘致補助金	市内でスポーツ合宿をする実業団等に対する補助	4,000

義務教育の充実

コミュニティ・スクール推進事業費	保護者および地域住民等が学校運営に参画する 「学校運営協議会」の設置	307
学力検査等関係経費	小4・中1を対象とした標準学力検査の実施	4,323
アフタースクール運営交付金	小学校を会場として地域団体が主体的に行う放課後等の 学習活動に対する支援	1,700
アクティブ・ラーニング推進事業費	各地の導入校への視察・調査、講師を招聘し実践・研究	6,774
学力向上非常勤講師配置事業費	小学校算数科指導および中学校免許外教科担任を 解消するため、非常勤講師を配置	15,531
部活動地域支援者活用事業費	専門的な技術指導が出来る地域支援者の活用	4,703
いじめ・不登校等対策推進費	こころの相談員の配置、いじめ等対策委員会の開催	4,339
中学生海外派遣事業関係経費	姉妹都市であるロシア・ユジノサハリンスク市への派遣	7,800
高校生海外留学事業関係経費	市内高等学校に通う高校2年生10名をオーストラリアへ 3か月派遣	14,827
校舎等耐震改修事業費	耐震改修工事に向けた実施設計（亀田小）および 屋内運動場の耐震改修工事（戸倉中）	81,466
統合校新築事業費	巴中校舎等の新築工事ほか	2,296,200
統合校改修事業費	西・潮見・宇賀の浦中統合校舎等（現潮見中）の改修	28,414
学校給食設備改善事業費	給食調理場の衛生設備および給食設備の設置・更新	25,316

特別支援教育の充実

特別支援教育支援員関係経費	小・中学校への特別支援教育支援員の配置	62,493
特別支援教育推進事業費	教育支援委員会の開催、巡回指導員の配置等	4,738

Ⅱ 生涯学習

1	生涯学習の推進	12
2	社会教育の重点	13
3	社会教育事業の概要	
	(1) 平成28年度事業の紹介	14
	(2) 平成27年度事業の実績	27
4	社会教育・スポーツ施設の概要	
	(1) 社会教育施設の概要一覧	43
	函館市公民館・亀田公民館	45
	函館市戸井西部総合センター	46
	函館市戸井生涯学習センター	46
	函館市戸井総合学習センター	47
	函館市榎法華総合センター	48
	函館市南茅部総合センター	49
	函館市亀田福祉センター	50
	函館市青年センター	51
	函館市青少年研修センター(ふるる函館)	52
	函館市亀田青少年会館	53
	函館市南茅部青少年会館	54
	函館市中央図書館	55
	市立函館博物館	56
	函館市重要文化財旧函館区公会堂	57
	函館市北洋資料館	58
	函館市文学館	59
	函館市北方民族資料館	60
	箱館奉行所	61
	函館市縄文文化交流センター	62
	函館市民会館	63
	函館市芸術ホール(ハーモニー五稜郭)	64

(2) スポーツ施設の概要一覧	65
千代台公園陸上競技場	67
千代台公園野球場(オーシャンスタジアム)	68
西桔梗野球場	69
函館市戸井運動広場	69
函館市恵山運動広場	70
函館市南茅部運動広場	70
函館フットボールパーク	71
根崎公園ラグビー場	72
千代台公園庭球場	72
函館市南茅部市民庭球場	73
函館アリーナ	74
函館市恵山総合体育館	75
函館市南茅部スポーツセンター	75
函館市民プール	76
函館市恵山プール	77
函館市南茅部プール	77
千代台公園弓道場	78
根崎公園アーチェリー場	78
函館市入舟町前浜海水浴場	79
函館市臼尻スキー場	80
函館市民スケート場	80
(3) 社会教育・スポーツ施設の利用状況	81
5 学校開放事業の概要	
(1) スポーツ開放事業	82
(2) 文化開放事業	83
(3) 学校開放状況の推移	84

1 生涯学習の推進

生涯学習推進の基本的な考え方

市民一人ひとりが生きがいとゆとりある人生を過ごすためには、生涯にわたって学び続け、さまざまな学習や諸活動を通じて、自らを高め、心豊かなものとしていくことが大切です。

また、科学技術の進展や情報化、国際化などのさまざまな社会変化や環境、福祉、防災等の諸課題も身近なものとなっており、私たちは絶えず、新たな知識や技術などを身につけていくことが必要となっています。

生涯学習のめざすところは、子どもからお年寄りまで、多くの市民が生涯にわたり、自由で主体的な学習活動に取り組むことにより、自己の充実や豊かな人間性をはぐくみ、家庭や職場、地域全体が活性化していくことにあります。

このため、生涯学習推進基本構想では、市民の学習活動が円滑に行われ、学習成果が実を結ぶことのできるよう、6つの生涯学習推進の基本施策を設定し、行政や企業、民間教育機関、さらには家庭、学校、地域などの各分野がそれぞれの役割や機能を十分発揮し、総合的な推進体制のもとで「生涯学習社会の実現」をめざすこととしています。

《生涯学習推進の基本施策》

I 生涯学習の基礎づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたって自発的な意思で学習に取り組む態度を醸成する。 ○市民が気軽に生涯学習に取り組むための学習環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の充実 ・学校教育の充実 ・社会教育の充実 ・団体・サークルの育成
II 学習活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習関連事業の体系化や学習プログラムの研究・開発を行い、気軽に参加できる学習の場や学習機会を拡充する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習事業の体系化整備 ・多様な学習プログラムの開発 ・文化活動の推進 ・スポーツ・レクリエーション活動の推進
III 学習情報システムの整備	<ul style="list-style-type: none"> ○学習者の要望に応じた適切な情報提供と、指導・助言できる学習相談体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習情報の提供 ・学習相談体制の充実
IV 指導者の養成と活用	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な分野で市民の学習活動を支援する人材を確保し、資質の向上や活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の養成・確保 ・リーダーバンクの設置と活用 ・ボランティア活動の推進
V 学習活動施設の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> ○施設運営の弾力化や事業運営の多様化など、利用者の視点に立った体系的な施設整備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動施設の整備 ・学習活動施設の有効活用 ・学校施設等の開放
VI 生涯学習推進体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○行政の推進組織や市民主体で構成する組織を設置し、他の教育機関等との連携により、総合的な生涯学習推進体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進組織の整備 ・関係機関との連携・協力

2 社会教育の重点

総括重点

「豊かな人間性を培うため、市民が意欲的に学べる生涯学習の推進に努める。」

(1) 生涯各期において、自発的で充実した社会教育活動の奨励に努める。

- ① 生涯各期に対応した系統的な事業実施と自発的な活動の促進
- ② 学習活動を奨励・援助するための学習情報の提供と学習相談体制の充実
- ③ 各種学習グループ・サークルや活動団体の育成
- ④ 社会教育施設の整備や学校の文化開放による学習活動の場の充実



高齢者大学

(2) 潤いのある個性豊かな芸術・文化活動の振興と文化遺産の保護継承に努める。

- ① 芸術活動や文化事業の振興と各種文化団体の育成
- ② 多面的な国際交流の促進と民間交流団体の自主的活動の促進
- ③ 文化財の保存整備や伝統的建造物群の保護対策推進
- ④ 文化施設および文化財の教育的活用と郷土愛の醸成



函館市民文化祭

(3) 健康の保持・増進のため、進んで参加できるスポーツや余暇活動の振興に努める。

- ① 各種体育・スポーツ行事の充実とスポーツ活動への支援
- ② ニュースポーツやレクリエーションの振興と啓発
- ③ スポーツ振興基金による指導者の育成、団体への助成
- ④ 体育・スポーツ団体およびクラブの育成
- ⑤ 社会体育団体等における指導者の育成と確保
- ⑥ スポーツ施設等の整備充実と学校開放の推進



函館マラソン

3 社会教育事業の概要

(1) 平成29年度事業の紹介

① 生涯学習部生涯学習文化課

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
HAKODATE まなびっと広場	市民の多様な学習活動を単位認定という形で応援することで、より一層の生涯学習の推進を図る。	小学生～一般	通年
学習情報・指導者情報等の提供	リーダーバンクの設置、学習情報・社会教育関係活動情報の提供。(プチまなびっとの発行、インターネットホームページにより情報提供)	一般市民	通年
成人祭	成人としての自覚と認識の高揚を図るとともに、新成人を祝福、激励する。	新成人	1月9日
ウィークエンド・サークル活動推進事業	特別支援学級に在籍する児童生徒(市内在住)に体験活動の場と機会を提供し、ボランティアの大学生・高校生等とのふれあいの中で、学校外活動を推進する。	小・中学生	8月～12月
家庭教育支援事業	子育て中の親や家庭教育に携わる人を対象に、セミナーを開催し、家庭の教育力の向上を図る。	家庭教育関係者一般	通年
社会学級	地域住民が主体的に一般的教養を学習する成人教育の場として、市内小・中学校に開設。	一般成人	通年
社会教育関係団体の育成	社会教育関係事業・活動に対する後援、教育委員会賞の交付。	社会教育関係団体等	通年
青少年芸術教育奨励事業	青少年の文化・芸術活動の一層の振興を図るため、文学・美術・書・音楽の4部門から作品を募集し、函館市青少年芸術教育奨励賞を授与するとともに、各部門金賞受賞者を視察研修に派遣する。	市内在住、もしくは市内に所在する学校へ通学する小学生～高校生	7月～11月
函館市文化賞表彰	函館市の文化向上に功績のあった個人・団体を表彰する。	一般市民	7月～11月
学校開放事業(文化開放)	小・中学校(11校)の特別教室等を開放し、市民にサークル活動の場を提供する。	一般市民	通年
文化芸術活動団体の育成	文化芸術関係事業・活動に対する後援および教育委員会賞の交付を行う。	一般市民	通年
文化芸術アウトリーチ事業	子どもたちが文化芸術に触れる機会を拡充し、文化芸術活動の楽しさや素晴らしさを体感してもらうため、学校へ活動者等を派遣し、豊かな創造力の育成を図る。	市内小中学生および高校生	6月～1月
函館市高齢者大学 湯川校・大門校	高齢社会が進む中、高齢者における「生涯学習」の重要性が求められていることから、社会の複雑な変化に対応できる能力や、家庭生活・社会生活に果たすべき役割を学ぶとともに、豊富な経験や知識を社会に還元することを目的とする。	満60歳以上の市民	湯川校 5月～11月 大門校 4月～3月

② 公民館・亀田公民館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
公民館講座	初心者のためのフラメンコ講座	18歳以上	4月～5月
	初心者のためのクラシックギター基礎講座	18歳以上	4月～7月
	子ども絵てがみ教室	小学生	5月～11月
	親子で楽しもう!「トールペイント講座」	親子	6月
	コーラス入門講座	18歳以上	6月～8月
	子ども絵画教室	小学生	6月～8月
	楽しい生け花講座～花と遊ぼう～	18歳以上	6月～9月
	ゆかた着付講習会	18歳以上	7月
	郷土の歴史講座「函館の歴史～箱館写真～」	18歳以上	7月
	子ども土鈴づくり体験	小学生	7月28日
	初歩の陶芸木曜教室	18歳以上	7月～8月
	ドールハウス製作講座	18歳以上	7月～9月
	親子陶芸教室	親子	9月
	オペラの楽しみ「フィガロの結婚」	18歳以上	9月～10月
初歩のきもの着付講習会	18歳以上	11月	
子ども書き初め会	小学生	1月5日	
亀田公民館講座	初歩の絵手紙教室	18歳以上	4月～3月
	家庭教育学級「親子体操」	親子	5月～6月
	初歩のきもの着付教室	18歳以上	5月～11月
	小筆に親しむ	18歳以上	8月～9月
	ドラジェフラワーとラッピング体験	18歳以上	10月～12月
	子ども書き初め会	小学生	1月5日
	ヨガ体験教室	18歳以上	未定
	手打ち蕎麦体験講座	18歳以上	未定
親子で楽しむボランティアインスイーツ	親子	未定	
フォークダンス体験講座	18歳以上	未定	

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
函館市高齢者大学 青柳校	高齢社会が進む中、高齢者における「生涯学習」の重要性が求められていることから、社会の複雑な変化に対応できる能力や、家庭生活・社会生活に果たすべき役割を学ぶとともに、豊富な経験や知識を社会に還元することを目的とする。	満60歳以上の市民	5月～11月
リーダーバンク登録者による 体験講座	リーダーバンク登録者による各種体験講座を実施する。	一般市民	5月～3月
丘の上の芸術祭	市内・近郊で音楽やダンスなどの芸術活動をする個人・団体による発表の場として開催する。同時に、公民館で創作活動をしているグループの展示発表を実施する。	一般市民	9月3日
異世代音楽交流会	公民館コーラスグループと近隣小学生による合唱発表会を実施する。	一般市民	10月19日
生涯学習リーダーバンク 登録事業	リーダーバンク登録の窓口となり、その活用のためのPRを実施する。	一般市民	通年
異世代フラダンス交流会	異世代交流を目的としたワークショップと交流会を実施する。	小学生以上	未定
公民館コンサート	公民館グループや市内文化団体との交流コンサートを実施する。	一般市民	未定
公民館講座受講生作品展、 亀田公民館講座受講生作品展	育成・奨励のための作品展を実施する。	一般市民	未定
ざいだん地域講習会 「普通救命講習」	緊急時に対応するため心肺蘇生法や AED の使用方法について、講習会を実施する。	一般市民	未定

③ 青少年研修センター(ふるる函館)

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
宿泊型プログラム	函館山を知ろう ふるる春キャンプ ふるる夏キャンプ DIYをやってみよう 外国人とお泊り会①～Weekend English Camp～ 避難所運営合宿 ふるる秋キャンプ～収穫祭～ 外国人とお泊り会②～羊から何ができるかな～ ふるる冬キャンプ ボランティアリーダー塾	小中学生および保護者	5月13～14日 6月10～11日 7月22～23日 8月19～20日 9月2～3日 9月30日～10月1日 11月11～12日 12月16～17日 1月27～28日 2月17～18日
日帰り型プログラム	バルーンアートづくり DIYをやってみよう 炭火でパンを作ろう 夏休み・ふるる函館寺子屋教室 西部地区まちあるき 外国人とポットラック①～ハロウィンパーティー～ 食べ物はどこから来る 外国人とポットラック②～クリスマス会～ 冬休み・ふるる函館寺子屋教室 ふるる祭	小中学生および保護者	4月16日 5月28日 6月25日 7月25～28日 9月24日 10月22日 11月18日 12月9日 1月10～13日 3月4日

④ 青年センター

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
教養講座	腰痛・肩こりにも効く！骨盤矯正ストレッチ教室 ひめトレ&やさしいヨガ 心身からリラックス～ヨガ教室 マラソンレベルアップ教室 おうちで簡単クッキング！スープカレー教室 美しいくびれを手に入れる！ベリーダンス教室 自由研究先取り！陶芸1日体験教室 陶器の風鈴を作ろう！ 科学で楽しく自由研究 キッチンサイエンス 超スキルアップ！プロが教える本格ロールケーキ作り プロ直伝！らーめん道！！ 新そば入荷しました！手打ちそば教室 名品が生まれる！？陶芸教室 バレンタインデー直前！チョコレート菓子作り	一般市民 一般市民(女性) 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 小学生 一般市民 小学生 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民	通年 通年 通年 4月 4, 7, 10月 5月～11月 7月 7月 7, 1月 8月 8月 10月～12月 10月 11月 2月

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
若者の居場所づくりに関する事業	合格祈願巨大絵馬の設置 勉強スペース応援 DAY プログラミング教室	高校生 高校生 小学生	12月～1月 週1回程度 5, 9, 12月
その他	利用者親睦会 七夕イベント 2017 青年センターフェスティバル はこだてカルチャーナイトへの参加 青年戦隊グリーンレンジャー 第13回地球まつり 「チームもみの木6」及び「クリスマスイベント」 初笑い！夢助落語会 青年団体交流スポーツ大会 第7回ミニ四駆競技大会	一般市民 幼児, 小学生 一般市民 一般市民 青年 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 青年団体 小学生以上	7月 7月 9月10日 9月下旬～10月上旬 10月8日 10月28日 12月9日 1月8日 3月18日 3月25日

⑤ 亀田青少年会館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
教養講座の実施に関すること	花壇菜園づくり 和風パンケーキづくり 折紙教室 こいのぼりづくり キッズコンサート キャンドルナイト 折紙教室 七夕かざりづくり パステル教室 亀田川のいきものをさがそう バスハイクリンご狩り mama祭り 折紙教室 クリスマスカざりづくり クリスマスケーキづくり コルクボードづくり イカ墨染色教室 ペットボトルランプづくり 折紙教室 ひなかざりづくり 手芸教室	全利用者・全保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 全利用者・保護者 主に小学生 主に小学生・保護者 主に小学生 全利用者・保護者 主に小学生 全利用者・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者	4月中旬から 4月17日 4月24日 6月5日, 12月10日 6月19日 7月3日 7月23日 7月31日 10月10日 10月15, 16日 12月18日 12月23日 12月25日 1月8日 1月9日 2月26日 3月20日
指導者の養成および団体活動の育成に関すること	青少年活動団体との共催事業	主に小学生・保護者	通年
職業, 交友, 健康その他の生活相談に関すること	子ども会議 子育てカフェ	主に小学生 保護者	4月 年12回
余暇活動に必要な施設, 設備の提供および指導に関すること	ジャンケン大会 〇×クイズ大会 逆ジャンケン大会 お誕生会 コミュニティ・スペース 七夕まつり 子ども朝活 菜園収穫祭 もちつき大会	全利用者・保護者 全利用者・保護者 全利用者・保護者 全利用者・保護者 特別支援学級在籍の児童生徒 全利用者・保護者 主に小学生 全利用者・保護者 全利用者・保護者	毎月第1土曜日 毎月第2土曜日 毎月第3土曜日 毎月第4土曜日 年4回 7月7日 7月23～29日 5月～10月 12月3日
その他	利用団体懇談会	全利用者・保護者	4月1日

⑥ 亀田福祉センター

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
教養講座	どなたでも簡単！「リラックス・ヨガ」 初心者のための「太極拳入門」 抱っこde[ベビーダンス]パパ編 抱っこde[ベビーダンス]ママ編 道南地方の観音霊場のご紹介 パソコン講座「エクセルを学ぼう」 きれいに咲かせるための「洋蘭教室」 男の調理 お気軽体操ストレッチ わくわくエクササイズ	18歳以上 18歳以上 父と幼児 母と幼児 18歳以上 18歳以上 18歳以上 18歳以上 18歳以上 18歳以上	4月 5月 6月 6月 6月 7月 7月 9月 6月～9月 6月～9月

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
函館市亀田老人大学	高齢社会が進む中、高齢者における「生涯学習」の重要性が指摘されていることから、高齢者の学習意欲に応え、社会の変化に対応できる能力を身につけ、その豊富な経験や知識を家庭や地域社会で生かすべく学習することを目的とする。	高齢者 (満60歳以上の市民)	4月～11月
子どもチャレンジ教室	親子でキャラご飯づくり 小学生向け「茶道を楽しむ」 親子でプラモ「SDガンダムを作ろう」 夏休み作品「タイルで作るコースター」 マジックに挑戦 競技用「紙ヒコーキを作ろう」 マット運動に挑戦！「前転・後転・側転をマスターしよう」 冬休み作品「折り紙を折る」	主に小学生 主に小学生 主に小学生 主に小学生 主に小学生 主に小学生 主に小学生	4月22日 5月20日 6月17日 7月29日 8月2日 8月26日 11月9、25日 12月10日

⑦ 生涯学習部スポーツ振興課

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
函館マラソン&コミュニティランニング	日本陸上競技連盟公認コースによるマラソン大会および0.4～5kmのコース設定による市民健康マラソン大会を行う。	一般市民	マラソン 7月 コミュニティ10月
学校開放事業	学校の体育施設を地域のグループなど市民の自主的スポーツ活動や子どもの遊び場に開放する。 (1) 校庭開放 15校 (2) スポーツ開放 53校 (3) 遊泳開放 21校	一般市民	通年 (遊泳開放は夏休み期間の土日)
海水浴場設置	市内に海水浴場を設置し、夏期のスポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。(入舟町前浜)	一般市民	7月～8月
スポーツ関係団体の育成	スポーツ関係事業・活動に対する後援・奨励。	一般市民	通年

⑧ 博物館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
博物館講座「考古」 (単講座)	夏休み自由研究「鹿角で釣り針を作ろう」 *鹿の角で釣り針をつくり、当時の加工技術について学びます。つくった釣り針で魚釣りをします。	小学4年生以上と保護者	6月
	夏休み自由研究「縄文土器を作ろう」 *縄文時代の作り方で土器を作製し、作製した土器を焼き完成させます。	小学4年生以上と保護者	7月、8月
	夏休み自由研究「黒曜石で矢じりを作ろう」 *旧石器人・縄文人と同じ方法で石器を作り、当時の生活用具加工術や狩猟について学ぶ。	小学4年～6年生と保護者	8月
博物館講座「自然」 (単講座)	夏休み自由研究「大森浜の貝で標本箱を作ろう」 *大森浜で貝殻を拾って分類し、標本箱を作ります。	小学生と保護者	8月
博物館講座「民族」 (単講座)	学芸員こぼれ話「函館観光とアイヌ文化」 *高度経済成長期の函館における観光振興とアイヌ文化との関連についてお話しします。	一般市民	6月
	夏休み自由研究「ふれてみよう！身近なアイヌ文化」 *アイヌ文化を通して、普段身の回りにあるいろいろな物事について観察したり考えたりします。(アイヌ文化財団アドバイザー派遣事業)	小学4年生～中学生と保護者	7月
	やさしく学ぶ アイヌ語講座 基本編 *基礎的なアイヌ語の単語やアイヌ語地名など、初歩のアイヌ語を学びます。(アイヌ文化財団アドバイザー派遣事業)	一般市民	10月
	やさしく学ぶ アイヌ語講座 応用編 *基礎的なアイヌ語の単語やアイヌ語地名など学んだ方、に向けアイヌ語を学びます。(アイヌ文化財団アドバイザー派遣事業)	一般市民	10月
博物館講座「美術」 (単講座)	春の美術鑑賞会 蠣崎波響 *蠣崎波響の作品を、茶室で鑑賞する。	一般市民	5月
	夏休み自由研究「日本画でうちわづくり」 *日本画家安積徹氏の指導のもと、日本画を描いて、うちわを作ります。	小学4年生以上と保護者	7月

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
博物館講座「美術」 (単講座)	秋の美術鑑賞会 蠣崎波響 * 蠣崎波響の作品を、茶室で鑑賞する。	一般市民	9月
	体験! 「日本画教室」 * 日本画家安積徹氏の指導のもと、初めての日本画に挑戦する。	一般市民	10月
博物館講座「歴史」 (単講座)	夏休み自由研究「和綴じ本を作ろう」 * 初めての和綴じ本作りに挑戦する。	小学3年生以上と保護者	8月
	夏休み自由研究「博物館子探検隊」 * 収蔵庫や作業スペースなど、博物館の裏側を探検する。	小学生と保護者	7月、8月
博物館講座 (単講座)	鉄道の日記念「思い出の青函連絡船」 * 10月14日は「鉄道の日」。青函トンネル開通まで運行されていた青函連絡船について、実物資料などを見ながら解説する。	一般市民	10月
	SPLレコードを聴いてみよう! * 博物館にある蓄音機で昔のSPLレコードの音色を聞いてみながら、ソノシートなど、いろいろなレコードも見てみる。	一般市民	11月
博物館講座 「旧函館博物館一号館公開」	「旧函館博物館一号館公開」 * 1879年5月25日開場の旧函館博物館一号館が、1日限り当時の姿で蘇る。	一般市民	5月、8月
企画展	「能登川コレクション展ー考古学に魅せられて・能登川隆の生涯ー」	一般市民	6月～8月
	「新収蔵資料展」 * 平成28年度に新たに博物館に収蔵された資料を一堂に展示公開する。	一般市民	9月～11月
展示解説セミナー	企画展「能登川コレクション展ー考古学に魅せられて・能登川隆の生涯ー」 * 展示資料を見ながら解説する。	一般市民	7月、8月
	新収蔵資料展 * 新たに博物館資料となった、北海道・函館を物語る資料について解説をする。	一般市民	9月
おもてなし講座	行ってみよう! 博物館「博見学のススメ」 * 展示内容に応じた展示解説をする。	5人以上のグループ	随時 (休館日等を除く)
おもてなし講座	行ってみよう! 博物館「博見学のススメ」バックヤード・ツアー * 普段入ることのできない収蔵庫、作業スペースなど、博物館の裏側をご案内します。	5人以上のグループ	随時 (休館日等を除く)
おもてなし講座	行ってみよう! 博物館「博見学のススメ」見せます! お宝公開 * 展示していない資料で、保存管理上問題がない場合、ご希望の資料をお見せします。	5人以上のグループ	随時 (休館日等を除く)
おもてなし講座館報	行ってみよう! 博物館「博見学のススメ」明治の博物館見学 * 博物館本館の側にある旧函館博物場1号館の中をご案内します。	5人以上のグループ	随時 (休館日等を除く)
館報「サラニップ」の発行	博物館の業務、事業、資料関係を関係機関に周知する。	関係機関	3月
「研究紀要」の発行	博物館活動の一環である学会員などの研究成果を発表する。	関係機関	3月

⑨ 中央図書館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
絵本等の読み聞かせ	絵本の読み聞かせと紙芝居を実施する。	幼児・児童	通年
えほんふれあい事業	総合保健センターが行っている乳幼児10ヶ月児健診を受診する親子を対象に「おすすめ絵本」冊子を配布し、ボランティアによる読み聞かせを行う。	乳幼児・父母	通年
郷土の歴史講座	郷土史に関する各種テーマについての講義を行う。	一般市民	随時
市民文芸作品の募集	小説・詩・俳句・短歌など文芸8部門の作品募集と作品集の刊行。	一般市民	7月～9月 募集

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
初心者のための読み聞かせ講座	読み聞かせの基礎や絵本の選び方を学ぶ。	一般市民	9月
古文書講座	筆写本等の古文書資料の解読の仕方を学習するとともに、図書館が所蔵する郷土資料に親しむ機会を提供する。	一般市民	5月～9月
夏休みこども図書館員	小学生を対象に図書館の仕事を体験してもらい、図書館の仕組みや本の調べ方などを学ぶ。	生徒	7, 8月
図書館deクリスマス	クリスマスに合わせた上映会や読み聞かせ会、クリスマス飾りの製作体験など親子で楽しめるイベントを実施する。	児童・父母・一般市民	12月
図書館ボランティア養成講座	図書館ボランティアを目指す市民がボランティアの基礎、役割、実技を学ぶ。	一般市民	2月

⑩ 縄文文化交流センター

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
縄文体験学習	縄文時代の人々のくらしを楽しみながら体験することにより、縄文文化を通じた交流活動の促進を図る。 ・ミニチュア土器づくり ・組紐アクセサリーづくり ・カックウの顔づくり ・拓本とり ・土笛づくり ・おもしろ土製品づくり ・縄文ペンダントづくり ・土器パズル ・縄文編み	一般市民	通年
	夏休み、冬休み限定縄文体験メニュー 上記に加え、夏休み・冬休みの縄文体験メニューを実施する。 ・火おこし体験 ・弓矢の的当て体験 ・考古学お仕事体験	一般市民	7月下旬～ 8月中旬、 12月下旬～ 1月中旬
縄文体験定期講座	縄文染め(年2回) 縄文文化を育んだ豊かな自然の植物から抽出した染料液でハンカチを染める。	一般市民	5, 11月
	縄文センターキッズプログラム(3回) 小学生を対象に、講座を通して郷土の歴史・文化を学ぶ。 ・第1回 鹿角海釣り体験 ・第2回 竪穴住居の模型づくり ・第3回 石器づくり体験	小学生	6月～9月
	土器づくり(全2回) 縄文土器の知識について学びながら、実際に土器づくりを体験する。 ・第1回 土器づくり ・第2回 土器野焼き体験	一般市民	7月, 8月
	植物の繊維利用(全3回)	一般市民	10月～12月
	平成29年度遺跡調査報告会 市内で今年度発掘調査された遺跡について報告会を行う。	一般市民	2月
企画展	企画展「国宝土偶サミット」(仮称) 中空土偶国宝指定10周年を記念し、国宝土偶のレプリカ展とトークセッション(展示資料説明会)を開催する。	一般市民	8月～9月 (予定)

⑪ 市民会館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
鑑賞型事業	2CELLOS 函館公演 ざいだん出前コンサート(2回) 北海道新幹線開業1周年記念・函館市民会館メモリアル 仙台フィルハーモニー管弦楽団函館公演	一般市民	5月18日 6月～7月 9月10日

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
参加創造型事業	函館市民文化祭 展示部門「函館アートフェスティバル」 舞台芸術部門「函館オペラの会公演」	一般市民	10月26日 ～30日 10月29日
育成学習型事業	ざいだん「邦楽こども教室」 夏休み特別企画「楽器のヒミツ大発見！」	小学生 一般市民	6月～2月 8月5日
函館市高齢者大学湯川校	高齢社会が進む中、高齢者における「生涯学習」の重要性が求められていることから、社会の複雑な変化に対応できる能力や、家庭生活・社会生活に果たすべき役割を学ぶとともに、豊富な経験や知識を社会に還元することを目的とする。	満60歳 以上の市民	5月9日 ～11月8日

⑫ 芸術ホール [ハーモニー五稜郭]

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
鑑賞型事業	キッズフェスティバル2017 2018 スプリング・コンサート ふらっとコンサート ふらっとコンサート SPECIAL ジョイントコンサート 反田恭平ピアノ・リサイタル2017 全国縦断ツアー函館公演 リサイタル・シリーズ 宮田大チェロ・リサイタル 小菅優ピアノ・リサイタル	一般市民	5月5日 7月～12月 1月28日 2月10日 8月4日 10月6日 11月16日
参加創造型事業	函館市民文化祭 展示部門「清秋・函館市文団協芸術展」 「ぶんだん秋の庵」 舞台芸術部門「華麗・錦秋の夕べ」	一般市民	11月2日 ～6日 11月2日 ～6日 11月5日
育成学習型事業	函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ育成事業 函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ第18回定期演奏会 バックステージツアー 演劇ワークショップ	小学生～高校生 一般市民 一般市民 一般市民	4～3月 10月1日 未定 未定
奨励型事業	平成29年度函館新人演奏会～音楽の新しい風～ HAKODATE WINTER JAZZ FESTIVAL 2017 メモリアル・コンサート・フォー・ユー Vol. 20 市民美術展 第18回「はこだて・冬・アート展」 ハコダテライブステージ2017「五稜郭街舞台」	一般市民	7月30日 12月23日 1月8日 2月25日 ～3月4日 未定

⑬ 北洋資料館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
第23回函館の「海と港」児童絵画展	市内の小学生から「海と港」に係わる絵画を募集し、展示することにより、多くの市民、特に次世代を担う子どもたちに「海と港」の重要性を認識してもらうことを目的に開催する。	市内の小学校に在学する児童	7月16日 ～23日
貝殻でつくるう	海岸に打ち上げられる様々な形や色の貝殻を使い、函館の海を感じながら、工作体験を楽しんでもらう。「貝殻で作る」という体験を通じて、想像力を駆使しながら一つの物を作り上げる達成感と楽しさを感じてもらうことを目的に開催する。	市内の小学校に在学する児童とその保護者	5月5日

⑭ 北方民族資料館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
体験学習講座 ムックリ製作・演奏体験	アイヌ民族の伝統的な楽器である、ムックリ(口琴)の製作・演奏体験をととして、アイヌ文化に対する理解を深める。	一般市民	4月～3月

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
体験学習講座 北方民族文様の 切り紙細工体験	アイヌ民族やサハリンのウイльта民族の伝統的な文様を、手軽に切り紙細工で再現することによって北方民族の文化に触れる。	一般市民	4月～3月
バックヤードツアー	JR東日本「TRAIN SUITE 四季島」ツアー参加者を対象に、当館の学芸員や説明員が館内の説明を行う。	ツアー参加者	4月～11月
夏休み自由研究 「親子で、北方民族 文様の切り紙細工 をしよう」	アイヌ民族やサハリンのウイльта民族に伝わる美しい文様を、切り紙細工で再現し、親子で北方民族の文化を体験する。	小学生と 保護者	7月23日
アイヌ文様 木彫り教室	アイヌ民族の伝統工芸である木彫りに施された彫刻について、技法や文様など作品作りを通して学ぶ。	一般市民	9月2日 ～3日
アイヌ文様 刺しゅう教室 初級編	アイヌ民族伝統の着物や服飾品などに美しく施された刺しゅうについて、技法や文様など作品作りを通して学ぶ。	一般市民	9月30日 ～10月1日
アイヌ文様 刺しゅう教室 入門編	アイヌ民族伝統の着物や服飾品などに美しく施された刺しゅうについて、技法や文様など作品作りを通して学ぶ。	一般市民	10月2日
ミュージアム・トーク 「みんなのお宝、保存・活用 術-文化財最前線を探る」	アイヌ民族をはじめ北方民族の歴史や文化について、第一線の研究者を招いて研究成果をわかりやすく講演してもらう。	一般市民	10月21日
文化の日企画 「西部文化施設3館ツアー」	文化の日に、西部地区に位置する旧函館区公会堂・北方民族資料館・文学館の3館を巡るツアーを実施する。	一般市民	11月3日

⑮ 文学館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
文学館企画展	企画展「石川啄木来函110年に寄せて～啄木の函館132日」 企画コーナー「収蔵資料展『佐藤国男と岡村照彦』」 石川啄木直筆資料展「明治41年4月の書簡」	一般市民	4月～10月 9月～11月 10月～4月
文学の夕べ	第1回「歌に美しく昇華した函館の百三十二日」 第2回「啄木の診断書～日記から解き明かす啄木のからだところ」 第3回「啄木と江差～藤田武治・西堀秋潮との交流～」 第4回「時空を超えて生きた乞食万平」 特別企画「朗読で綴る函館の文学 Vol. 13」	一般市民	5月23日 6月6日 7月11日 9月12日 2月24日
中庭テラス読み聞かせ会	中庭のウッドデッキで読み聞かせおよびオルガン演奏を行う。	小学生以下	6月28日
夏休み自由研究「クイズ・ 石川啄木と函館」	小学生の夏休み自由研究として、クイズに挑戦する事を通じて石川啄木への親しみと理解を深めてもらう。	小学生	7月15日 ～8月27日
啄木ゆかりの地 子 ども交流事業「函 館・盛岡啄木交流か るた大会」	市内小学校の児童に「啄木かるた」に挑戦しながら、石川啄木について興味と親しみを持ってもらうことを目的として実施する。また、優勝チームを盛岡市に派遣し、盛岡市児童との「啄木かるた大会」等の交流や、啄木ゆかりの地の見学で見聞を深める。	小学生	7月29日
特別企画	谷村志穂自著を読む4	一般市民	8月5日
文学館講演会	石川啄木来函110年記念講演会「啄木と函館」	一般市民	8月26日
連続講座 「函館・文学の散歩道」	全3回	一般市民	9月～11月
文化の日企画 「西部文化施設3館ツアー」	文化の日に、西部地区に位置する旧函館区公会堂・北方民族資料館・文学館の3館を巡るツアーを実施する。	一般市民	11月3日

⑯ 重要文化財旧函館区公会堂

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
プロムナード・ コンサート	来館者にピアノ等の生演奏を聴いて楽しんでもらうとともに、公会堂のよさを知ってもらう。	来館者	5月～9月

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
公会堂コンサート	弦楽器, ピアノ, 合唱等のミニコンサート(26コンサート)	一般市民	5月～9月
公会堂親子一日館長	参加した親子に楽しみながら公会堂を知ってもらう。	親子	7月29日
高校生によるお茶会	函館西高等学校茶道部のお手前を披露するとともにお茶を振る舞う。	一般市民	9月
文化の日企画 「西部文化施設3館ツアー」	文化の日に、西部地区に位置する旧函館区公会堂・北方民族資料館・文学館の3館を巡るツアーを実施する。	一般市民	11月3日

⑰ 市民プール

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
ワンポイントレッスン	水泳教室に定期的に参加できない人や上達を目指し個人レッスンを受けたい人を対象に1教室3名の教室を開催する。	一般市民	4月～3月
水泳教室	「市民水泳教室」(午前の部・午後の部) 「サタディナイトコース」 「きっちり4泳法マスターコース」 「きっちり4泳法ナイトコース」 「ゆっくり4泳法マスターコース」 「パワフルスイム」 「バラエティコース」 「専科コース」 「少年少女わんぱく水泳教室」 「ウォータビクス教室」 「ウォータビクスナイト教室」 「ロング50マスターコース」 「水中ウォーキング教室」(昼の部・夜の部) 「ゆっくりゆっくり水泳教室」 「幼児の水遊び教室」 「少年少女4泳法マスターコース」	満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 小学生 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 4・5歳児 小学3年生～中学生	4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月
市民プールまつり	幼児、小・中学生、父母と一緒に楽しめる各種レクリエーションを行う。25m・50m・幼児プールは無料開放する。	一般市民	9月3日
市民水泳記録会	参加者のタイムを大会と同様の計器類により計測し、意欲の向上を図る。	小学生以上	12月10日
着衣水泳体験研修会	万が一の水難事故を想定して着衣状態での危険性を認識してもらい、簡単な対処方法および泳法を参加者に身につけていただくために開催する。	小学生以上	3月29日

⑱ 函館アリーナ

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
スポーツ教室	「親子体育」 「わんぱく」 「ジュニア室内サッカー」 「ミニバスケット」 「ヒップホップダンス」 「いきいき♪シニアスポーツ」 「楽しく☆体幹トレーニング」 「はつらつ！リズム体操」	幼児と保護者 小学生 小学1～3年生 小学4～6年生 小学生 18歳以上 18歳以上 18歳以上	4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月
スポーツプログラム	「ボディコンバット」 「X55」 「メガダンス」 「ボディパンプ」 「ボディバランス」 「コアクロス」 「エアロビクス」 「ヨガ」 「サーキット」 「ストレッチ」 「チューブ体操」 「踏み台シェイプ」	高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上 高校生以上	4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月 4月～3月
NEC バレーボール塾	元全日本選手およびNECロケットの選手やOBを招き、小学生から大学生までを対象としたバレーボール教室を開催することにより、バレーボール競技人口の拡大を図るとともに函館市のスポーツ振興に寄与する。	一般市民	6月3日

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
■エスポラーダ北海道とボールで遊ぶフットサル教室 ■フットサルFリーグ公式戦エスポラーダ北海道戦	プロ競技の観戦を通して、競技人口の拡大を図るとともに函館市のスポーツ振興に寄与する。また、エスポラーダ北海道によるフットサルクリニックを実施する。	一般市民	■6月17日 ■6月18日
函館市地域スポーツ指導員育成研修講座	函館市地域スポーツ指導員の資質向上を図るため、地域のスポーツ活動の指導要請に対応できるよう基礎的な実技や指導方法等の研修を目的として開催する。	函館市地域スポーツ指導員	9月～11月
ふわふわアドベンチャーツアーin函館アリーナ	バルーン製の巨大滑り台やジャンプ台、キャラクタードームなどの「ふわふわ」を体験してもらう中で、親子の触れ合いを目的とする。冬期間の運動場所の確保という観点からも函館市のスポーツ振興に寄与する。	小学生以下の子どもとその保護者	10月28日、29日
バスケットボールBリーグ公式戦レバンガ北海道戦	プロ競技の観戦を通して、競技人口の拡大を図るとともに函館市のスポーツ振興に寄与する。また、レバンガ北海道によるバスケットボールクリニックを実施する。	一般市民	2月
市民スポーツ講演会	詳細未定	一般市民	未定
市民スポーツ研修会	詳細未定	一般市民	未定
健康体操系研修会	詳細未定	一般市民	未定
トップアスリートによる競技力向上スポーツ教室	詳細未定	一般市民	未定

⑲ 千代台公園野球場(オーシャンスタジアム)

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
2017 プロ野球パ・リーグ公式戦「北海道日本ハムファイターズVS東北楽天ゴールデンイーグルス」	プロ野球の観戦を通して、スポーツの振興と発展を図る。	一般市民	7月18日
第9回オーシャンスタジアム杯少年野球大会	野球少年の憧れの球場であるオーシャンスタジアムで野球を楽しみ、競技力の向上・チームの結束を高めるとともに、地域スポーツの活性化を図る。	小学生の野球チーム	10月21日 10月22日

⑳ 千代台公園庭球場

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
テニス教室(第1期・第2期, 昼・夜コース)	テニスを通して健康・体力づくりとスポーツの振興充実を図る。	18歳以上	5月～6月 9月～10月

㉑ 千代台公園陸上競技場

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
千代台公園みどりのリサイクル	小学生を対象に、公園内の落ち葉を資源として活用することにより、生態系の保全や環境への負担を軽減し、公園の美観を守る地域学習の場を提供する。	小学生	5月11日
■第22回ざいだんフェスティバル ■グリーンパークみんなであそぼ!	広報事業の一環として、財団の主催する各事業および管理・運営する施設について、広く周知し気軽に利用していただけることを目的として開催する。	一般市民	8月20日

㉒ 市民スケート場

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
スケート場初すべりお年玉プレゼント	日頃のスケート場来場に感謝するとともに、今後の利用者増につながるよう初滑りのイベントを開催する。	幼児～中学生	1月2日
フィギュアスケート教室	講師を招き、直接実技指導を受ける。	未定	未定
スケート場イベントデー	簡単なゲームなどによりスケートの楽しさを伝える。	一般市民	1月

②③ 箱館奉行所

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
奉行に変身・記念撮影	当時、儀式・行事が行われていた大広間での記念撮影	通常入館者	5, 6, 10, 11, 12, 2月(最終土曜日), 7, 9, 1, 3月(節句の日) 計10回
講演共催に伴う兵糧庫の特別公開	中央図書館と五稜郭タワーとの共催で実施する講演会終了後、講師(濱口裕介氏)による解説付で兵糧庫を公開する。	一般市民	6月24日
箱館奉行所開館記念事業	箱館奉行所開館7周年の記念日に、瓦版屋がチラシを配布。午後から大広間にて北海道指定無形民俗文化財に指定されている松前神楽を上演。	通常入館者	7月29日
兵糧庫特別公開	五稜郭築造当時の建物として唯一現存する建物である兵糧庫の内部を期間限定で公開する。	無料開放	8月1日～31日
兵糧庫の解説付見学会	兵糧庫の歴史や出土品等の解説付き見学会	一般市民	8月5日
奉行所で秋を楽しむ～お茶とお花を愛でる～	函館大妻高等学校茶道部生徒が、奉行所内南庭にて、お手前と、呈茶を行う。館内には同校華道部生徒によるお花を飾る。	通常入館者	9月8日 9月10日
奉行所で秋を楽しむ～奉行所再現劇～	「函館野外劇の会」協力のもと、大きな出来事の一場面を再現劇で演じる。	通常入館者	9月24日
奉行所で秋を楽しむ～箱館奉行所でコーヒー体験～	当時オランダから持ち込まれ、薬として飲まれていたコーヒーを、豆をするところから体験。	通常入館者	10月7日

②④ 戸井教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
大間町との交流事業	青森県大間町音楽祭へ参加し友好を深め、音楽活動の高揚を図る。	文化団体	10月29日
戸井地区文化祭	地域社会に結びついた芸術文化の創造と普及をねらいに文化祭を開催し、地域文化の振興を図る。	一般市民	10月15日
生涯学習セミナー事業	生きがいをもった、心豊かな人づくりを目的とし、趣味の拡充・教養を高めるための学習の機会を提供する。 *体験教室「押し花絵」(1回)	一般市民	9月下旬
戸井地区ふれあい学園	高齢者の健康づくりと生きがいのある生活実現を図るため、社会参加を促進する学習活動や高齢者の持つ知識や技能を活用できる学習活動を提供する。	戸井地域市民(60歳以上)	5～7月 11～3月
小学生水泳教室	水に慣れ親しみ、正しい泳ぎ方を身につけること等、レベルにあった指導を通して泳ぐことの楽しさを知ってもらうことを目的とする。	小学2年生以上	8月1～4日
戸井地区玉入れ大会	生涯スポーツの一環として、幅広い年齢層の人たちが共にスポーツ玉入れを楽しめる機会を提供することにより、参加者同士の交流や親睦、健康増進、体力の向上を目指すとともに地域の活性化と生涯スポーツの振興に寄与する。	中学生以上の一般市民	5月18日
戸井地区ゲートボール大会	ゲートボール競技を通して屋外スポーツの楽しさを知り、ゲートボール愛好者同士の交流による仲間づくり、高齢者の健康増進および生きがいづくりを目的とする。	一般市民	5月30日
戸井地区冬季ゲートボール交流会	冬期間において、戸井地区のゲートボール愛好者が一堂に会し、屋内での交流会を通して競技力の向上と高齢者の生きがいづくり並びに健康の維持・増進を図る。	一般市民	12月～2月
戸井地区バドミントン大会	児童・生徒の交流による仲間づくりと健全育成並びに地域住民の健康増進と地域スポーツの振興を図る。	小学生以上の一般市民	11月11日
道南駅伝競走大会	生涯スポーツの普及と青少年の健全育成を目的に、戸井地区内11.42kmを1チーム4人で競う駅伝大会。	小学生以上の一般市民	10月22日

㉕ 恵山教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
第7期函館市恵山ふれあい高齢者大学	恵山地域住民を対象に高齢者に対して生きがいと喜びを提供し、自らの生活をより充実させるための生涯学習活動や積極的に社会活動参加を促し、高齢者同士の交流の場の提供および一般教養や趣味・芸術文化活動等の醸成を図る。	恵山地域市民 (60歳以上)	5月～12月 年6回
恵山地区文化祭およびステージ発表会	恵山地区の文化・芸術・芸能等の研究・研鑽している地域の活動の紹介や発表の場を設けることにより文化活動の高揚と発展・振興を図る。	サークルおよび一般市民	10月
小学生水泳教室	夏場の体力づくりと水に親しみ基本泳法を習得させ体力づくりを図る。	小学3年生～6年生	8月
小学生ミニバレーボール大会(恵山・戸井地区)	小学生の体力づくりと健康増進を図りミニバレーを通して仲間づくりやスポーツの楽しさを体験させる。	小学3年生～6年生	2月
小学生バドミントン教室	バドミントン競技の基本技術を学び仲間づくりやスポーツの楽しさを体験させるとともにクラブの育成を図る。	小学4年生～6年生	11月
冬季ゲートボール大会(恵山・戸井地区)	冬期間の高齢者の体力づくりと健康増進を目的としてし、併せてスポーツを通じ戸井地域の競技者との交流を図る。	高齢者	3月

㉖ 榎法華教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
体験教室事業	地域の人材を活用して陶芸の工程を学び、作品を完成させる達成感や喜びを感じてもらうとともに、世代間交流の機会を提供する。また、小学生を対象に、皆で協力しながら「ものを作る喜び」を感じる機会を提供する。 ・陶芸教室(年1回) ・バレンタインチョコを作ろう(年1回)	一般市民 (小学生以上) 榎法華小学校 児童	7月22日, 8月26日 2月3日
第23回新春書き初め会事業 (戸井・恵山地区と共催)	新年の清新な雰囲気なかで、日本の伝統文化である書き初めに親しみながら、気を引き締め、集中する力を養う。	戸井・恵山・ 榎法華地区の 小・中学生	1月12日
第26回榎法華・風間浦友好地域子ども交流事業	一泊二日の団体生活や体験活動を通して、友好を深めながら、互いの地域の特色を知るとともに協力する気持ちを養う。	榎法華地区の 小学4年生～ 6年生	8月2～3日
第1回榎法華小学校・榎法華中学校ふれあい大運動会事業	レクリエーションスポーツを通して、地域市民の交流促進と健康増進を図る。	榎法華地区 市民	5月27日
生涯スポーツ普及事業	健康づくりのきっかけを作るとともに、生涯スポーツとしての普及・振興を図り、4地区市民の交流を深める。 4地区交流パークゴルフ大会(4支所管内)	4地区市民または勤務する方	10月5日
健康推進事業	登山を通して自身の健康づくりや健康増進について考えるきっかけを作るとともに、山登りの楽しさやマナーについて理解を深める。 恵山登山(春・秋)	一般市民 (小学生以上)	6月24日 9月9日
高齢者ふれあいいきいき学級事業	高齢者の健康づくりと豊かな知識・経験を活用し、様々な交流や生きがい、ふれあいを感じる機会を提供する。 ・健康講座「軽運動」(年2回) ・文化伝承講座「鏡もちをつくろう」	榎法華地区市民 (60歳以上および小学生)	7月6日 3月7日 12月26日
榎法華地区文化祭事業	榎法華地区における芸術文化活動の発表や地区住民の交流、芸術鑑賞の機会を提供し、文化振興を図る。 (3年に1回開催)	榎法華地区市民	次回H31年度

㉗ 南茅部教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
南茅部地域文化祭	地域で文化活動している個人やサークルなどの活動成果を発表する場として地域文化祭を開催し、地域文化の高揚を図る。 ・文化作品の展示、各種発表会等	一般市民 (南茅部地区居住者優先)	11月4, 5日
夏休み！南茅部地域親子わくわくキャンプ	キャンプを体験することにより、野営の初歩的な技術の習得と共同作業での規律や協力することの大切さを学び、親子のふれあいと地域の子どもの間の交流を深める。 ・オリエンテーリング、屋外炊事、テント泊	小4～小6とその保護者 (南茅部地区居住者優先)	8月2, 3日
冬休みふるさと体験教室「親子でおもちゃ作り・もちつき大会」	冬休み期間中に親と子がふれあいながら体験できる教室を開催し、健全な青少年の育成と参加者相互の交流を図る。 ・昔のおもちゃ作りと臼・杵による餅つき体験	小学生とその保護者 (南茅部地区居住者優先)	12月27日
函館市南茅部沿岸漁業大学	函館市の南茅部地域において、浜に生きるお互いが生活理念や漁業環境の変化に的確に対応しながら、より豊かな、より安全な生きがいに満たされた生活が営まれるように関係団体は、共同して生涯教育の機関を設置する。		
	資格取得講座 ・フォークリフト運転技能資格取得講座 ・二級小型船舶操縦士資格取得講座	一般市民 (南茅部地区居住者優先)	5月 6月
	女性専科講座 料理教室	一般市民 (女性・南茅部地区居住者優先)	3月
函館市南茅部沿岸漁業大学	高齢者専科講座 健康教室	一般市民 (高齢者・南茅部地区居住者優先)	10月
	地域教養講座 地域講座・南茅部高校共催講座・その他講座	一般市民 (南茅部地区居住者優先)	11月～3月
	専修課程講座		11月, 2月
南茅部地域野球大会	野球を通して地域住民の親睦と交流を図る。	一般市民	5月13日
南茅部地域少年野球大会	日頃の練習の成果を発揮する機会を与え野球を通して親睦を図る。	小学生	8月19日
南茅部地域マラソン大会	マラソンを通して地域住民の親睦と交流を図る。	幼児～中学生	9月9日
南茅部地域ソフトバレーボール大会	ソフトバレーボールを通して地域住民の親睦と交流を図る。	高校生～一般	10月19日
南茅部地域小学生フットサル大会	日頃の練習の成果を発揮する機会を与えフットサルを通して親睦を図る。	小学生	12月2日
南茅部地域スキー大会	スキーを通して地域住民の親睦と交流を図る。	幼児～一般	2月4日

㉘ 南茅部プール

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
一般水泳教室	泳力向上と体力づくりを目的とする。	中学生～一般	4月～10月 (49回)
少年少女水泳教室	泳力向上と体力づくりを目的とする。	小学3年生～中学生	4月～10月 (72回)
ちびっ子水遊び教室	水慣れから水泳の初歩を学ぶ。	小学1年生～小学2年生	4月～10月 (69回)

(2) 平成28年度事業の実績

① 生涯学習部生涯学習文化課

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
HAKODATEまなびっと広場	通年		延べ登録者数 3,576人
学習情報・指導者情報等の提供	通年		
成人祭	1月9日		約1,334人
ウィークエンド・サークル活動推進事業	10月～2月	各30人	延べ35人
家庭教育支援事業(家庭教育セミナー)	9月～1月(6回)		204人
社会学級	通年(26学級)		549人
社会教育事業の後援・奨励	通年		
函館市青少年芸術教育奨励事業	7月～11月		1,170人
学校開放事業(文化開放)小・中学校(11校)	通年		21,503人
五稜郭ゆかりのまち交流事業 「はこだて絵手紙展」	10月18日～11月24日 12月14日～12月18日		函館市 80通 佐久市 135通
文化芸術アウトリーチ事業	6月～1月		延べ2,400人
高齢者大学湯川校	5月～11月(23回)	250人	250人
高齢者大学大門校	10月～3月(18回)	125人	125人

② 公民館・亀田公民館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
函館市高齢者大学青柳校	5月～11月(23回)	250人	235人
公民館講座			
ステンドグラス&フュージング講座	5月～9月(10回)	10人	1人
子ども絵てがみ教室	5月～3月(11回)	10人	7人
パソコン入門講座	6月(3回)	6人	5人
コーラス入門講座	6月～8月(12回)	20人	24人
親子で初めてのダンス!DANCE!	7月 3日	10組	8組
子ども土鈴づくり体験	7月29日	15人	11人
ゆかた着付け講習会	7月(3回)	10人	9人
初歩の陶芸木曜教室	7月～8月(3回)	5人	6人
子ども絵画教室	7月～10月(6回)	20人	26人
初歩の陶芸水曜教室	8月(3回)	5人	3人
オペラの楽しみ	8月～9月(3回)	20人	40人
親子陶芸教室	8月～9月(3回)	15人	4人
初歩の陶芸木曜夜間教室	9月(3回)	5人	6人
郷土の歴史講座	9月(3回)	100人	39人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
公民館講座			
初歩の陶芸金曜教室	10月(3回)	5人	4人
きもの着付け講習会	11月(3回)	10人	4人
子ども書き初め会	1月6日	10人	6人
体験講座(リーダーバンク講座)			
初歩のフラダンス講座	5月29日	20人	8人
歴史講座	6月18日	50人	43人
初歩の生け花講座	7月30日	10人	7人
シルバーアクセサリー制作体験	8月20日	10人	5人
初心者の茶の湯体験講座	11月13日	20人	5人
ドールハウス制作体験	1月8日	10人	9人
丘の上の芸術祭	9月11日	200人	213人
異世代音楽交流会	10月20日		115人
公民館講座受講生作品展	1月6日~20日		411人
公民館春いちばんコンサート vol.2 ウィーンの風をあなたに!~マリア・テレジア生誕300年に寄せて~	3月25日	200人	160人
亀田公民館講座			
初歩の絵手紙教室	4月~3月(20回)	45人	43人
家庭教育学級「親子体操」	5月~6月(4回)	10組	8組
初歩のきもの着付け教室	5月~10月(16回)	25人	28人
ヨガ体験教室	6月1日	10人	6人
小筆に親しむ	8月~9月(4回)	15人	5人
ドラジェフラワーとラッピング体験	10月~11月	10人	5人
フォークダンス体験講座	11月4日	10人	3人
手打ち蕎麦体験講座	12月4日	10人	10人
子ども書き初め会	1月5日	10人	12人
親子で楽しむバレンタインスイーツ	2月12日	10人	10人
体験講座(リーダーバンク講座)(亀田公民館実施分)			
石けんづくり体験講座	9月17日	15人	11人
おりがみ体験講座	10月16日	20人	23人
羊毛フェルト体験講座	12月3日	10人	10人
初心者向け上の句百人一首競技かるた	1月22日	20人	20人
おいしい飴づくり講座	2月18日	15人	17人
ひな祭りのスイーツづくり講座	3月2日	10人	10人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
生涯学習リーダーバンク登録事業	4月～3月		0人
亀田公民館講座受講生作品展	9月～1月		1,294人
異世代フラダンス交流会	12月11日	20人	21人
ざいだん地域講習会「普通救命講習」	12月18日	20人	4人

③ 青少年研修センター(ふるる函館)

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
宿泊型プログラム			
わくわくキャンプ 函館山を知ろう!	5月13日～14日	25人	25人
わくわくキャンプ 「ものづくり体験チャレンジ」	6月4日～5日	25人	24人
わくわくキャンプ 「ふるる夏キャンプ」	7月23日～24日	25人	26人
Weekend English Camp	9月10日～11日	50人	37人
わくわく子どもエコキャンプ	10月15日～16日	50人	25人
わくわくハロウィンキャンプ	10月29日～30日	50人	46人
わくわく秋キャンプ	11月12日～13日	50人	33人
クリスマスお泊り会	12月17日～18日	50人	45人
ふるる函館 冬キャンプ	1月28日～29日	50人	37人
ボランティアリーダー塾	2月4日～5日	50人	11人
ふるる函館わくわくキャンプ 春キャンプ	3月25日～26日	50人	32人
日帰り型プログラム			
ふるる函館 de 地球を語ろう	4月23日	20人	7人
ボランティア養成講座(午前の部)	5月29日	20人	14人
ボランティア養成講座(午後の部)	5月29日	20人	22人
わくわくキャンプ 「まちあるき探検」	6月19日	25人	15人
夏休み ふるる函館寺子屋教室	7月26日～29日	15人	15人
ファミリー多国籍料理体験	9月25日	50人	11人
ファミリー防災訓練特別講演	10月2日	50人	56人
ものづくりチャレンジ	11月5日	50人	15人
わくわく探検マップづくり	11月26日	50人	5人
冬休み ふるる函館寺子屋教室	1月11日～14日	15人	15人
みんな集まれ, ふるる祭!!	3月5日	450人	774人

④ 青年センター

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
教養講座			
ヨガ教室	4月1・8・22日,5月6・13・27日,6月10・17・24日,7月8・22・29日,8月5・19・26日,9月9・16・30日,10月7・14・28日,11月18・25日,12月2・9・16日,1月6・13・20日,2月3・10・17日,3月3・10・17日	各20人	延べ750人
ベリーダンス教室	5月7・14・21日,6月4・18・25日,7月2・9・23日,8月6・20・27日,9月3・17・24日,11月5・19日	各35人	延べ255人
骨盤矯正ストレッチ教室	4月5・12・19・26日,5月10・17・24・31日,6月7・14・21・28日,7月5・12・19・26日,8月2・9・23・30日,9月6・13・20・27日,10月4・11・18・25日,11月8・15・22・29日,12月6・13・20・27日,1月10・17・24・31日,2月7・14・21・28日,3月7・21・28日	各20人	延べ918人
マラソンレベルアップ教室	4月10日	40人	46人
ひめトレ&やさしいヨガ	4月8・22日,5月13・27日,6月10・24日,7月8・22日,8月19・26日,9月9・30日,10月14・28日,11月18・25日,12月2・16日,1月13・20日,2月3・17日,3月3・17日	各16人	延べ262人
ゆかた着つけ教室	実施しない代わりにヨガ教室の定員を増やした	12人	中止
陶芸1日体験教室(小学生向け)	7月16日,12月17日	各20人	40人
自宅で作れる簡単クッキング教室	11月17日,2月9日	各12人	94人
ちかこ先生 自分だけの時計を作ろう	7月31日	16人	22組39人
ちかこ先生 花束と入浴剤を作ろう	1月7日	16人	15組28人
陶器の風鈴を作ろう!	7月28日(2回)	20人	39人
キッチンサイエンス	8月21日(2回)	親子6組	12組26人
手打ちそば教室	実施しない代わりにヨガ教室の定員を増やした	20人	中止
楽しく陶芸♪ 好きな器を作ろう	11月7日	10人	9人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
若者の居場所づくりに関する事業			
勉強スペース応援DAY	通年(月4~5回, 延べ52日)		延べ1,100人
柏稜高校にて講演	4月13日		32人
小中学生のためのプログラミングワークショップ	4月23日, 5月28日, 6月11・12日, 7月16日, 8月15日, 9月17日, 10月22日, 11月19日, 12月23・24日, 2月18日		延べ233人
巨大絵馬に合格メッセージを書こう!	12月17日~1月29日		-
七夕イベント	7月7日		202人
青年センターフェスティバル2016	9月11日		500人
はこだてカルチャーナイト2016	9月22日		60人
青年戦隊クリーンレンジャー	10月2日		27人
第12回地球まつり	10月22日		500人
クリスマスライブ	12月10日		128人
初笑い! 夢助落語大会	1月9日		94人
青年団体交流スポーツ大会	参加団体が集まらなかったため実施しなかった		中止
第6回ミニ四駆競技大会	3月27日		40人

⑤ 亀田青少年会館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
教養講座			
花壇菜園づくり	4月中旬から	50人	-
和風パンケーキづくり	4月17日	8組	22人
折紙教室 こいのぼりづくり	4月24日	8組	20人
キッズコンサート	6月5日, 12月10日		延べ170人
キャンドルナイト	6月19日	20人	21人
折紙教室 七夕かざりづくり	7月3日	8組	5人
パステル教室	7月23日	8組	23人
亀田川のいきものをさがそう	7月31日	20人	38人
バスハイクリンご狩り	10月10日	30人	66人
mama祭り	10月15日, 16日		1,350人
折紙教室 クリスマスカざりづくり	12月18日	8組	36人
クリスマスケーキづくり	12月23日	8組	24人
コルクボードづくり	12月25日	8組	19人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
教養講座			
イカ墨染色教室	1月8日	10人	11人
ペットボトルランプづくり	1月9日	8組	16人
折紙教室 ひなかざりづくり	2月26日	8組	14人
手芸教室	3月20日	6組	20人
指導者の養成および団体活動の育成に関すること			
卓球教室	毎週		延べ3,576人
空手教室	毎週		延べ297人
水彩画教室	隔週		延べ31人
英語教室	毎週		延べ940人
キッズダンス教室	毎週		延べ300人
職業・交友・健康その他の生活相談に関すること			
子ども会議	4月1日	10人	1人
子育てカフェ	毎月	30人	延べ441人
パステルアート外	毎月	30人	延べ36人
ベビーダンス	毎月	30人	延べ24人
リフレッシュヨガ	毎月	30人	延べ166人
余暇活動に必要な施設および設備の提供ならびにその指導に関すること			
じゃんけん大会	毎月		延べ98人
〇×クイズ大会	毎月		延べ100人
逆じゃんけん大会	毎月		延べ66人
お誕生会	毎月		延べ165人
コミュニティ・スペース	6月18日・7月30日・11月5日・12月17日	30人	延べ241人
七夕まつり	7月7日		486人
子ども朝活	7月23～29日		延べ148人
菜園収穫祭	5月～10月		—
もちつき大会	12月3日		102人

⑥ 亀田福祉センター

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
函館市亀田老人大学	4月～11月(23回)	320人	310人
子どもチャレンジ教室	4月～3月(13回)	各回8～30人	延べ182人
教養講座			
お気軽体操ストレッチ前期・後期	4月～3月(19回)	前期70人・後期70人	延べ979人
わくわくエクササイズ前期・後期	4月～3月(19回)	前期70人・後期70人	延べ999人
どなたでも簡単!リラックス・ヨガ	4月17日	10人	10人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
教養講座			
文化等体験講座	5月25日	10人	9人
パパ限定ベビーダンス	6月19日	10組	4組
ママ限定ベビーダンス	6月26日	10組	12組
PC講座「エクセルを学ぼう」	7月26日, 27日	各10人	延べ23人
そば打ち体験講座	9月17日	12人	12人
ノルディックウォーキング体験講座	9月18日	10人	8人
ハロウィンを飾る「フラワーアレンジメント」	10月27日	10人	4人
家系図の作り方	2月22日	10人	7人

⑦ 生涯学習部スポーツ振興課

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
学校開放事業(校庭, スポーツ, 遊泳)	通年 遊泳開放は夏休み期間の土日		72,195人
海水浴場の開設 (入舟町前浜海水浴場)	7月～8月		6,415人
函館マラソン('16)	6月26日	8,000人	6,873人
コミュニティランニング('16)	10月10日	400人	196人

⑧ 箱館奉行所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
奉行に変身・記念撮影	5月28日, 6月25日, 7月7日, 9月9日, 10月29日, 11月26日, 12月24日, 1月1日, 2月25日, 3月3日		859人
「箱館奉行所始末」著者・森真沙子氏講演会	6月11日	150人	150人
「クイズで巡る五稜郭と箱館奉行所」	7月24日	50人	22人
箱館奉行所 開館記念事業	7月29日		647人
「兵糧庫特別公開」	8月1日～31日		17,958人
幕末体験「奉行所再現劇」	8月21日		100人
「奉行所で秋を楽しむ～お茶とお花を愛でる～」	9月10日	100人	101人
「箱館奉行所でコーヒー体験Ⅱ」	10月1日	40人	26人
奉行所でかるた大会	11月3日	20人	17人

⑨ 博物館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
博物館講座			
古文書調査	4月13日～10月20日		6人

事業名	実施時期	定員(職員)	参加者数
博物館講座			
展示解説セミナー ようこそ函館へ「函館の歴史とお宝紹介」	5月4日	30人	7人
美術鑑賞会 アイヌ絵	5月14日	10人	5人
宇宙と天体シリーズ 「春の星座を見てみよう」	5月20日	15人	13人
函館博物館旧一号館公開	5月25日		191人
地域の身近な自然を調べる 「浜辺の漂着物を調べよう」	6月19日	15人	3人
展示解説セミナー 企画展「市立函館博物館50年 函博コレクション未来に残したい珠玉の逸品展」	7月2日, 7月16日		18人
講演会「草人 菅原 繁蔵と共に」	7月3日	30人	30人
宇宙と天体シリーズ 「夏の星座を見てみよう」	7月15日	15人	16人
函館山の植物を見る会	7月17日	20人	11人
夏休み自由研究 「鉄道車両の仕組みとJR見学会」	7月27日	40人	39人
わくわく科学教室 「ドライアイスで遊ぼう」	7月28日	20人	19人
塗り絵で楽しむ植物	7月29日	15人	16人
わくわく科学教室 「親子で乾燥剤(なき砂)を作ろう」ーシリカゲルって何?ー」	7月30日	15人	16人
夏休み自由研究 「黒曜石で矢じりを作ろう」	8月4日	15人	14人
夏休み自由研究 「和綴じ本を作ろう」	8月6日	10人	9人
夏休み自由研究 「日本画に挑戦！」	8月7日	10人	5人
夏休み自由研究 「博物館子供探検隊」	8月10日	10人	7人
夏休み自由研究 「にんにく沢たんけん隊！」	8月12日	25人	8人
夏休み自由研究 「縄文土器を作ろう」	8月14日	15人	15人
函館博物館旧一号館公開	8月21日		32人
展示解説セミナー 企画展「新収蔵資料展」	9月17日	30人	10人
美術鑑賞会「蠣崎 波響」	9月24日	10人	13人
体験!日本画教室	10月2日, 8日, 16日	10人	4人
やさしく学ぶ「北海道南部のアイヌ語」	10月9日	15人	21人
学芸員こぼれ話「函館のアイヌ文化」	12月11日	15人	9人
行ってみよう!博物館「博見学のススメ」	随時		164人
自然観察入門講座 自然の物知り博士をめざそう	4月10日~3月12日 年10回	20人	26人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
博物館講座			
四季の星空観測講座 函館・四季の夜空観測	4月22日～1月27日 年4回	20人	6人
企画展 「市立函館博物館50年 函博コレクション未来に残したい珠玉の逸品展」	6月14日～8月28日		(入館者数) 2,984人
企画展 「新収蔵資料展」	9月17日～11月6日		(入館者数) 1,829人

⑩ 中央図書館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
絵本等の読み聞かせ	通年(364回)		5,433人
えほんふれあい事業	通年(47回)		1,453人
郷土の歴史講座	5月21日 6月11日 6月18日 9月3日 9月17日 10月15日 12月3日 1月28日		105人 150人 150人 70人 70人 76人 61人 150人
市民文芸作品	募集 7月1日～9月30日 表彰式・作品集配布:3月18日～		108人
初心者のための読み聞かせ講座	10月11日		70人
古文書解読講座	5月22日～9月25日	50人	50人
夏休み子ども図書館員	7月26日, 8月2日	26人	26人
図書館deクリスマス	12月18日, 23日, 25日		582人
図書館ボランティア養成講座(平成29年度募集)	2月25日		12人

⑪ 縄文文化交流センター

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
常時体験講座			
ミニチュア土器づくり	通年		352人
縄文ペンダントづくり			481人
縄文編み(初級)			50人
縄文編み(上級)			17人
組紐アクセサリーづくり			429人
拓本とり			31人
土笛づくり			124人
カックウの顔づくり			171人
縄文土器パズル			859人
縄文体験定期講座			
縄文染め第1回 「春の縄文染め」	5月22日	20人	8人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
縄文体験定期講座			
縄文染め第2回 「夏の縄文染め」	8月21日	20人	4人
縄文染め第3回 「秋の縄文染め」	11月13日	20人	9人
縄文土器づくり体験第1回 「土器づくり」	10月2日	20人	8人
縄文土器づくり体験第2回 「縄文土器野焼き体験」	10月29日	20人	3人
遺跡調査報告会	2月12日		33人
縄文センターキッズプログラム第1回 「縄文釣り体験」	6月19日	20人	18人
縄文センターキッズプログラム第2回 「縄文釣り体験」	7月3日	20人	9人
縄文センターキッズプログラム第3回 「竪穴住居の模型を作ってみよう」	8月7日	20人	21人
縄文センターキッズプログラム第4回 「石器づくり体験」	9月11日	20人	10人
期間限定講座			
GW限定「オリジナルしおりづくり」	5月1日～5日		451人
夏休み限定「鹿角アクセサリーづくり」	7月23日～8月21日		51人
冬休み限定「おもしろ土製品づくり」	12月23日～1月15日		15人
期間限定「足形付土製品づくり」	1月7日～1月9日		19人

⑫ 市民会館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
鑑賞型事業			
ざいだん出前コンサート(5回)	5月～11月	500人	1,071人
フジコ・ヘミング&ハイドン・カルテット函館公演	6月1日	894人	1,350人
松竹大歌舞伎函館公演	7月6日	722人	964人
小野リサコンサート 「LISA ONO Dancing Bossa Tour 2016 函館公演」	9月8日	800人	783人
劇団四季ミュージカル 「ウエストサイド物語」函館公演	10月21日	943人	1,331人
アフタヌーンコンサート	11月29日	100人	193人
参加創造型事業			
函館市民文化祭(2事業)	11月10日～14日		670人
育成学習型事業			
函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ(2事業)	4月～3月	530人	324人
ざいだん「邦楽こども教室」(2教室)	6月～1月	32人	27人
夏休み特別企画「楽器のヒミツ大発見!～ピアノ編～」	8月11日	30人	75人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
育成学習型事業			
冬休み特別企画「オーケストラを楽しもう！」 (次世代のためのワークショップ)	1月15日	30人	170人
奨励型事業			
ざいだんウィンターフリーマーケット&アートマルシェ	1月7日		850人
スタインウェイを弾いてみよう!	3月5日	10組	14組
市からの委託事業			
函館市高齢者大学湯川校	5月～11月(23回)	250人	250人

⑬ 芸術ホール [ハーモニー五稜郭]

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
鑑賞型事業			
北海道新幹線開業記念 三菱UFJ ニコス presents 五嶋みどりヴァイオリン・リサイタル “人の心に潜在する音” 究極の1時間プログラム	6月19日	600人	709人
辻井伸行スペシャル・コンサート 《自作&クラシック》	8月31日	700人	712人
リサイタル・シリーズ(3回)	9月～11月	1,380人	1,284人
2017スプリング・コンサート(2事業)	10月～2月	370人	521人
参加創造型事業			
函館市民文化祭(3事業)	11月3日～7日		3,208人
育成学習型事業			
北海道舞台塾ダンスワークショップ(初級編)	8月9日～10日	40人	38人
ボックスステージツアー(2回)	1月14日	100人	41人
奨励型事業			
平成28年度 函館新人演奏会～音楽の新しい風～	7月18日	200人	218人
ハコダテライブステージ2016「五稜郭街舞台」	7月31日	200人	379人
市民美術展 第17回「はこだて・冬・アート展」(3事業)	8月, 3月		1,802人
HAKODATE WINTER JAZZ FESTIVAL 2016	12月23日	500人	391人
メモリアル・コンサート・フォー・ユーVol.19	1月8日	200人	175人
コンプレックス・シアター final	3月11日, 12日	720人	490人

⑭ 北洋資料館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
夏休み親子体験教室「貝殻恐竜を作ろう」(2回)	7月23日	80人	94人
第22回 函館の「海と港」児童絵画展	7月10日～17日		306人
特別写真展「函館昭和回想録」 …北洋漁業を支えた昭和の函館を見る	10月～11月		3,267人

⑮ 北方民族資料館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
体験学習講座(2講座)	4月～3月		762人
収蔵資料展「アイヌの生業-捕る・獲る・採る-」	7月～11月		10,667人
夏休み自由研究 「親子で、北方民族文様の切り紙細工をしよう」	7月31日	20人	22人
北方民族資料館講座(4講座)	9月～10月	120人	96人
文化の日企画「西部文化施設3館ツアー」	11月3日	30人	25人

⑯ 文学館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
企画展「石川啄木生誕130年記念特別企画 『函館に守り遺されてきた啄木日記』」	4月～10月		13,403人
企画コーナー「亀井勝一郎～没後50年に寄せて」	9月～11月		4,443人
文学の夕べ(6回)	5月～2月	300人	244人
文学館講演会 石川啄木生誕130年記念「啄木に乾杯!」	6月25日	150人	156人
中庭テラス読み聞かせ会(3回)	6月, 7月	70人	71人
夏休み自由研究「クイズ・石川啄木と函館」	7月～8月	60人	28人
函館・盛岡啄木交流かるた大会(2回)	7月・2月	33人	24人
石川啄木講座 「ふるさとは遠きにありて～啄木の盛岡・渋民～」	9月3日	150人	66人
連続講座「函館・文学の散歩道」(3回)	9月～11月	150人	100人
文化の日企画「西部文化施設3館ツアー」	11月3日	30人	25人

⑰ 重要文化財旧函館区公会堂

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
旧函館区公会堂プロムナード・コンサート(20回)	5月～9月		2,661人
公会堂コンサート(30回)	6月～10月	3,600人	2,417人
公会堂親子一日館長	7月30日	6人	6人
高校生によるお茶会	9月11日	200人	200人
文化の日企画「西部文化施設3館ツアー」	11月3日	30人	25人

⑱ 函館アリーナ

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
スポーツ教室(8教室)	4月～3月	940人	793人
コナミ担当事業スポーツ教室(20教室) ※うち1教室中止	4月～3月		6,816人
平成28年度リズムエクササイズ研修会	6月19日	200人	165人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
がんばれ!レバンガ北海道 バasketボールクリニック	7月23日	100人	100人
函館カップ2016(レバンガ北海道 VS 青森ワッツ)	7月23日, 24日	3,000人	2,322人
北海道新幹線開業記念 函館アリーナ開館1周年記念 大相撲函館場所	8月19日	4,700人	3,950人
函館市介護予防教室「転ばない!からだづくり教室」	10月~12月	30人	30人
エスポラーダ北海道フットサルクリニック	12月22日	100人	38人
函館アリーナ MATCH DAY! Super Sports XEBIO F リーグ 2016/17 第26節 エスポラーダ北海道 VS パサジィ大分	12月23日	1,500人	2,087人
函館市地域スポーツ指導員研修会	12月~1月	80人	62人
B. LEAGUE 2016-17 レギュラーシーズン レバンガ北海道 VS サンロッカーズ渋谷	2月4日, 5日	4,000人	3,507人
ふわふわアドベンチャーツアー in 函館アリーナ	2月25日, 26日	4,000人	5,944人
佐々木翔氏による競技力向上バドミントン教室&トーク	3月12日	400人	170人
古田史郎バレーボール塾	中止	100人	中止
市民スポーツ講演会	中止	300人	中止
市民スポーツ研修会	中止	50人	中止

⑱ 市民プール

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
ワンポイントレッスン	4月~3月		1,010人
水泳教室(17教室)	4月~3月	3,970人	2,841人
函館市介護予防教室「泳がない!プール教室」	4月~3月	60人	58人
第27回市民プールまつり	9月18日	600人	487人
第20回市民水泳記録会	12月11日	200人	171人
着衣水泳体験研修会	3月29日	80人	30人
めざせ!レベルアップ!「ジュニアチャレンジ2016」	12月	50人	中止

⑳ 千代台公園野球場(オーシャンスタジアム)

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
2016 プロ野球パ・リーグ公式戦 「北海道日本ハムファイターズ VS 千葉ロッテマリーンズ」	5月26日	20,000人	10,737人
第8回オーシャンスタジアム杯少年野球大会	10月29日, 30日	160人	248人

㉑ 千代台公園庭球場

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
テニス教室(2期)	5月~10月	160人	161人

② 千代台公園陸上競技場

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
千代台公園みどりのリサイクル	5月12日		35人
■第21回ざいだんフェスティバル ■グリーンパークみんなであそぼ!	8月21日		2,000人

③ 市民スケート場

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
スケート場初すべりお年玉プレゼント	1月2日	400人	387人
スケート場イベントデー	1月15日, 29日	400人	400人
スケート教室 安藤美姫フィギュア教室 in 函館	2月4日	70人	72人
スケート場感謝デー	2月12日	400人	400人
スケート教室(5教室)	12月~1月	200人	中止
スケート実技講習会	12月	30人	中止

④ 戸井教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
戸井地区ふれあい学園	5~7・11~3月(6回)		延べ171人
大間町との交流事業(大間町音楽祭参加)	11月6日		6人
戸井地区文化祭	10月16日		373人
道南駅伝競走大会	10月23日		127チーム 606人
体験教室「押し花絵」	9月7日		18人
新春書き初め会 (恵山・榎法華地区と共催)	1月6日		戸井地区参加者 25人
少年体育事業			
小学生水泳教室	8月2~5日(4回)	40人	実36人
バドミントン大会	11月12日		29ペア58人
一般体育事業			
玉入れ大会	5月19日	20チーム	8チーム54人
ゲートボール大会	6月2日		7チーム37人
ゲートボール交流会	12月~2月(4回)		延べ88人

⑤ 恵山教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
第6期函館市恵山ふれあい高齢者大学	5月~2月(年6回)	60人	延べ183人
恵山地区文化祭およびステージ発表会	10月22日		延べ342人
新春書き初め会(戸井・榎法華と共催)	1月6日		恵山地区参加者 16人
小学生水泳教室	8月7, 9, 10, 11日	30人	延べ48人
小学生ミニバレーボール大会(恵山・戸井地区)	2月18日		恵山地区参加者 26人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
小学生バトミントン教室	11月8日～10日	15人	0人
冬季ゲートボール大会(恵山・戸井地区)	3月2日		37人

㊸ 榎法華教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
体験教室事業			
陶芸	7月23日・8月27日	7人	延べ7人
バレンタインチョコを作ろう	2月4日		16人
第43回榎法華ふれあい大運動会事業	6月25日		(雨天中止)
第25回風間浦・榎法華友好地域子ども交流事業	8月8～9日		32人
健康推進事業「恵山登山」(春・秋)	5月21日・9月10日	各30人	延べ41人
第22回新春書き初め会(恵山・榎法華地区と共催)	1月6日		榎法華地区参加者 6人
生涯スポーツ普及事業			
4地区交流パークゴルフ大会	10月6日		榎法華地区参加者 7人
高齢者ふれあいいきいき学級事業			
健康講座「軽運動」	7月6日・3月8日		延べ9人
文化伝承講座「鏡もちをつくろう」	12月26日		28人
榎法華地区文化祭事業			
榎法華地区文化祭(3年に1回開催)	11月19日		162人

㊹ 南茅部教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
南茅部地区文化祭事業			
南茅部地区文化祭	11月5日・6日		出展519点 来館315人
青少年事業			
親子わくわくキャンプ	8月3・4日	30人	36人
親子でおもち作り&餅つき大会	12月27日	30人	19人
函館市南茅部沿岸漁業大学事業			
資格取得講座			
玉掛け技能資格取得講座	5月10日～12日	20人	4人
二級小型船舶操縦士資格取得講座	5月30・31日	12人	3人
高齢者専科講座			
函館市国際水産・海洋都市構想の取り組み ～最先端施設から学ぶ～	10月4日	40人	34人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
函館市南茅部沿岸漁業大学事業			
専修課程講座			
豊かな自然を次世代に	11月25日	100人	46人
道南太平洋海域におけるスケトウダラ資源調査結果と今後の資源予測について	2月14日	70人	38人
女性専科講座			
地域の食材を利用した健康料理	3月22日		17人
地域教養講座			
古部女性部開設講座	1月20日, 2月12日		48人
木直女性部開設講座	2月26日		20人
尾札部女性部開設講座	2月27日		23人
川汲女性部開設講座	3月13日		17人
安浦女性部開設講座	3月2日		9人
臼尻女性部開設講座	2月28日		25人
大船女性部開設講座	3月1日		22人
磨光小学校開設講座	1月～2月(5回)		109人
臼尻小学校開設講座	2月23日		22人
南茅部高校共催開設講座	12月8日		18人
漁協青年部開設講座	12月23日		60人
南茅部地域大会			
野球大会	5月14日		4チーム 50人
少年野球大会	10月22日		4チーム 57人
マラソン大会	9月10日		中止
ソフトバレーボール大会	10月20日		7チーム 31人
小学生フットサル大会	12月3日		9チーム 57人
スキー大会	2月5日		25人
一般水泳教室	4月～10月(42回)	20人	延べ133人
少年少女水泳教室	4月～10月(70回)	30人	延べ1,350人
ちびっ子水遊び教室	4月～10月(66回)	20人	延べ597人

4 社会教育・スポーツ施設の概要

(1) 社会教育施設の概要一覧

分類	施設名	開設年月日	建物延面積	施設概要
学 習 活 動 拠 点 施 設	函館市公民館	S 22. 5. 3	1, 230. 97㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造3階建(本館), レンガ造2階建および木造平屋建(別館), 敷地1, 302. 11㎡ ≪概要≫ 講堂(353. 76㎡/282人), 第1集会室(59. 79㎡/50人), 第2集会室(57. 62㎡/40人), 第3集会室(29. 23㎡/15人), 陶芸実習室(27. 12㎡/16人), ロビー, 事務室 他
	函館市 亀田公民館	S 38. 6. 29	489. 24㎡	≪構造≫ 木造モルタル2階建, 敷地657. 62㎡ ≪概要≫ 講堂(158. 67㎡/80人), 第1集会室(33. 06㎡/20人), 第2集会室(39. 75㎡/30人・和室), 第3集会室(52. 93㎡/30人・和室) 調理室(40. 47㎡/24人), 事務室 他
	函館市戸井 西部総合センター	H28. 4. 1	818. 09㎡	≪構造≫ 鉄骨造平屋建, 敷地27, 168. 00㎡ ≪概要≫ 集会ホール, 研修室, 和室1・2, 調理室, 事務室 他
	函館市戸井 生涯学習センター	H10. 4. 1	694. 62㎡	≪構造≫ 木造一部鉄骨造平屋建, 敷地3, 119. 05㎡ ≪概要≫ 講堂, 研修室(A, B, C), 茶室, 調理実習室, 工房
	函館市戸井 総合学習センター	S 53. 10. 1	1, 628. 00㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造3階建, 敷地1, 483. 44㎡ ≪概要≫ 大会議室, 小会議室, 研修室, 研修会議室, 青年研修室, 調理実習室
	函館市榎法華 総合センター	S 55. 9	1, 444. 25㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリートおよび鉄骨造2階建 ≪概要≫ 大ホール, 研修室(第1, 第2, 第3), 会議室, 調理実習室 視聴覚室, プレイルーム, 控室
	函館市 南茅部総合センター	S 47. 9. 2	1, 409. 69㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建, 敷地3461. 48㎡ ≪概要≫ 講堂(298. 57㎡/384人), 第1会議室(35. 52㎡/30人) 第2会議室(35. 52㎡/30人), 第1研修室(67. 46㎡/45人) 第2研修室(88. 63㎡/70人), 調理室(72. 88㎡/24人) 図書室(56. 43㎡/20人), ロビー, 事務室 他
	函館市 亀田福祉センター	S 46. 11. 1	2, 323. 49㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造3階建, 敷地3017. 94㎡ ≪概要≫ 講堂(576㎡/500人), 和室(90㎡/40人), 調理室(48㎡/25人) 会議室(3室/20~100人), 研修室(3室/20~30人), 特別室(135㎡/60人), 談話ホール, 美原図書室(130. 46㎡), 事務室他
	函館市 青年センター	S 44. 5. 17	1, 786. 20㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造2階建(本館), 鉄骨造平屋建(体育館) 敷地2, 360㎡ ≪概要≫ 体育館(540㎡), 音楽視聴覚室(46㎡/15人), 調理実習室(44㎡/15人), 第1クラブ室(59㎡/24人), 第2クラブ室(30㎡/15人), 会議室(84㎡/48人), 相談室(22㎡), 和室(14畳/10人), ロビー(163㎡), 談話ホール(41㎡), 事務室 他
	函館市青少年 研修センター (ふるる函館)	H8. 7. 21	2, 178. 48㎡	≪構造≫ 木造2階建(宿泊棟), 鉄骨造平屋建(研修棟・体育館) 鉄筋コンクリート造平屋建(浴室棟), 敷地8, 395. 02㎡ ≪概要≫ 研修室(大研修室/120人, 中研修室/50人, 小研修室/30人) 体育館(445. 50㎡), 宿泊室(洋室12室/80人, 和室2室/40人) 食堂(120人), メモリアルホール 他
函館市 亀田青少年会館	S 47. 4. 3	514. 05㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造平屋建(本館), 鉄骨造平屋建(体育館), 敷地3, 372. 12㎡ ≪概要≫ 体育室(286. 00㎡), 研修室(63. 90㎡/30人), 事務室 他	
函館市 南茅部青少年会館	S 46. 12. 24	482. 00㎡	≪構造≫ 鉄骨造平屋建, 敷地2, 630. 00㎡ ≪概要≫ 体育館(330㎡), 研修室, 事務室 他	

分類	施設名	開設年月日	建物延面積	施設概要
学習活動拠点施設	函館市中央図書館	H17.11.27	7,687.13㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階地上2階建 《概要》 エントランススペース(629.48㎡), 開架スペース(2,921.53㎡), 視聴覚ホール(287.44㎡/152人), レファレンスコーナー(552.41㎡), 読書テラス(137.89㎡) 大研修室(105.38㎡/50人), 中研修室(50.82㎡/30人), 小研修室29.65㎡/10人, ボランティアルーム(3室/計60.09㎡), 閉架書庫(504.72㎡), 貴重資料室(36.45㎡) 他
	函館市千歳図書室	H15.4.4	551.29㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造2階建(187.84㎡) 《概要》 開架書架(363.45㎡), 書庫, 事務室 他
	函館市美原図書室	S51.5.21	130.46㎡	《概要》 開架書架(113.96㎡), 事務室(16.5㎡)
	函館市湯川図書室	S57.11.15	110.20㎡	《概要》 開架書架(68.0㎡), 読書コーナー(2.0㎡) 児童コーナー(12.0㎡), 事務室(12.0㎡) 他
	函館市旭岡図書室	H2.1.12	181.32㎡	《概要》 開架書架(115.40㎡), 読書コーナー(4.0㎡) 児童コーナー(8.0㎡), 事務室(14.3㎡) 他
	函館市港図書室	H8.4.2	255.59㎡	《概要》 開架書架(187.13㎡), 事務室(15.23㎡) 他
	函館市桔梗配本所	S53.5.25	26.00㎡	《概要》 児童コーナー(26.00㎡)
学習活動援助施設	市立函館博物館	S41.4.28 (現博物館)	2,502.39㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造3階建, 敷地900.00㎡ 《概要》 展示室(1,175.66㎡), 収蔵庫(291.16㎡), 研究室(115.31㎡) 図書室(38.55㎡), 集会室(78.53㎡), 事務室(52.10㎡) 他
	市立函館博物館郷土資料館	S44.11.1	286.75㎡	《構造》 耐火煉瓦造2階建, 敷地191.99㎡
	函館市重要文化財旧函館区公会堂	S58.4.27	1,900.12㎡	《構造》 木造2階建棧瓦葺(本館), 木造平屋建渡廊下附属棧瓦葺(附属棟) 敷地7,631.10㎡ 《概要》 1階(大食堂, 球戯室, 事務室 他), 2階(大広間 他)
	函館市北洋資料館	S57.9.16	665.34㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造平屋建, 敷地(芸術ホール敷地内) 《概要》 展示室(334.80㎡) 他
	函館市文学館	H5.4.1	1,026.86㎡	《構造》 煉瓦および鉄筋コンクリート造陸屋根3階建, 敷地970.80㎡ 《概要》 展示室(624.93㎡), 収蔵庫(30.18㎡), 資料保存室(53.97㎡) 事務室 他
	函館市北方民族資料館	H5.4.1	3,043.11㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造地下1階付陸屋根4階建, 敷地1,735.74㎡ 《概要》 展示室(613.82㎡), 収蔵庫(346.70㎡), 研修室(74.40㎡) 事務室 他 ※(H元・11・3函館市北方民族資料館・石川啄木資料館として開館)
	箱館奉行所	H22.7.29	979.40㎡	《構造》 木造平屋建(一部:太鼓櫓5層)
	函館市縄文文化交流センター	H23.10.1	1,733.43㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造2階建, 敷地7,140.65㎡ 《概要》 展示(4室), 体験学習室, 図書資料室, 多目的スペース, 事務室他
	函館市南北海道教育センター	S49.9.1	1,946.35㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造3階建一部鉄骨造2階建, 敷地3,608.70㎡ 《概要》 会議室4, 研修室2, 音楽室, 資料室, 理科室2, 視聴覚研修室 録音室, 語学室, 技術室 他
芸術活動・観覧施設	函館市民会館	S45.7.1	7,277.33㎡	《構造》 鉄骨鉄筋コンクリート造独立基礎外壁茶系磁気質山丁掛窯変タイルパイル打ち地下1階地上4階建, 敷地35,340.05㎡ 《概要》 大ホール(固定席1,370席, 楽屋5室), 小ホール(342㎡/500席) 大会議室(276㎡/300席), 小会議室(1号・72㎡/30人, 2号・72㎡/26人), 和室(28畳/40人), 展示室(360㎡), 事務室 他
	函館市芸術ホール(ハーモニー五稜郭)	H10.5.9	5,945.71㎡	《構造》 鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階地上4階建(一部鉄筋コンクリート造) 敷地13,068.50㎡ 《概要》 ホール(固定席708席, 移動席130席, 車イス席4席), 楽屋3室 ギャラリー(400㎡), リハーサル室(182㎡), 練習室(1号・27㎡/2号・20㎡), 会議室(56㎡), 録音調整室(10㎡), 事務室 他

函館市公民館・亀田公民館

1 施設の概要

(1) 公民館

- ・設 立 昭和22年5月3日
- ・所 在 地 函館市青柳町12番17号
(TEL22-3320・FAX22-8196)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建(本館),
レンガ造2階建及び木造平屋建(別館)
- ・敷地面積 1,302.11㎡
- ・建物延面積 1,230.97㎡
- ・建物内容 講 堂 ～ 282人(固定席)
第1集会室 ～ 50人(机30人, 椅子50人)
第2集会室 ～ 40人(机24人, 椅子40人)
第3集会室 ～ 15人(机10人, 椅子15人)
陶芸実習室 ～ 16人



(2) 亀田公民館

- ・設 立 昭和38年6月29日
- ・所 在 地 函館市富岡町1丁目18番3号
(TEL・FAX41-2445)
- ・構 造 木造モルタル2階建
- ・敷地面積 657.62㎡
- ・建物延面積 489.24㎡
- ・建物内容 講 堂 ～ 80人(机 50人, 椅子80人)
第1集会室 ～ 20人(机 10人, 椅子20人)
第2集会室 ～ 30人(座卓26人, 座 30人)
第3集会室 ～ 30人(座卓24人, 座 30人)
調 理 室 ～ 24人



(3) 開館時間, 休館日

- ・開 館 時 間 午前9時～午後9時
- ・休 館 日 月曜日(月曜が祝日の時は火曜日), 国民の祝日,
年末年始(12月29日～1月3日)

2 運営の方針

社会教育法に基づき地域住民の実生活に即する教育, 学術および文化に関する各種事業を実施し, 地域住民の教養の向上, 健康増進, 情操の純化を図り生活文化の振興, 社会福祉の増進に寄与するとともに, 生涯学習体制の確立を目指し社会連帯意識の向上を図り, 明るく住みよい豊かなまちづくりの中心的役割を果たす公民館としてその機能発揮に努める。また, 勤労者向けの講座や, 人づくりを主眼とした講座を重視しながら地域住民に社会教育, 生涯教育の浸透を図る。

3 主要事業

- ・公民館講座, 高齢者大学青柳校, 異世代音楽交流会, 公民館コンサート ほか
- ・亀田公民館講座, 異世代フラダンス交流会, ざいだん地域講習会 ほか

4 施設の利用状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
公 民 館	1,916人	21,537人	25,398人
亀田公民館	24,421人	17,031人	16,423人
計	26,337人	38,568人	41,821人

※公民館の平成26年度は, 施設改修により長期休館

函館市戸井西部総合センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成28年4月1日
- ・所 在 地 函館市小安町525番地1 (TEL82-3537)
- ・構 造 鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 27,168.00㎡
- ・建物延面積 818.09㎡
- ・建物内容 集会ホール (207.48㎡), 研修室 (83.72㎡)
和室1 (22.79㎡), 和室2 (23.60㎡)
調理室 (53.34㎡), 事務室 (24.44㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 月曜日, 年末年始 (12月29日～1月3日)



(2) 施設の特徴

市民の生涯学習やコミュニティ活動, また, 郷土資料の展示や災害時の避難所などの機能を併せ持った施設。

(3) 運営の方針

市民の生涯学習に関する活動, および地域における集会の場を提供し, 施設の機能発揮を図る。

(4) 施設の利用状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	—	—	6,733人

函館市戸井生涯学習センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成10年4月1日
- ・所 在 地 函館市浜町33番地2 (TEL82-2234)
- ・構 造 木造一部鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 3,119.05㎡
- ・建物延面積 694.62㎡
- ・建物内容 講堂 (223.56㎡), 研修室A (34.02㎡)
研修室B (28.35㎡), 研修室C (102.06㎡)
茶室 (34.02㎡), 工房 (34.02㎡), 調理室 (45.36㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 日曜日, 国民の祝日, 年末年始 (12月29日～1



月3日)

(2) 施設の特徴

陶芸の工房や茶室を備えた, 各種教室などに使用される市民の生涯学習活動施設。

(3) 運営の方針

市民の生涯学習に関する活動, および地域における集会の場を提供し, 学習センター施設の機能発揮を図る。

(4) 施設の利用状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	2,804人	2,768人	2,432人

函館市戸井総合学習センター

(1) 施設の概要

- ・ 設 立 昭和53年10月1日
- ・ 所 在 地 函館市浜町308番地1 (TEL82-3111)
- ・ 構 造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・ 敷 地 面 積 1,483.44㎡
- ・ 建物延面積 1,628.00㎡
- ・ 建物内容 大会議室(496.4㎡),
研修会議室(244.75㎡),
青年研修室(57.75㎡), 研修室(52.5㎡),
小会議室(58.85㎡), 調理実習室(57.75㎡)
- ・ 開 館 時 間 午前9時～午後9時
- ・ 休 館 日 日曜日, 国民の祝日, 年末年始(12月29日～1月3日)

(2) 施設の特徴

ステージ照明を備えた大会議室や, ステージ付の和室(研修会議室)があり, 文化祭や各種講演会開催のほか, 地域の集会等にも利用される施設。

(3) 運営の方針

市民に生涯学習に関する活動その他地域における集会等の場を提供し, もって市民の生涯学習活動の振興と学習センター施設機能の発揮を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	1,205人	1,244人	1,450人



函館市榎法華総合センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和55年9月
- ・所 在 地 函館市新浜町156番地1 (TEL86-2451・FAX86-2838)
- ・構 造 鉄筋コンクリートおよび鉄骨造2階建
- ・建物延面積 1,444.25㎡
- ・建物内容 大ホール 440.00㎡(内舞台100.00㎡) 固定席無し 収容人数 約450人
第1研修室 和室46.74㎡ 収容人数 約30人
第2研修室 洋室56.26㎡ 収容人数 約20人
第3研修室 和室36.85㎡ 収容人数 約15人
会 議 室 45.10㎡ 収容人数 約20人
視 聴 覚 室 45.10㎡ 収容人数 約20人
調理実習室 90.20㎡ 調理実習台7台設置(内1台講師用) 収容人数 約24人
プレイルーム 34.10㎡ 収容人数 約10人
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休 館 日 日曜日および土曜日、国民の祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

(2) 施設の特徴

函館市榎法華支所と隣接し、榎法華地域の市民が集会等に利用しやすいよう、大ホール等様々な広さの研修室を備え、平成23年度には、利用者の安全性や利便性の向上を図るため、自動ドアやエレベーター、障がい者用トイレを設置するなど、バリアフリー化改修工事を行い、高齢者や障がい者対応の施設。また、生涯学習関係事業や行政関係事業等、各種事業の会場としても利用されている。

(3) 運営の方針

市民に生涯学習に関する活動その他地域における集会等の場を提供し、もって市民の生涯学習活動の振興に資する。

(4) 施設の利用状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	3,350人	3,457人	3,862人



函館市南茅部総合センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和47年9月
- ・所 在 地 函館市川汲町1520番地4 (TEL25-3789・FAX25-3790)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建
- ・敷地面積 3,461.48㎡
- ・建物延面積 1,409.69㎡
- ・建物内容 講 堂 : 384人 (椅子384人)
第1会議室 : 30人 (椅子 30人), 第2会議室 : 30人 (椅子 30人)
第1研修室 : 45人 (椅子 45人), 第2研修室 : 70人 (椅子 70人)
調理室 : 24人, 図 書 室 : 20人
- ・開館時間 午前9時~午後9時
- ・休館日 土・日曜日, 国民の祝日, 年末年始 (12月29日~1月3日)

(2) 施設の特徴

南茅部地域の中心部に位置し、講堂、会議室、調理室、図書室等を備え、同地域の社会教育行政の中心的役割を果たしている。

(3) 運営の方針

函館市民憲章ならびに函館市教育目標に基づき、総合センターが学習の場、ふれあいの場、憩いの場として市民の生涯にわたる自主的な社会教育活動を促進するとともに、生涯学習体制の確立を目指し、社会連帯意識の向上を図り、明るく住みよい豊かなまちづくりの中心的役割を果たす総合センターとして、その機能発揮に努める。

(4) 主催事業 (南茅部教育事務所事業)

- 文化振興事業 - 南茅部地域文化祭
- 青少年事業 - 親子わくわくキャンプ, 親子でおもちゃ作り&もちつき大会
函館市南茅部沿岸漁業大学事業 (外郭団体)
- 沿岸漁業大学事業 - 資格取得講座, 女性専科講座, 高齢者専科講座, 市民教養講座, 専修課程講座

(5) 施設の利用状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	6,774人	6,350人	6,708人



函館市亀田福祉センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和46年11月1日
- ・所 在 地 函館市美原1丁目26番12号 (TEL42-7023・FAX42-9792)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・敷地面積 3,017.94㎡
- ・建物延面積 2,323.49㎡
- ・建物内容 講 堂 ～ 500人
第1会議室 ～ 100人
第2会議室 ～ 96人
第3会議室 ～ 20人 ただし、講堂使用者のみ
特 別 室 ～ 60人
第1和室 } ～ 40人
第2和室 }
第1研修室 ～ 15人
第2研修室 ～ 15人
第3研修室 ～ 20人
調 理 室 ～ 25人

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

(2) 運営の方針

各種団体、サークル等が開催する会議・研修会等に会場を提供し、市民の自主的な社会活動の促進、生涯学習の促進に努め、福祉センター施設の機能発揮を図る。

(3) 主催事業

函館市亀田老人大学 4月～11月

(4) 施設の利用状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	134,313人	124,662人	118,567人



函館市青年センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和44年5月17日
- ・所 在 地 函館市千代台町27番5号 (TEL51-3390)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造2階建 (本館)
鉄骨造平屋建 (体育館)
- ・敷地面積 2,360㎡
- ・建物延面積 1,786.20㎡
- ・建物内容 体育館 (バドミントン, ソフトバレー, 卓球)
会議室, 第1クラブ室, 第2クラブ室,
音楽視聴覚室, 調理実習室, 和室, ロビー,
談話コーナー, 相談室, 事務室



(2) 開館時間・休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 水曜日 (夜間臨時開館実施), 年末年始 (12月31日～1月3日)

(3) 運営の方針

- ・青少年の教養の向上, 健康の増進ならびに情操の純化を図ります。
- ・函館市における青少年の交流・情報発信・学習育成・余暇活動の拠点となるべく努めます。
- ・サークル活動や社会活動にすでに参加し, もしくは参加しようとしている青少年へのサポートやアドバイスをを行います。
- ・青少年の健全育成に不可欠な幅広い年代層との交流を促進するため, 広く一般にも施設や主催講座を開放します。
- ・施設の知名度向上および利用促進のため, 各種団体等の事業および市民による活動発表等に積極的に施設を貸し出します。

(4) 施設の特徴

函館市の中心部, 各種スポーツ施設のある千代台公園の入口に位置し, 交通至便で若者がふれあい, 語らい, 憩う場として気軽に利用できる体育館や活動室を備えた勤労青少年の活動施設。

(5) 利用対象

- ・勤労青少年 (15歳以上29歳未満は無料)
- ・一般市民 (勤労青少年の利用がない場合, 有料で利用できる)
- ・ロビーは一般市民も無料で利用できる。

(6) 主催事業

教養講座, 国際交流事業, 青年センターフェスティバル, 若者の居場所づくり事業 他

(7) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
主催(共催)事業	4,523人	4,730人	5,134人
青年利用	14,611人	13,357人	15,115人
一般利用	43,342人	43,786人	49,551人
計	62,476人	61,873人	69,800人

函館市青少年研修センター（ふるる函館）

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成8年7月21日
- ・所 在 地 函館市谷地頭町5番14号
(TEL23-5961・FAX23-1315)
- ・構 造 木造2階建（宿泊棟）
鉄筋コンクリート造平屋建（浴室棟）
鉄骨造平屋建（研修棟・体育館）
- ・敷地面積 8,395.02㎡
- ・建物延面積 2,178.48㎡
- ・建物内容 宿泊室（収容人員120名）
洋室宿泊室：4名定員2室, 6名定員8室,
12名定員2室
和室宿泊室：20名定員2室
研修室：大研修室120名, 中研修室50名,
小研修室30名, 体育館, 食堂, メモリアルホール等
- ・休 館 日 月曜日, 祝日, 年末年始（12月29日～1月3日）, 器材点検日（随時）



(2) 施設の特徴

「青少年の健全育成と市民の生涯学習活動の場」としての施設。函館山東側山麓に位置し、周囲には立待岬や函館公園などがあり、歴史的建造物の点在する西部地区にも徒歩で行けるなど、歴史学習や自然観察など利用目的に合わせ、幅広い研修が可能。

(3) 運営の方針

次に掲げる事項に留意して運営を行うものとする。

- ・立地条件を生かした特色ある事業や運営を行うよう努める。
- ・利用者の年齢および利用目的に応じた運営を行うよう努める。
- ・広く青少年教育関係者の理解と協力を得るよう努める。
- ・民間有志指導者（ボランティア）の協力を得るよう努める。
- ・社会教育関係機関との連携に努める。
- ・利用者の安全に努める。

(4) 利用対象

原則として小学生以上で、具体的な研修計画を有し、引率者（指導者）がいる5人以上の団体とする。

(5) 研修活動

① 主催事業

- ・青少年向け宿泊型プログラム（野外体験, ボランティア体験, 国際交流等）
- ・青少年向け日帰型プログラム（自然体験, 工作体験, 国際交流, 郷土教育等）
- ・一般市民, 指導者向け青少年活動に関わる研修講座（救命救急講習等）
- ・一般市民, ボランティア希望者向けボランティア育成に関わる研修講座（ボランティア体験学習）
- ・その他（ふるる祭）

② 施設利用者向けプログラム

- ・各種体験プログラム（自然体験, 工作体験, 歴史体験等）
- ・各種食育プログラム（郷土料理, お菓子, 野外炊事等）

(6) 施設の利用状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	27,679人	32,586人	28,212人

函館市亀田青少年会館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和47年4月3日
- ・所 在 地 函館市亀田本町19番21号
(TEL41-4383)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造平屋建（本館）
鉄骨造平屋建（体育館）
- ・敷地面積 3,372.12㎡
- ・建物延面積 514.05㎡
- ・建物内容 体育室, 研修室, ロビー, 事務室等



(2) 開館時間・休館日

- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 月曜日, 年末年始（12月31日～1月3日）

(3) 運営の方針

- ・地域社会を取り巻くいろいろな問題を解決するため、子ども達の居場所づくりを推進し、子ども達の育ちを喜びあえる地域社会づくりを目指します。
- ・季節毎の行事・ものづくり教室・レクリエーションを通して、子ども達や保護者が楽しく利用できる施設として運営します。
- ・体育室をバスケットタイムとして開放することで、中高生・勤労青少年の利用を促します。
- ・町会活動と連携を図り、地域と一体となった運営を行うことで、地域コミュニティの再生を図ります。

(4) 主催・共催事業

- ・レクリエーションや軽スポーツ大会
- ・花壇・菜園づくり
- ・ものづくり教室
- ・スポーツ教室（卓球など）
- ・文化教室（絵画・英語など）
- ・お誕生会や季節毎の行事（七夕・節分・ひなまつりなど）

(5) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
主 催 事 業	10,545人	13,146人	13,665人
共 催 事 業	5,119人	5,270人	5,144人
優 先 利 用	12,193人	13,452人	13,742人
一 般 利 用	6,446人	6,026人	5,784人
計	34,303人	37,894人	38,335人

函館市南茅部青少年会館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和46年12月24日
- ・所 在 地 函館市安浦町302番地 (TEL・FAX無)
- ・構 造 鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 2,630.00㎡
- ・建物延面積 482.00㎡
- ・建物内容 体育館(330㎡), 研修室, 事務室等
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休 館 日 年末年始(12月29日～1月3日)



(2) 施設の特徴

南茅部地域の中心部付近に位置し、体育館、研修室等を備えた青少年が自由に活動できる施設。

(3) 運営の方針

青少年の教養の向上・健康の増進ならびに情操の純化を図るための活動の場として開放し、青少年の健全育成に寄与できるような運営に努める。

(4) 施設の利用状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	634人	478人	421人

函館市中央図書館

1 施設の概要

(1) 中央図書館

- ・設 立 平成17年11月27日
- ・所 在 地 函館市五稜郭町26番1号
(TEL35-5500 FAX35-5525)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
地下1階地上2階建
- ・敷地面積 11,707.81㎡
- ・建物延面積 7,687.13㎡
- ・収 蔵 冊 数 867,664冊 (図書室を含む)



(2) 各図書室等

- ・千歳図書室 (函館市千歳町15番10号) TEL23-9811 蔵書数: 42,170冊)
- ・美原図書室 (函館市美原1丁目26番12号) TEL45-5125 蔵書数: 27,983冊)
- ・湯川図書室 (函館市湯川町2丁目40番13号) TEL57-4120 蔵書数: 22,415冊)
- ・旭岡図書室 (函館市西旭岡町2丁目51番地12) TEL50-2340 蔵書数: 15,674冊)
- ・港図書室 (函館市港町2丁目7番1号) TEL43-8211 蔵書数: 23,587冊)
- ・桔梗配本所 (函館市桔梗4丁目1番18号) TEL47-1510 蔵書数: 7,719冊)
- ・移動図書館 (ともしび号) TEL35-5500 蔵書数: 14,592冊)

(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 中央図書館 午前9時30分～午後8時 (視聴覚ホール・研修室は午後9時)
各図書室 午前10時～午後5時
旭岡図書室 午後1時～午後5時
桔梗配本所 午後1時～午後4時45分 (土曜日および学校の長期休業日は午前10時開館)
- ・休 館 日 中央図書館 水曜日, 年末年始(12月29日～1月3日), 図書特別整理期間(年1回およそ1週間)
各図書室 月曜日(桔梗配本所は日曜日), 祝休日,
年末年始(12月29日～1月3日), 図書特別整理期間 (年1回およそ1週間)

2 運営の方針

図書館においては、今後ますます進展する情報化社会において、市民の学習意欲の高揚に即応できるよう「親しまれ、信頼される図書館」づくりを基本方針とし、多様な市民要求に応えられるよう、適切な資料の収集充実に努める。また、より高密度な奉仕体制をめざして、逐次地域図書館施設、移動図書館車による図書館奉仕網の整備促進と他の関係機関および関連施設との連携に努め、生涯学習の推進に資する。

3 サービス体制

- ・個人貸出し— 市民在住者および通勤通学者を対象に貸出 (貸出期間-2週間)
- ・予約制度— 読みたい本の予約とリクエストができる
- ・レファレンス— 調査研究や図書・読書に関する相談
- ・複写サービス— 図書館資料の複写サービスのため複写機を設置
- ・障害者サービス— 視力障害者に対する点字図書、録音テープの貸出

4 図書館資料利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
貸出人数(総数)	343,532人	331,183人	311,434人
貸出冊数(総数)	1,401,614冊	1,351,566冊	1,271,020冊
蔵書数(総数)	839,561冊	852,730冊	867,664冊

市立函館博物館

1 施設の概要

(1) 博物館

- ・設 立 明治12年5月25日
- ・所 在 地 函館市青柳町17番1号
(TEL23-5480・FAX23-0831)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・敷地面積 900㎡
- ・建物延面積 2,502.39㎡
- ・常設展示 北海道の旧石器時代を代表する樽岸の石器
市内各遺跡等の発掘資料、志海苔古銭
ブラキストンの石斧、箱館戦争関係資料
高松凌雲の医療器具、明治の函館博物資料
各種絵画および美術工芸品



(2) 郷土資料館 (旧金森洋物店)

- ・設 立 昭和44年11月1日
- ・所 在 地 函館市末広町19番15号
(TEL・FAX23-3095)
- ・構 造 耐火煉瓦造2階建
- ・敷地面積 191.99㎡
- ・建物延面積 286.75㎡
- ・常設展示 明治13年の金森洋物店建築時を再現し、
明治のハイカラ文化、伝統的建造物群を紹介



(3) 開館時間、休館日

- ・開館時間 (4月1日～10月31日)午前9時～午後4時30分
(11月1日～3月31日)午前9時～午後4時
- ・休館日 月曜日、祝日、毎月の最終金曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

2 運営の方針

総合博物館として、市民の生涯学習推進、調査研究、レクリエーションに資するため、博物館体制の充実および博物館活動の促進を図り、教育・学術文化の発展に努める。

3 主要事業

事業名	内 容	期 間
企 画 展	「能登川コレクション展ー考古学に魅せられて・能登川隆の生涯ー	6月13日～8月27日
企 画 展	「新収蔵資料展」	9月16日～11月5日
博 物 館	自然、考古、歴史、民俗、民族、美術 18講座	5月～11月

4 入館状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
博 物 館	9,875人	10,044人	10,313人
郷 土 資 料 館	5,868人	4,989人	5,603人
計	15,743人	15,033人	15,916人

函館市重要文化財旧函館区公会堂

(1) 施設の概要

- ・開館 昭和58年4月27日
(明治43年9月20日公会堂として開堂)
- ・所在地 函館市元町11番13号 (TEL22-1001・FAX22-8284)
- ・構造 木造2階建棧瓦葺(本館)
木造平屋建渡廊下附属棧瓦葺(附属棟)
- ・敷地面積 7,631.10㎡
- ・建物延面積 1,900.12㎡
- ・重要文化財指定 昭和49年5月21日

(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時(4月1日～10月31日), 午前9時～午後5時(11月1日～3月31日)
- ・臨時開館 午前9時～午後3時(1月1日～1月3日)
- ・休館日 年末(12月31日), 館内整理日(随時)

(3) 入館料

- ・一般～300円, 学生・生徒・児童～150円
(団体20人以上は一般～240円, 学生・生徒・児童～120円)
- ・北方民族資料館, 文学館または旧イギリス領事館のいずれかとの2館共通入館料
一般～500円, 学生・生徒・児童～250円(団体割引なし)
- ・北方民族資料館, 文学館および旧イギリス領事館のいずれか2館との3館共通入館料
一般～720円, 学生・生徒・児童～360円(団体割引なし)
- ・北方民族資料館, 文学館および旧イギリス領事館との4館共通入館料
一般～840円, 学生・生徒・児童～420円(団体割引なし)

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・公会堂コンサート(弦楽器, ピアノ, 合唱等)年間約30回開催
- ・公会堂プロムナードコンサート ・公会堂親子一日館長 ・文化の日企画「西部文化施設3館ツアー」 他

(5) 入館状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
個人利用	125,661人	121,166人	141,618人
団体利用	30,380人	30,388人	32,790人
計	156,041人	151,554人	174,408人



函館市北洋資料館

(1) 施設の概要

- ・開館 昭和57年9月16日
- ・所在地 函館市五稜郭町37番8号 (TEL55-3455・FAX55-3586)
- ・構造 鉄筋コンクリート造平屋建
- ・建物延面積 665.34㎡

(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時 (4月1日～10月31日)
午前9時～午後5時 (11月1日～3月31日)
- ・休館日 年末年始 (12月31日～1月3日), 館内整理日 (随時)

(3) 入館料

- ・一般～100円, 学生・生徒・児童～50円
(団体10人以上は一般～80円, 学生・生徒・児童～40円)

(4) 展示の内容

展示室は334㎡で3つのコーナーに分かれ, 約500点を展示

・むかしの北方漁業

漁業の始まりから北方民族漁業, 和人の進出とニシン・サケ漁, 樺太・南千島の漁業開発, そして明治時代までを実物・写真などで紹介している。

・北洋漁業の歩み

北洋漁業の概要をはじめ, カニ網, サケ・マス流し網, 底びき網の各漁業, そして北洋基地「函館の歴史」などを実物・模型・写真を使って立体的に展示している。

・200海里時代とこれからの北洋漁業

これからの漁業の将来展望を50枚のスライドを使い解説するマルチ映像, 北洋のサケなどの漁場をボタン操作で確認できる模型を展示している。

・その他, 荒海を独航船で行く「3分間北洋航海体験室」がある。

(5) 主催事業 (文化・スポーツ振興財団事業)

- ・函館の「海と港」児童絵画展, 貝殻恐竜で作ろう

(6) 入館状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
個人利用	10,300人	13,181人	11,518人
団体利用	1,915人	2,125人	1,937人
計	12,215人	15,306人	13,455人



函館市文学館

(1) 施設の概要

- ・開館 平成5年4月1日
- ・所在地 函館市末広町22番5号
(TEL22-9014・FAX22-9065)
- ・構造 煉瓦および鉄筋コンクリート造
陸屋根3階建
- ・敷地面積 970.80㎡
- ・建物延面積 1,026.86㎡



(2) 開館時間、休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時(4月1日～10月31日)
午前9時～午後5時(11月1日～3月31日)
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日)
館内整理日(随時)

(3) 入館料

- ・一般～300円, 学生・生徒・児童～150円
(団体20人以上は一般～240円, 学生・生徒・児童～120円)
- ・公会堂, 北方民族資料館または旧イギリス領事館のいずれかとの2館共通入館料
一般～500円, 学生・生徒・児童～250円(団体割引なし)
- ・公会堂, 北方民族資料館および旧イギリス領事館のいずれか2館との3館共通入館料
一般～720円, 学生・生徒・児童～360円(団体割引なし)
- ・公会堂, 北方民族資料館および旧イギリス領事館との4館共通入館料
一般～840円, 学生・生徒・児童～420円(団体割引なし)

(4) 展示内容

- ・1階展示ホール＝函館ゆかりの作家たち
函館の歴史的歩みを背景に、明治期以降の日本文学史の流れの中で、北海道・函館文学をみつめ、函館の風土性、郷土性が生み出した著名な作家たちを紹介する。
[主な作家～高橋掬太郎, 久生十蘭, 長谷川海太郎, 亀井勝一郎, 井上光晴, 梁川剛一, 辻仁成, 佐藤泰志, 宇江佐真理ほか]
- ・2階展示ホール＝漂泊の詩人石川啄木
函館生活から始まる北海道漂泊時代, 啄木が生まれ育った渋民・盛岡時代, そして独自の文学を形成した在京時代と, 啄木26年と2ヶ月の生涯を詳しく紹介し, 特別展示室では, 今まで公開される機会の少なかった啄木の自筆資料を展示している。
[日記, ノート類, 宮崎郁雨あて書簡など]

(5) 主催事業

- ・石川啄木講座, 連続講座「函館・文学の散歩道」, 文学館講演会, 文学の夕べ, 中庭テラス読み聞かせ会,
企画展 他

(6) 入館状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
個人利用	15,327人	15,650人	18,151人
団体利用	1,059人	1,089人	963人
計	16,386人	16,739人	19,114人

函館市北方民族資料館

(1) 施設の概要

- ・開館 平成5年4月1日
(平成元年11月3日函館市北方民族資料館
・石川啄木資料館として開館)
- ・所在地 函館市末広町21番7号
(TEL22-4128・FAX 22-8874)
- ・構造 鉄筋コンクリート造地下1階
付陸屋根4階建
- ・敷地面積 1,735.74㎡
- ・建物延面積 3,043.11㎡



(2) 開館時間、休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時(4月1日～10月31日)
午前9時～午後5時(11月1日～3月31日)
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日)
館内整理日(随時)

(3) 入館料

- ・一般～300円, 学生・生徒・児童～150円
(団体20人以上は一般～240円, 学生・生徒・児童～120円)
- ・公会堂, 文学館または旧イギリス領事館のいずれかとの2館共通入館料
一般～500円, 学生・生徒・児童～250円(団体割引なし)
- ・公会堂, 文学館および旧イギリス領事館のいずれか2館との3館共通入館料
一般～720円, 学生・生徒・児童～360円(団体割引なし)
- ・公会堂, 文学館および旧イギリス領事館との4館共通入館料
一般～840円, 学生・生徒・児童～420円(団体割引なし)

(4) 展示内容

明治の初め、開拓使等が収集した市立函館博物館旧蔵資料、北方民族学の世界的研究者・馬場脩、児玉作左衛門が収集した、国指定重要有形民俗文化財を含むアイヌ・ウィルタなどの北方民族資料を中心に収蔵。展示ホールと1～7の展示室に「装いの美学」「北の神々」「暮らしの中の手仕事」「北方民族HAKODATE COLLECTION」「あそびの世界」「アイヌ民族学の先駆者たち」「アイヌ絵の世界」のテーマ別に資料を展示する。アイヌ民族文様を刺繍・彫刻した衣装や生活用具、母から娘へと受け継がれてきたアイヌの首飾り(タマサイ)、大陸との交易で手に入れた山丹服(蝦夷錦)、アリュート民族がラッコ猟などに使用した三人乗りの皮舟(パイダルカ)など、300点を超える貴重な資料を見ることができる。

(5) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・北方民族資料館講座, 体験学習講座, 企画展 他

(6) 入館状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
個人利用	21,555人	22,444人	27,460人
団体利用	2,978人	3,074人	2,888人
計	24,533人	25,518人	30,348人

箱館奉行所

(1) 施設の概要

- ・ 設 立 平成22年7月29日
- ・ 所 在 地 函館市五稜郭町44番3号
- ・ 構 造 木造平屋建（一部：太鼓櫓は5層）
- ・ 建物延面積 979.40㎡
- ・ 開館時間 4月1日～10月30日 午前9時～午後6時
11月1日～3月31日 午前9時～午後5時
- ・ 休 館 日 12月31日～1月3日

(2) 施設の特徴

建築当時と同じ位置に、建築資材の産地や種類、部材の寸法や仕上げ、工法までも精密に再現。

(3) 入館料

- 一 般 個人500円、団体（20名以上）400円
- 学 生・生 徒・児 童 個人250円、団体（20名以上）200円

(4) 運営の方針

五稜郭跡および箱館奉行所の歴史を紹介することにより、もって市民の文化的向上に寄与する。

(5) 展示の内容

日本伝統建築による建物再現、五稜郭と箱館奉行所の歴史解説、建築関連出土遺物の展示 等



(6) 入館状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	149,368人	144,070人	179,032人

函館市縄文文化交流センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成23年10月1日
- ・所 在 地 函館市白尻町551番地1
- ・構 造 鉄筋コンクリート造2階建
- ・建物延面積 1,733.43㎡
- ・開館時間 4月1日～10月30日 午前9時～午後5時
11月1日～3月31日 午前9時～午後4時30分
- ・休 館 日 毎週月曜日（月曜が休日の場合は、その日に最も近い平日），毎月最終金曜日，
年末年始（12月29日～1月3日）

(2) 施設の特徴

国宝「中空土偶」ほか市内の縄文時代の遺跡から出土した遺物を展示・公開する登録博物館であり、「道の駅」機能も備えている（「道の駅」縄文ロマン南かやべ）。

(3) 入館料

- 一 般 個人300円，団体（20名以上）240円
- 学生・生徒・児童 個人150円，団体（20名以上）120円

(4) 運営の方針

函館市の縄文時代の貴重な文化遺産を市民共有の歴史的資産として次代に引き継ぎ、それらを活用して地域間交流や各種事業を展開することにより、文化財の保護とともに、個性豊かなまちづくりならびに地域振興に寄与することを目的とする。

(5) 展示の内容等

- ・国宝「中空土偶」をはじめ、市内の縄文時代の遺跡から出土した土器や石器等の遺物を展示
- ・土器づくりや縄文編み等の体験学習の実施および定期講座の開催



(6) 入館状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	22,508人	21,218人	19,688人

函館市民会館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和45年7月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町1丁目32番1号
(TEL57-3111・FAX57-3115)
- ・構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造独立基礎
外壁茶系磁気質山丁掛窯変タイル
パイル打ち地下1階地上4階建
- ・建物延面積 7,277.33㎡
- ・建物内容 大ホール 固定席1,370席
(車いす使用席12席含む)
楽屋5室, 舞台243㎡

小ホール 椅子500席
大会議室 椅子300席
展示室 (展示用360㎡)
小会議室1号 (応接室風72㎡・30人)
小会議室2号 (円卓会議室風72㎡・26人)
和室 (28畳・40人), 事務室, 応接室等



(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日), 器材点検日(随時)

(3) 運営の方針

優れた舞台芸術の発表や鑑賞の場として, 市民の文化意識の高揚を図るとともに, ホールとして市民に親しまれ活用される運営に努める。また, 市民の創造的な文化活動を助長する事業を展開・推進することにより, 市の活性化とまちづくりに寄与するとともに, 市民の生活に潤いと心の豊かさをもたらす事業を行う。

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・鑑賞型事業 ～ 2CELLOS函館公演, ざいだん出前コンサート,
仙台フィルハーモニー管弦楽団函館公演
- ・参加創造型事業 ～ 市民文化祭(舞台芸術部門, 展示部門) 他
- ・育成学習型事業 ～ ざいだん邦楽こども教室, 夏休み特別企画「楽器のヒミツ大発見!」 他

(5) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
大ホール	102,628人	107,087人	104,340人
小ホール	47,355人	44,150人	45,105人
大会議室	16,974人	19,161人	19,090人
その他諸室	28,832人	19,390人	28,515人
計	195,789人	199,788人	197,050人

函館市芸術ホール（ハーモニー五稜郭）

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成10年5月9日
- ・所 在 地 函館市五稜郭町37番8号
(TEL55-3521・FAX55-3586)
- ・構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階
地上4階建（一部鉄筋コンクリート造）
- ・建物延面積 5,945.71㎡
- ・建物内容 ホール 目的に応じて音楽舞台と
多目的舞台に転換



音楽舞台 [最大幅17m×高さ11m×奥行9.5m] 712席
 多目的舞台[プロセニウム幅13.8m×高さ6～8m(可動式)×奥行12.5m,全幅30m] 842席
 (各車イス使用席4席含む)

楽屋3室

ギャラリー(400㎡), リハーサル室(182㎡), 練習室1号(27㎡), 練習室2号(20㎡),
 録音調整室(10㎡), 会議室(楽屋として使用可56㎡),
 オープンギャラリー, カフェテラス, 事務室, 応接室 等

(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日)

(3) 運営の方針

市民の芸術・文化活動の創作, 発表の場, 質の高い音楽演奏などを提供する場として, 地域の芸術・文化振興の核となる運営に努める。また, ギャラリーやオープンギャラリーなどの施設を有効に活用し, 市民会館とあわせ, 市の活性化とまちづくりに寄与するとともに, 市民の生活に潤いと心の豊かさをもたらす事業の実施に努める。

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・鑑賞型事業～反田恭平ピアノ・リサイタル2017, リサイタル・シリーズ, スプリング・コンサート
- ・育成学習型事業～函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ, 演劇ワークショップ, バックステージツアー
- ・参加創造型事業～市民文化祭(展示部門)
- ・奨励型事業～ハコダテライブステージ「五稜郭街舞台」, 市民美術展「はこだて・冬・アート展」他

(5) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ホ ー ル	50,945人	65,167人	57,468人
リハーサル室	11,826人	10,863人	10,471人
ギ ャ ラ リ ー	22,335人	21,650人	18,812人
そ の 他 諸 室	7,587人	8,189人	7,553人
計	92,693人	105,869人	94,304人

(2) スポーツ施設の概要一覧

(単位：㎡)

施設名	住所	開設年月日	総面積	プレー面積	施設概要
千代台公園陸上競技場	千代台町 22-24	S36.10.29 (H11.3改修)	31,200	20,400	第2種公認 全天候トラック9レーン スタンド収容人員15,000人
野球場					
千代台公園野球場	千代台町 22-26	S26.7.4 (H6.3改修)	23,400	13,650	両翼99.1m, 中堅122m スタンド収容人員20,000人
新川公園野球場	上新川町 18	S23	8,158	6,700	スタンド収容人員100人
根崎公園野球場	高松町 29	S49.9.1	12,100	11,000	スタンド収容人員450人 ダッグアウト(2ヶ所)各15㎡
西桔梗野球場	西桔梗町 252-27	H19.5.1	24,032	10,600	両翼99m, 中堅115m ダッグアウト(2ヶ所) 照明設備 スタンド収容人員270人
運動広場					
根崎公園少年運動広場	高松町 581	S57.10.25	6,090	4,950	少年野球・少年サッカー
函館市 戸井運動広場	小安町 525-1	S61.4.1	27,168		多目的グラウンド, テニス・ゲートボールコート
函館市 恵山運動広場	川上町 511	S54.6.9	9,600		グラウンド
函館市 南茅部運動広場	川波町 1657(効)	H元4.1	35,889.91		野球場, グラウンド, 管理棟, 駐車場
球技場					
函館フットボールパーク	日吉町4丁目 7-1(効)	H27.4.1 (名称変更) ※新規施設につ いてはH27.8.1供 用開始	92,336.02	30,612	天然芝サッカーグラウンド, クレーサッカー グラウンド, 人工芝多目的グラウンド2面, フットサルコート3面, クラブハウス
根崎公園ラグビー場	湯川町3丁目 6	S44.9.1	20,400	13,500	スタンド収容人員3,000人
庭球場					
函館市 青柳市民庭球場	青柳町 9	S15.8.1	2,380	1,600	クレイコート2面, 更衣室, トイレ
千代台公園庭球場	千代台町 27-2	S43.4.1 (H3~5改修)	12,900	7,600	砂入人工芝10面, 夜間照明設備 クラブハウス
NHK広場テニスコート	富岡町3丁目 21	S49.8.20	2,400	1,400	アスファルトコート2面
函館フットボールパーク	日吉町4丁目 7-1	H27.4.1 (名称変更)	3,864	3,400	クレイコート5面
函館市 南茅部市民庭球場	白尻町 327-3	H2.10.1	3,562	1,672	ゴムチップウレタンコート2面

(単位：㎡)

施設名	住所	開設年月日	総面積	プレー面積	施設概要
総合体育館					
函館アリーナ	湯川町1丁目 32-2	H27.8.1	23,665.35		メインアリーナ2,860㎡ 収容人員5,000人
函館市 恵山総合体育館	川上町 506	S49.4.1	1,516		
函館市南茅部 スポーツセンター	白尻町 604-1	S59.7.1	2,291.90		アリーナ, 研修室兼柔剣道室 研修室兼トレーニング室, 控室
プール					
函館市民プール	千代台町 22-25	S46.7.20 (S61.6改修)	6,701.01		50m×21m 8コース (日本水泳連盟公認) 25m×16m 7コース
函館市 南茅部プール	尾札部町 1608-1	H10.4.1	1,667.08		25m×13m 6コース 低学年プール, ジャグジープール
千代台公園弓道場	千代台町 27-8	S32.8.28 (H12.7改修)	512		道場169㎡ 的数5ヶ 射程距離28m
根崎公園アーチェリー場	湯川町3丁目 6	S44.9.1	4,140		射場2,700㎡ 的数14ヶ 射程距離90m
海水浴場					
函館市 入舟町前浜海水浴場	入舟町 22番地先	S55		3,000	遊泳区域60m×50m トイレ, 更衣室
函館市 白尻スキー場	白尻町 593-1	H2.1.10		25,000	ロープ塔 (第1・第2ゲレンデ) ロッジ 92.74㎡
函館市民スケート場	金堀町 10-8	H3.1.13 (H14.3改修)	5,024.4 (氷面積)	5,024.4 (氷面積)	スピードスケートリンク(1周250m) サブスケートリンク(29m×60m) 貸スケートコーナー

千代台公園野球場（オーシャンスタジアム）

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和26年7月4日
(全面改修 平成6年5月28日供用開始)
- ・所 在 地 函館市千代台町22番26号
(TEL53-3210・FAX31-7460)
- ・施設面積 23,400㎡
- ・施設概要 グラウンド 13,650㎡
 - ・両翼99.1m, 中堅122m, 内野(クレイ), 外野(芝生), スタンド
 - ・収容人員 約20,000人
 - 内野メインスタンド 鉄筋コンクリート造3階建
 - 内野スタンド 盛土階段スタンド
 - 外野スタンド 盛土芝生スタンド
 - ・主要諸室 事務室, 本部席, 審判席, 放送席, 役員席, 医務室,
公式記録員席, 会議室, ロッカールーム
シャワー室, トイレ, ブルペン, 運営準備室

(2) 開設期間

5月1日～10月31日

(3) 主催事業（文化・スポーツ振興財団事業）

- ・プロ野球パ・リーグ公式戦「北海道日本ハムファイターズVS東北楽天ゴールデンイーグルス」
- ・オーシャンスタジアム杯少年野球大会

(4) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	50,827人	36,233人	42,537人



西桔梗野球場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成19年5月1日
- ・所 在 地 函館市西桔梗町252番地27
(TEL・FAX49-3384)
- ・施設面積 24,032㎡
- ・施設概要 グラウンド 10,600㎡
 - ・両翼90m, 中堅115m, スタンド
 - ・収容人員 約270人 照明設備
 - ・主要諸室 事務室, ロビー, 更衣室
トイレ, 物品庫



(2) 開設期間等

5月1日～11月第2日曜日まで

供用時間 午前5時から午後10時まで

(3) 運営の方針

スポーツ振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	11,760人	11,782人	12,130人

函館市戸井運動広場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和61年4月1日
- ・所 在 地 函館市小安町525番地1 (TEL82-3537)
- ・施設面積 27,168㎡
- ・施設概要 多目的グラウンド1面, テニスコート2面, ゲートボールコート2面, ランニングロード500m

(2) 開設期間

4月1日～11月30日

(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後5時30分
- ・休 館 日 月曜日, 国民の祝日の翌日

(4) 運営の方針

市民がそれぞれの年齢と体力に応じてスポーツを楽しむと共に、憩いの場として活用し、心身ともに健康で明るい生活を送れるよう開放する。

(5) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	5,779人	614人	1,884人

函館市恵山運動広場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和54年6月9日
- ・所 在 地 函館市川上町511番地
- ・施設面積 9,600㎡
- ・施設概要 野球グラウンド1面, 器具室, トイレ

(2) 開設期間

1月4日～12月28日

(3) 開館時間 日の出から日没まで

休館日 月曜日・休日の翌日

1月1日～1月3日, 12月29日～12月31日

(4) 運営の方針

市民の健康増進を図り、体力の向上に寄与するため

(5) 施設の利用状況



区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	322人	298人	1,270人

函館市南茅部運動広場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成元年4月1日
- ・所 在 地 函館市川汲町1657番地ほか (TEL25-5967)
- ・施設面積 35,889.91㎡
- ・施設概要 野球場 面積14,000㎡ 両翼90m,
中堅110m内野(クレイ), 外野(芝生)
スタンド 収容人員 約700人
〔内野スタンド 鉄筋コンクリート造(200人)
〔外野スタンド 盛土芝生スタンド(500人)
本部室, ダッグアウト,
グラウンド (クレイ)
〔収容人員 約500人, 面積11,200㎡
〔トラック 300m×6, サッカー1面, ソフトボール2面,
管理事務室, トイレ, 休憩所, 器具庫



(2) 開設期間等

4月第4土曜日～10月第4日曜日

供用時間 午前5時～日没

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る

(4) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
野 球 場	2,988人	3,325人	2,623人
グラウンド	2,609人	1,694人	2,659人
計	5,597人	5,019人	5,282人

函館フットボールパーク

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成27年4月1日
- ・所 在 地 函館市日吉町4丁目7番1号，19番1号
(TEL・FAX54-1960)

- ・施設面積 92,336.02㎡
- ・施設概要 天然芝サッカーグラウンド(105m×68m)，
クレーサッカーグラウンド(105m×68m)，
※平成28年度～使用停止中



人工芝多目的グラウンド2面 (105m×68m) ※うち1面夜間照明有
フットサルコート3面 (38m×18m，人工芝) ※夜間照明有
テニスコート5面 (クレー)

第1クラブハウス (鉄骨造2階建) 335.36㎡

事務室，大多目的室，シャワー室，トイレ (男女・身障者用)，器具庫，物品庫

第2クラブハウス (木造2階建) 453㎡

事務室，ロッカールーム，中多目的室，小多目的室，シャワー室，トイレ (男女・身障者用)
更衣室 (木造平屋) 25.6㎡

倉庫 (軽量鉄骨造平屋) 49.5㎡

駐車場259台 (第1クラブハウス南側34台，テニスコート南・西側30台，第2クラブハウス北側144台，
人工芝多目的グラウンドC東側51台)

ランニングコース (約800m)

(2) 開設期間等

- | | |
|-------------------------------|---|
| 天然芝サッカーグラウンド | 5月1日から10月31日まで・午前8時から日没まで |
| クレーサッカーグラウンド，第1クラブハウス | 4月1日から11月30日まで・午前8時から日没まで |
| 人工芝多目的グラウンド，フットサルコート，第2クラブハウス | 3月1日から12月28日まで・午前8時から午後9時まで
※一部施設は日没まで |
| テニスコート | 5月1日から11月30日まで・午前8時から日没まで |

(3) 施設の利用状況 (平成26年度までは旧日吉サッカー場の実績)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	14,087人	51,804人	96,644人

※人工芝多目的グラウンド，フットサルコート H27.8.1～供用開始

根崎公園ラグビー場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和44年9月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町3丁目6番（根崎公園内）
- ・施設面積 20,400㎡
- ・施設概要 プレー面積13,500㎡（芝）
スタンド（3,000人収容）
更衣室，物品庫，ゴールポスト



(2) 開設期間

4月第2日曜日～11月第2日曜日

(3) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	10,406人	8,480人	10,000人

千代台公園庭球場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和43年4月1日(改修 平成3～5年)
- ・所 在 地 函館市千代台町27番2号
(TEL・FAX31-6993)
- ・施設面積 12,900㎡
- ・施設概要 テニスコート
砂入人工芝コート10面（プレー面積7,600㎡）
移動式ベンチ40基，審判台10基
夜間照明
メタルハライドランプ（1000W×80個）
4灯用12基，8灯用4基(いずれも電撃殺虫器付)
平均照度 800ルクス
放送設備
スピーカー8基，CDダブルカセットデッキ，マイクセット一式
観覧席
盛土コンクリート階段スタンド（ベンチ式席），収容人員 約800人
クラブハウス
構造：鉄骨造2階建，面積：1階148.55㎡，2階140.77㎡，延べ289.32㎡
主要諸室
ロッカー室(男女各1)，男子トイレ(大1小2)，女子トイレ(4)，シャワー室(男3基女1基)
大会運営室（サービスカウンター付）



(2) 開設期間等

4月1日～11月第2日曜日

利用時間 午前6時～午後5時（日中）

午後5時～午後10時（夜間）

(3) 主催事業（文化・スポーツ振興財団事業）

- ・テニス教室

(4) 施設の利用状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	59,082人	63,330人	58,131人

函館市南茅部市民庭球場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成2年10月1日
- ・所 在 地 函館市白尻町327番地3
- ・施設面積 3,562㎡
- ・施設概要 テニスコート（プレー面積1,672㎡）
全天候型（ゴムチップウレタン塗装）2面



(2) 開設期間等

4月第4土曜日～11月第3日曜日

開館時間 午前9時～日没

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	80人	59人	58人

函館アリーナ

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成27年8月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町1丁目32番2号
(TEL57-3141・FAX57-3142)
- ・構 造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造3階建
- ・敷地面積 23,665.35㎡
- ・建物延面積 15,693.70㎡
- ・建物内容

メインアリーナ	2,860㎡		
収容人員5,000人	固定席	2,120席	
	仮設席	3,000席	
サブアリーナ	1,035.95㎡		
収容人員1,000人	固定席	208席	
	仮設席	800席	
武道館	963.79㎡		
収容人員 800人	固定席	60席	
	仮設席	700席	
トレーニングルーム	201.85㎡		
多目的会議室	343㎡		
スタジオ	370㎡		

控室, 役員室, 応接室, 更衣室, シャワー室, 選手ラウンジ, カフェラウンジ, 事務室等



(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日), 器材点検日(随時)

(3) 運営の方針

市民にスポーツおよび文化活動の場を提供するとともに, 各種の大会, コンベンションその他の催事を通じて人や地域の交流を促進し, もって市民の健康で豊かな生活の実現ならびにスポーツおよび文化の振興に寄与する。

(4) 主催事業 (文化スポーツ振興財団・コナミスポーツ主催事業)

- ・スポーツプログラム～ボディコンバット, X55, メガダンス 他
- ・スポーツ教室～親子体育, ジュニア室内サッカー, ヒップホップダンス 他
- ・フットサルリーグ公式戦, バスケットボールBリーグ公式戦, ふわふわアドベンチャーツアー, NECバレーボール塾, 市民スポーツ研修会 他

(5) 施設の利用状況 (平成26年度までは市民体育館の実績)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
個人利用	62,610人	58,199人	89,706人
団体利用	81,793人	185,652人	335,183人
計	144,403人	243,851人	424,889人

※平成27年度は8月1日から翌3月31日までの実績

函館市恵山総合体育館

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和49年4月1日
- ・所 在 地 函館市川上町506番地 (TEL84-2031・FAX84-2031)
- ・構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建
- ・敷地面積 11,801.56㎡
- ・建物延面積 1,516㎡
- ・建物内容 体育館(936㎡), 更衣室(男女各1:128㎡),
談話ホール(90㎡), 器具室, 事務室等(362㎡)



(2) 開設期間

1月4日～12月28日

(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時30分～午後4時30分(日・木・土・休日)
午前9時30分～午後8時30分(火・水・金)
- ・休館日 月曜日・休日の翌日, 1月1日～1月3日, 12月29日～12月31日

(4) 運営の方針

社会体育の振興を図り、市民体育の向上に寄与するため

(5) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	6,661人	4,620人	4,661人

函館市南茅部スポーツセンター

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和59年7月1日
- ・所 在 地 函館市白尻町604番地1 (TEL・FAX25-5039)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部二階建
- ・建物延面積 2,291.90㎡
- ・建物内容 アリーナ (949.39㎡)
研修室兼トレーニング室 (73.5㎡)
研修室兼柔剣道室 (230㎡)



更衣室(男女別), 事務室, 控室

(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後9時(日曜日のみ午後5時まで)
- ・休館日 年末年始(12月29日～1月3日)

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
個人利用	2,126人	2,276人	1,659人
団 体 利 用	13,060人	13,978人	11,105人
計	15,186人	16,254人	12,764人

函館市民プール

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和46年7月20日
(昭和61年 屋内50mプール改修)
- ・所 在 地 函館市千代台町22番25号
(TEL52-7452・FAX52-7657)
- ・構 造 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
2階建一部地階
- ・敷地面積 8,886.54㎡
- ・建物延面積 6,701.01㎡
- ・建物内容 管理棟, 事務室, 会議室, クラブ室
ロビー, シャワー室, 更衣室等
25mプール棟~25×16m×7コース
50mプール棟~50×21m×8コース
15mプール (15m×6m)
幼児プール (変形 67㎡)
採暖室, シャワー室, 監視員室, 放送室
医務室, ロビー, 会議室, 観客席 (固定席600席) 等



(2) 開館時間・休館日

- ・開館時間 午前10時~午後9時
- ・休館日 年末年始(12月31日~1月3日), 器材点検日(随時)

(3) 運営の方針

市民皆泳をめざし、水泳活動の拠点として施設の機能と役割を果たす効果的な運営を図る。

① 管理運営目標

- ・安全管理体制の強化 ・施設, 設備の整備拡充
- ・指導体制の充実強化 ・広報, 公聴活動の促進

② 主催事業目標

- ・水泳知識と技術の普及 ・市民皆泳の推進

③ 施設利用目標

- ・余暇時間の健全な活用と個人利用の拡充 ・クラブの育成と拡充

(4) 主催事業 (文化・スポーツ振興財団事業)

市民水泳教室, パワフルスイム, 水中ウォーキング教室, ウォータビクス教室, 市民プールまつり, 市民水泳記録会, 着衣水泳体験研修会 他

(5) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
個人利用	29,831人	30,030人	32,711人
回数券利用	8,315人	8,103人	10,676人
団体利用	12,510人	11,965人	9,181人
その他	76,934人	77,173人	76,871人
計	127,590人	127,271人	129,439人

函館市南茅部プール

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成10年4月1日
- ・所 在 地 函館市尾札部町1608番地1
(TEL・FAX63-2269)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部二階建
- ・建物延面積 1,667.08㎡
- ・建物内容 一般用プール 25×13m×6コース,
低学年用プール, ジャグジープール,
更衣室, ミーティング室, トレーニング室, 事務室



(2) 開設期間等

- ・開設期間 4月1日から10月31日まで
- ・開館時間 午後1時～午後6時（水曜日および金曜日にあつては午後8時まで）
- ・休館日 月・火曜日

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	8,066人	9,347人	8,281人

千代台公園弓道場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和32年8月28日
(一部改修 平成12年4月～7月)
- ・所 在 地 函館市千代台町27番8号(TEL53-4322)
- ・施設面積 512㎡
- ・施設内容 建築面積 射場・待機場他169㎡, 的場30㎡
的数5ヶ, 射程距離28m



(2) 開設期間等

通年(1月4日～12月28日)ただし、毎週水曜日は休館日
開館時間 午前9時～午後9時

(3) 施設の利用状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用人員	11,135人	9,507人	9,482人

根崎公園アーチェリー場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和44年9月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町3丁目6番
- ・施設面積 4,140㎡
- ・施設内容 射場 2,700㎡, 的数14ヶ
射程距離 90m, スタンド(1,000人収容)
更衣室, 物品庫



(2) 開設期間

4月第2日曜日～11月第2日曜日

(3) 施設の利用状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用人員	1,171人	1,173人	1,173人

函館市入舟町前浜海水浴場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和55年
- ・所 在 地 函館市入舟町22番地先
- ・施設規模 60×50m, 水深0～3m
- ・付帯施設 トイレ（男女各2）, 更衣室（男女各1）, 監視所, 駐車場（約20台）

(2) 開設期間等

- ・平成28年7月23日～8月16日
- ※遊泳時間は午前10時～午後4時まで

(3) 運営の方針

市民の心身の健康な発達とスポーツ・レクリエーション活動の普及, 促進を図る。

(4) 施設の利用状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用人員	2,617人	2,652人	6,415人

函館市白尻スキー場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成2年1月10日
- ・所 在 地 函館市白尻町593番地1 (TEL25-5797)
- ・施設面積 25,000㎡
- ・施設内容 第1ゲレンデ 13,000㎡
第2ゲレンデ 12,000㎡
斜度 最高 約30度, 最低 9度
簡易リフト 第1リフト 170m
第2リフト 206m
ナイター照明6柱, ロッジ(木造平屋造) 92.74㎡



(2) 開設期間等

- 12月第4土曜日～3月第3日曜日 供用時間 午前9時～午後9時
- ただし, リフト運行時間: 午後1時(日曜日および祝日にあつては午前9時)～午後9時

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り, もつて市民の心身の健全な発達に寄与するとともに, 効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

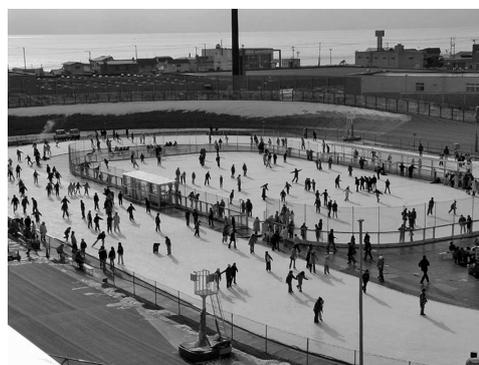
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	911人	1,479人	1,770人

函館市民スケート場

(文化・スポーツ振興財団)

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成3年1月13日
(全面改修 平成14年12月14日供用開始)
- ・所 在 地 函館市金堀町10番8号
(TEL54-5233・FAX54-5616)
- ・構 造 仮設式アイスパネル屋外組立解体式
- ・氷 面 積 5,024.4㎡
- ・施設内容 スピードスケートリンク(1周250m)
サブスケートリンク(29m×60m)
休憩所(屋内・外), 貸スケートコーナー等



(2) 開設期間等

- ・開設期間 12月中旬～翌年2月中旬
- ・開場時間 土・日・祝日, 公立小中学校の冬休み期間 午前10時～午後7時
その他の日 正午～午後7時
時間外開場(専用使用の場合に限る) 午後7時～午後10時
- ・休 場 日 12月31日, 1月1日

(3) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・フィギュアスケート教室, スケート場初すべりお年玉プレゼント, スケート場イベントデー

(4) 施設の利用状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用人員	35,345人	32,038人	32,038人

(3) 社会教育・スポーツ施設の利用状況

(単位:人)

分類	施設名	26年度	27年度	28年度	備考		
社会教育施設	学習活動拠点施設	公民館	1,916	21,537	25,398		
		亀田公民館	24,421	17,031	16,423		
		戸井生涯学習センター	2,804	2,768	2,432		
		戸井総合学習センター	1,205	1,244	1,450		
		椴法華総合センター	3,350	3,457	3,862		
		南茅部総合センター	6,774	6,350	6,708		
		亀田福祉センター	134,313	124,662	118,567		
		青年センター	62,476	61,873	69,800		
		青少年研修センター	27,679	32,586	28,212		
		亀田青少年会館	34,303	37,894	38,335		
		南茅部青少年会館	634	478	421		
		学習活動援助施設	中央図書館(移動図書館含)	245,480	238,326	219,244	
			千歳図書室	26,859	24,833	23,460	
	美原図書室		24,230	23,438	21,824		
	湯川図書室		20,844	20,150	18,912		
	旭岡図書室		5,359	4,405	4,074		
	港図書室		11,440	10,980	10,468		
	桔梗配本所		9,320	9,051	8,231		
	博物館		9,875	10,044	10,313		
	郷土資料館		5,868	4,989	5,603		
	重要文化財旧函館区公会堂		156,041	151,554	141,618		
	北洋資料館		12,215	15,306	13,455		
	文学館		16,386	16,739	19,114		
	北方民族資料館		24,533	25,518	30,348		
	道立函館美術館		39,470	44,349	51,438	総観覧者数	
	箱館奉行所		149,368	144,070	179,032		
	縄文文化交流センター		22,508	21,218	19,688		
	大船遺跡		7,868	8,495	8,495		
	芸術活動 観覧施設	市民会館	195,789	199,788	197,050		
		芸術ホール	92,693	105,869	94,304		
	スポーツ施設	陸上競技場	111,112	121,756	104,494		
		野球場	千代台公園野球場	50,827	36,233	42,537	
			新川公園野球場	10,841	11,483	12,284	
根崎公園野球場			12,473	13,455	14,086		
西桔梗野球場			11,760	11,782	12,130		
運動広場		根崎公園少年運動広場	3,680	4,440	4,280		
		戸井運動広場	5,779	614	1,884		
		恵山運動広場	322	298	1,270		
		南茅部運動広場	5,597	5,019	5,282		
球技場		函館フットボールパーク	14,087	47,988	93,056	H26までは日吉サッカー場の実績	
		根崎公園ラグビー場	10,406	8,480	10,000		
庭球場		青柳市民庭球場	4,269	6,071	6,836		
		千代台公園庭球場	59,082	63,330	58,131		
		NHK広場テニスコート	880	1,027	780		
		函館フットボールパーク	3,837	3,816	3,588	H26までは日吉市民庭球場の実績	
総合体育館		南茅部市民庭球場	80	59	58		
		函館アリーナ	144,403	243,851	424,889	H26までは市民体育館の実績	
		恵山総合体育館	6,661	4,620	4,661		
プール		南茅部スポーツセンター	15,186	16,254	12,764		
		函館市民プール	127,590	127,271	129,439		
	恵山プール	1,052	651	670			
南茅部プール	8,066	9,347	8,281				
弓道場	千代台公園弓道場	11,135	9,507	9,482			
アーチェリー場	根崎公園アーチェリー場	1,171	1,173	1,173			
海水浴場	函館市入舟町前浜海水浴場	2,617	2,652	6,415			
スキー場	函館市白尻スキー場	911	1,479	1,770			
スケート場	函館市民スケート場	35,345	32,038	32,038			

5 学校開放事業の概要

(1) スポーツ開放事業

ア 開放の目的

小・中学生の施設を学校教育に支障のない範囲で、市民のスポーツ活動等に開放し、青少年の健全な育成と地域住民のスポーツ振興を図ることを目的とする。

イ 開放の区分

(ア) 校庭開放 ～ 児童および幼児（幼児は保護者の付添いのあるもの）の遊び場として利用に供するため、グラウンドおよびレクリエーションの利用に供するため、体育館を開放するもの。

(イ) 遊泳開放 ～ 児童および生徒の団体であって、成人の責任者の引率するものが遊泳に供するため、プールを開放するもの。

(ウ) スポーツ開放 ～ 函館市内に在住または勤務する者の団体であって、成人の責任者の引率するものが行うスポーツおよびレクリエーションの利用に供するため、体育館を開放するもの。

ウ 開放する学校

(ア) 校庭開放（15校）

小学校 青柳、あさひ、北星、港、高盛、千代田、柏野、深堀、北日吉、高丘、北昭和、昭和、北美原、鍛神、東山

(イ) 遊泳開放（21校）

小学校 青柳、あさひ、北星、八幡、万年橋、港、中島、駒場、上湯川、旭岡、亀尾、東、桔梗、中の沢、昭和、中央、北美原、神山、東山、本通、南本通

(ウ) スポーツ開放（53校）

小学校 弥生、青柳、あさひ、中部、北星、八幡、万年橋、港、千代ヶ岱、中島、千代田、柏野、金堀、駒場、深堀、日吉が丘、北日吉、上湯川、亀尾、鱒川、石崎、桔梗、中の沢、北昭和、昭和、亀田、赤川、中央、北美原、鍛神、神山、東山、本通、南本通、戸井西、日新、えさん、榎法華、磨光、大船

中学校 潮見、凌雲、港、光成、深堀、湯川、戸倉、赤川、桔梗、亀田、五稜郭、日新、榎法華

エ 開放時間帯

(ア) 校庭開放	土曜日	午後1時～午後4時
	日・祝日(春・夏・冬休み含む)	午前10時～午後1時 午後1時～午後4時
(イ) 遊泳開放	夏休み期間中の土曜日	午後1時～午後3時
	夏休み期間中の日曜日	午前10時～正午 午後1時～午後3時
(ウ) スポーツ開放	月曜日～土曜日(祝日を除く)	午後6時～午後9時

オ 管理体制

開放校に学校開放主事と学校開放管理指導員を置く。

学校開放管理指導員は、教育委員会、学校開放主事の命を受けて、利用者の指導および事故防止等の業務に従事する。

(2) 文化開放事業

ア 開放の目的

文化活動（音楽・芸能・文学・芸術等）などを行うグループ・サークルに対し、練習や活動の場を提供する。

イ 開放する学校および諸室（11校）

小学校（8校）

- 八幡小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室
- 金堀小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，図工室
- 石崎小学校 ～ 家庭科室，図書室，多目的教室，音楽室
- 鍛神小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，図工室，多目的教室
- あさひ小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，図工室，多目的教室
- 中の沢小学校 ～ 家庭科室，音楽室，多目的教室
- 昭和小学校 ～ 音楽室，視聴覚室，図工室
- 弥生小学校 ～ 音楽室，視聴覚室，多目的ホール，図工室

中学校（3校）

- 港中学校 ～ 図書室，多目的ホール
- 深堀中学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，作法室(和室)
多目的ホール
- 五稜郭中学校 ～ 図書室，音楽室，視聴覚室，美術室

ウ 開放期間および開放時間帯

12月29日～1月3日と新学期準備期間（3月下旬～4月上旬，詳細は年度により異なる）を除き通年開放。ただし，学校諸行事が優先。

- 月～金曜日 午後6時～9時
- 土・日曜日および祝日 午前9時～正午
午後1時～午後4時
午後6時～午後9時

エ 管理体制

開放時に学校開放管理員1名を置く。（業務委託）

(3) 学校開放状況の推移

校庭開放・スポーツ開放

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
開放校数	55校	55校	53校
校庭開放	15校	15校	15校
スポーツ開放	55校	55校	53校
校庭・スポーツ開放	15校	15校	15校
利用人員	96,319人	75,964人	72,195人
開放回数	8,587回	7,452回	7,195回

遊泳開放

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
開放校数(実施校数)	21校(0校)	21校(0校)	21校(0校)
利用人員	0人	0人	0人
開放回数	0回	0回	0回

文化開放

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
開放校数	12校	11校	11校
利用回数	1,664回	1,660回	1,712回
利用人員	20,923人	20,078人	21,503人

Ⅲ 学校教育

函館市の学校教育の充実に向けて	85
1 市立学校施設一覧	86
2 児童・生徒	90
3 学校保健	92
4 学校安全	94
5 学校給食	95
6 就学援助	96
7 特別支援	97
8 中学生海外派遣事業	99
9 函館市南北海道教育センター	100

函館市の学校教育の充実に向けて

私たちは、平成20年度からスタートしている「函館市義務教育基本計画」に基づき、地域とともに、子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育を進めています。今後とも、新しい学習指導要領や時代の要請を踏まえ、函館の教育の一層の充実を図ります。

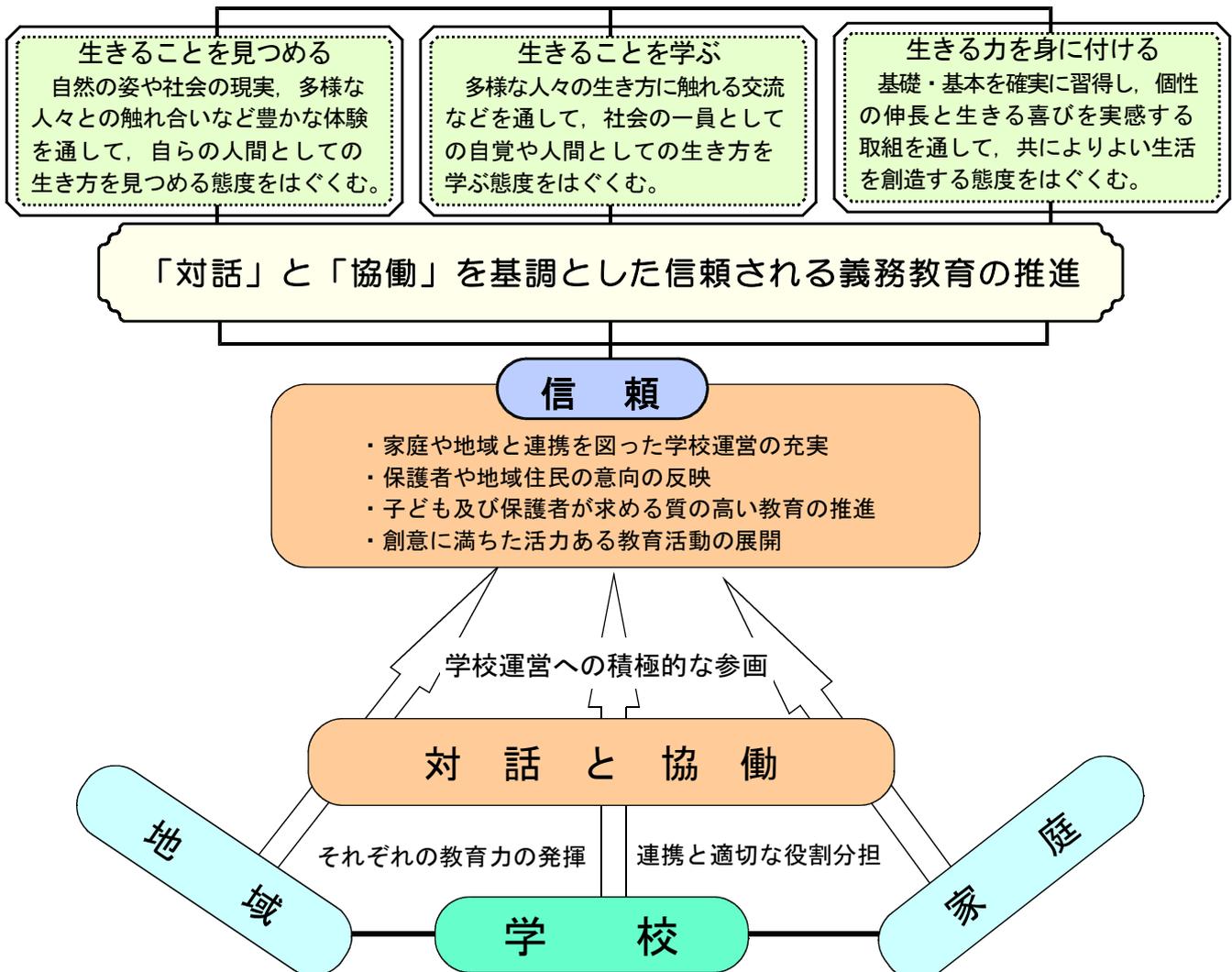
〈函館市義務教育の基本理念〉

心豊かに学び 共に未来のふるさとを拓く子どもをはぐくむ

めざす子ども像

- **個性豊かに生きる子ども**
「確かな学力」を身に付け、個性や創造性を発揮し、自らの生き方を創り出す子どもをはぐくみます。
- **優しさをもって生きる子ども**
責任とモラルを重んじ、他者を思いやり、人間尊重の精神や自他の生命を大切にすることを学ばせ、子どもをはぐくみます。
- **たくましく生きる子ども**
健やかな心と体を持ち、理想や自己の目標に向かって努力する活力に満ちた子どもをはぐくみます。
- **函館に生きる子ども**
ふるさとのよさを見付け、誇りを持ち、先人の生き方に学び、進取の精神をもって新たな文化を創造する子どもをはぐくみます。
- **共に未来を生きる子ども**
社会の変化に主体的に対応する力を持ち、広い視野に立って社会に貢献する子どもをはぐくみます。

基本姿勢 生きることを見つめ 生きることを学ぶ学校教育の創造



1 市立学校施設一覽

(1) 小学校

学 校 名	学級数		児童数		校舎面積 ㎡	屋内運動場 面積 ㎡	校 地 面 積 ㎡		
	普通	特別支援	普通	特別支援			建物敷地	グラウンド	計
1 弥 生	7	2	188	7	4,721	1,137	8,355	3,374	11,729
2 青 柳	8	2	222	5	5,058	1,265	7,721	2,666	10,387
3 あさひ	6	3	192	10	4,402	1,084	4,719	4,182	8,901
4 中 部	6	2	156	4	4,183	835	4,707	6,595	11,302
5 北 星	6	2	107	3	3,354	875	6,835	3,094	9,929
6 八 幡	13	2	364	12	5,532	1,000	9,891	4,043	13,934
7 万年橋	6	2	135	2	3,376	956	6,994	4,670	11,664
8 港	14	2	400	6	5,797	1,018	8,580	9,820	18,400
9 高 盛	6	1	153	6	5,925	1,035	9,486	2,000	11,486
10 千代ヶ岱	6	2	126	2	4,217	872	7,317	4,000	11,317
11 中 島	6	2	147	5	3,523	1,062	5,602	5,156	10,758
12 千代田	6	2	91	3	3,640	1,004	8,258	5,022	13,280
13 柏 野	12	2	378	8	5,388	952	8,150	5,453	13,603
14 金 堀	6	2	200	9	4,679	1,044	10,645	9,829	20,474
15 駒 場	9	2	228	7	4,965	998	11,395	14,915	26,310
16 深 堀	11	3	243	12	4,270	829	7,611	8,621	16,232
17 日吉が丘	12	2	357	5	5,815	899	9,766	8,107	17,873
18 北日吉	12	2	315	4	3,993	789	13,397	7,507	20,904
19 湯 川	12	2	317	6	5,790	796	10,587	7,200	17,787
20 高 丘	12	2	311	9	3,604	752	10,118	6,410	16,528
21 上湯川	6	2	131	2	5,003	855	11,835	8,000	19,835
22 旭 岡	6	2	203	4	5,117	749	11,004	10,794	21,798
23 亀 尾	3		17		2,065	403	3,066	5,087	8,153
24 鱒 川	3	1	18	2	695	(併)	9,946	4,670	14,616
25 東	6		87		3,179	612	9,914	7,015	16,929
26 石 崎	3	1	12	1	1,968	825	30,441	8,190	38,631
27 桔 梗	21	2	709	14	4,586	1,057	8,923	5,076	13,999
28 中の沢	12		344		3,024	678	6,498	4,813	11,311
29 北昭和	7	2	225	5	3,462	652	8,549	7,750	16,299
30 昭 和	14	6	449	25	6,183	922	15,095	10,799	25,894
31 亀 田	11	3	276	20	5,773	778	12,872	5,080	17,952
32 赤 川	6	2	100	7	3,173	942	8,092	3,469	11,561
33 中 央	8	2	231	8	5,622	867	10,249	9,588	19,837
34 北美原	21		687		4,816	895	7,851	9,161	17,012
35 鍛 神	12	4	339	24	5,599	793	12,013	9,426	21,439
36 神 山	12	3	299	11	4,315	1,002	7,958	6,546	14,504
37 東 山	13	2	423	7	4,413	770	9,115	6,317	15,432
38 本 通	12	2	330	8	5,535	945	9,059	17,229	26,288
39 南本通	8	1	202	2	3,138	772	4,993	8,024	13,017
40 戸井西	3		32		1,604	748	11,230	11,220	22,450
41 日 新	3		24		2,997	747	7,545	4,886	12,431
42 えさん	6	2	66	5	2,958	708	10,221	14,026	24,247
43 椴法華	3	1	24	1	2,329	652	9,941	5,416	15,357
44 磨 光	6	3	127	3	3,629	1,329	19,436	8,789	28,225
45 臼 尻	4	2	36	3	2,406	586	14,124	10,411	24,535
46 大 船	3	1	31	2	1,526	570	9,462	5,357	14,819
小 学 校 計	388	85	10,052	279	187,347	39,059	449,566	329,803	779,369

※校舎面積には調理場および別棟の建物を含む。屋内運動場面積には、地域学校連携施設を含む。

平成29年5月1日現在

校舎暖房	体育館暖房	プール種類	上屋	給食	ランチ ルーム	学 校 開 放				学 校 名
						校庭	遊泳	スポーツ	文化	
ガスFF	遠赤外線放射			子	○			○	○	弥 生
ポット式灯油	ダクト式高温風	ステンレス	○	子		○	○	○		青 柳
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス	○	親	○	○	○	○		あさひ
蒸気	ダクト式高温風			子	○			○		中 部
ガスFF	ダクト式高温風	ステンレス		親		○	○	○		北 星
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス	○	単独			○	○	○	八 幡
温水	遠赤外線放射	ステンレス		単独			○	○		万年橋
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス	○	単独		○	○	○		港
ポット式灯油				単独	○	○				高 盛
ポット式灯油	ダクト式高温風			子	○			○		千代ヶ岱
温水	遠赤外線放射	コンクリート		単独			○	○		中 島
温水	遠赤外線放射			親		○		○		千代田
温水	遠赤外線放射			単独		○		○		柏 野
ガスFF	遠赤外線放射			単独				○	○	金 堀
温水	遠赤外線放射	ステンレス	○	親			○	○		駒 場
ポット式灯油	ダクト式高温風			子		○		○		深 堀
ポット式灯油	ダクト式高温風			子				○		日吉が丘
電気	ダクト式高温風			子		○		○		北日吉
温風	遠赤外線放射			親						湯 川
電気	ダクト式高温風			子		○				高 丘
ポット式灯油	ダクト式高温風	ステンレス		子			○	○		上湯川
蒸気	ダクト式高温風	ステンレス		親	○		○			旭 岡
灯油FF	遠赤外線放射	ステンレス		子			○	○		亀 尾
灯油FF	遠赤外線放射			子				○		鱒 川
灯油FF	ダクト式高温風	鋼製		子			○			東
灯油FF	遠赤外線放射			親				○	○	石 崎
灯油FF	遠赤外線放射	ステンレス		単独			○	○		桔 梗
電気	遠赤外線放射	FRP	○	子			○	○	○	中の沢
電気	遠赤外線放射			子		○		○		北昭和
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス	○	親	○	○	○	○	○	昭 和
ガスFF	ダクト式高温風			親				○		亀 田
灯油FF	遠赤外線放射			子				○		赤 川
蒸気	ダクト式高温風	ステンレス		子			○	○		中 央
蒸気	ダクト式高温風	ステンレス		単独		○	○	○		北美原
ガスFF	ダクト式高温風			親		○		○	○	鍛 神
灯油FF	遠赤外線放射	ステンレス		親			○	○		神 山
灯油FF	遠赤外線放射	鋼製		親		○	○	○		東 山
ガスFF	遠赤外線放射	鋼製		子			○	○		本 通
温水	ダクト式高温風	ステンレス	○	子			○	○		南本通
灯油FF	温水			子				○		戸井西
電気	温水			子				○		日 新
温水	温水			子				○		えさん
温水	温水			子				○		榎法華
温水	温水			子				○		磨 光
ポット式灯油	遠赤外線放射			子						臼 尻
ポット式灯油	遠赤外線放射			子				○		大 船
										小学校計

(2) 中学校

学 校 名	学級数		生徒数		校舎面積 ㎡	屋内運動場 面積 ㎡	校 地 面 積 ㎡		
	普通	特別支援	普通	特別支援			建物敷地	グラウンド	計
1 西	5	1	100	4	3,759	793	4,900	2,793	7,693
2 潮見	5	2	143	5	4,270	1,161	9,369	11,713	21,082
3 宇賀の浦	5	1	125	1	5,785	827	7,440	2,600	10,040
4 凌雲	6	2	153	3	6,176	1,248	13,555	7,525	21,080
5 港	7	2	205	6	4,342	1,200	11,391	9,221	20,612
6 光成	3		75		3,162	1,173	5,048	5,445	10,493
7 的場	9	2	317	15	4,585	1,267	9,951	13,339	23,290
8 深堀	9	1	263	3	5,960	947	11,033	12,248	23,281
9 湯川	9	3	270	20	6,172	1,136	15,142	8,709	23,851
10 戸倉	9	2	300	4	5,059	1,056	10,564	12,500	23,064
11 旭岡	3		94		3,569	972	11,704	10,681	22,385
12 鱒川	2	1	11	1	679	679	(併)	(併)	(併)
13 銭亀沢	3	1	53	1	2,683	719	11,252	18,067	29,319
14 赤川	9	3	306	11	4,840	1,128	7,511	11,952	19,463
15 桔梗	15	1	526	3	4,405	908	9,691	10,321	20,012
16 亀田	18	2	674	12	6,997	1,115	17,058	19,647	36,705
17 五稜郭	16	5	556	33	5,645	2,456	15,887	13,763	29,650
18 本通	17	3	617	18	6,559	1,040	12,557	15,240	27,797
19 北	8		245		4,311	1,005	6,913	12,023	18,936
20 潮光	3	1	22	1	2,624	1,104	9,369	7,134	16,503
21 日新	3		19		2,747	983	21,524	8,926	30,450
22 恵山	3	1	49	1	2,365	770	10,267	10,573	20,840
23 榎法華	2		13		2,762	761	9,858	12,405	22,263
24 尾札部	3		66		4,450	808	11,175	19,059	30,234
25 白尻	3		32		2,413	735	13,897	16,572	30,469
中学校計	175	34	5,234	142	106,319	25,991	267,054	272,456	539,512

(3) 高等学校

学 校 名	学級数	生徒数	校舎保有面積 ㎡	屋内運動場 保有面積㎡	校 地 面 積 ㎡		
					建物敷地	グラウンド	計
市立函館	24	959	9,229	3,270	38,399	51,580	89,979

(4) 幼稚園

学 校 名	学級数	園児数	園舎保有面積 ㎡	園 地 面 積 ㎡			園 舎 暖 房
				建物敷地	グラウンド	計	
1 はこだて	2	17	785	1,735	665	2,400	ガスFF
2 戸井	3	15	661	6,614	1,051	7,665	電気
幼稚園計	5	32	1,446	8,349	1,716	10,065	

※校舎面積には調理場および別棟の建物を含む。屋内運動場面積には、地域連携施設を含む。

平成29年5月1日現在

校舎暖房	体育館暖房	プール種類	上屋	給食	学 校 開 放				学 校 名
					校庭	遊泳	スポーツ	文化	
蒸気	ダクト式高温風			子					西
ガスFF	遠赤外線放射			親			○		潮見
ポット式灯油	遠赤外線放射			単独					宇賀の浦
ポット式灯油	ダクト式高温風			子			○		凌雲
温水	遠赤外線放射			子			○	○	港
ポット式灯油				親			○		光成
ポット式灯油	遠赤外線放射			単独					的場
ガスFF	ダクト式高温風			単独			○	○	深堀
ガスFF	遠赤外線放射			単独			○		湯川
灯油FF	遠赤外線放射			親			○		戸倉
蒸気	ダクト式高温風			子					旭岡
灯油FF	遠赤外線放射			子					鱒川
蒸気	遠赤外線放射			子					銭亀沢
灯油FF	ダクト式高温風			子			○		赤川
温水	ダクト式高温風			親			○		桔梗
ガスFF	遠赤外線放射			親			○		亀田
ガスFF	遠赤外線放射			単独			○	○	五稜郭
ガスFF	遠赤外線放射			子					本通
温水	ダクト式高温風			親					北
灯油FF	遠赤外線放射	鋼製	○	子					潮光
電気	温水			子			○		日新
温水	温水			子					恵山
温水	温水			親			○		椴法華
ポット式灯油	遠赤外線放射			子					尾札部
ポット式灯油	遠赤外線放射			子					白尻
									中学校計

校舎暖房	体育館暖房
ガスFF	遠赤外線放射

2 児童・生徒

(1) 市立小学校児童の推移

(各年度5月1日現在)

年度	小 学 校							
	学 校 数	普通学級		特別支援学級		計		
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数(再掲・新入学児童数)	
16	40	455	13,281	28	98	483	13,379	(2,180)
17	48	498	13,706	37	106	535	13,812	(2,215)
18	48	493	13,378	42	126	535	13,504	(2,145)
19	48	477	13,023	48	137	525	13,160	(2,097)
20	48	470	12,729	51	146	521	12,875	(2,018)
21	47	459	12,461	53	155	512	12,616	(1,950)
22	47	454	12,110	60	179	514	12,289	(1,970)
23	46	447	11,923	64	192	511	12,115	(1,927)
24	46	440	11,492	71	199	511	11,691	(1,775)
25	46	425	11,186	71	210	496	11,396	(1,843)
26	46	421	10,825	71	220	492	11,045	(1,709)
27	46	409	10,611	73	243	482	10,854	(1,752)
28	46	396	10,326	76	254	472	10,580	(1,655)
29	46	388	10,052	85	279	473	10,331	(1,611)

(2) 市立中学校生徒の推移

(各年度5月1日現在)

年度	中 学 校						
	学 校 数	普通学級		特別支援学級		計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
16	22	204	6,767	11	55	215	6,822
17	28	213	7,051	19	67	232	7,118
18	28	215	6,817	21	73	236	6,890
19	28	219	6,764	21	79	240	6,843
20	28	216	6,527	20	78	236	6,605
21	28	208	6,349	20	69	228	6,418
22	28	204	6,209	27	77	231	6,286
23	28	200	6,084	28	77	228	6,161
24	28	200	6,012	31	89	231	6,101
25	28	192	5,843	32	103	224	5,946
26	28	185	5,675	33	119	218	5,794
27	28	185	5,470	34	128	219	5,598
28	26	182	5,342	35	143	217	5,485
29	25	175	5,234	34	142	209	5,376

(3) 中学校卒業生の進路状況

(各年5月1日現在)

卒業年	卒業者数	進学者数		各種学校等入学者数		就職者数		その他	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
13	3,126	3,073	98.3	3	0.1	9	0.3	41	1.3
14	3,007	2,936	97.6	12	0.4	25	0.8	34	1.2
15	2,912	2,857	98.1	1	0.1	10	0.3	44	1.5
16	2,923	2,875	98.4	5	0.2	10	0.3	33	1.1
17	2,861	2,836	99.1	1	0.1	5	0.2	19	0.7
18	2,760	2,734	99.1	4	0.1	4	0.1	19	0.7
19	2,578	2,556	99.1	1	0.1	1	0.1	20	0.8
20	2,672	2,648	99.1	1	0.1	5	0.1	18	0.7
21	2,558	2,529	98.9	-	-	4	0.1	25	1.0
22	2,538	2,505	98.7	4	0.2	6	0.2	23	0.9
23	2,448	2,432	99.3	2	0.1	2	0.1	12	0.5
24	2,368	2,339	98.8	2	0.1	1	0.1	26	1.1
25	2,088	2,062	98.8	4	0.2	2	0.1	20	0.9
26	2,011	1,995	99.2	4	0.2	1	0.05	11	0.5
27	1,990	1,968	98.9	4	0.2	3	0.2	15	0.8
28	1,929	1,913	99.2	-	-	6	0.3	10	0.5
29	1,858	1,843	99.2	-	-	3	0.2	12	0.6

(4) 平成29年度 研究モデル校の紹介

<学力向上>

学校名	機関	年度	研究領域	研究主題
桔梗小	市・局	29～30	学習指導	主体的に学び 考え 行動できる子供の育成 ～“豊かにかかわり合い，深め合う学習”の創造～
桔梗中	市	29～30	学習指導	「習得した知識・技能の活用を図る授業の工夫・改善」 ～課題解決に向け主体的に学習に取り組み，協働的に学ぶ生徒の育成～

<道徳教育>

学校名	機関	年度	研究領域	研究主題
北日吉小	市	29～30	道徳	共に学び合い，自らを高めていく子どもの育成 ～頭が働き 心が動く授業と通して～
深掘中	市	29～30	道徳	自分を見つめ，よりよく生きる姿を育てる道徳教育 ～考え議論する話し合い活動を求めて～

(5) 外国人英語指導助手活用事業

外国人英語指導助手による市立学校における児童生徒への訪問授業および教師の研修等を行い，子どもたち一人ひとりの国際理解の基礎を培うとともに，英語教育の充実を図ることを目的に平成5年度から各学校へ派遣しており，現在6名体制により実施している。

3 学校保健

(1) 平成28年度児童・生徒の三計測平均値

区 分		6 歳		7 歳		8 歳		9 歳		10 歳		11 歳	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身長 (cm)	函館市	117.1	116.0	122.6	122.3	128.9	128.3	134.4	135.6	140.0	141.5	146.8	148.2
	北海道	116.7	115.8	122.7	121.8	128.7	127.7	134.7	133.9	139.1	140.8	146.6	148.0
	全 国	116.5	115.6	122.5	121.5	128.1	127.2	133.6	133.4	138.8	140.2	145.2	146.8
体重 (kg)	函館市	21.8	21.7	24.7	24.4	29.3	27.6	32.2	32.0	36.8	35.8	42.1	41.0
	北海道	21.5	21.0	24.6	23.8	28.3	27.0	32.6	30.8	34.9	34.5	41.0	40.9
	全 国	21.4	20.9	24.0	23.5	27.2	26.4	30.6	29.8	34.0	34.0	38.4	39.0

区 分		12 歳		13 歳		14 歳		15 歳		16 歳		17 歳	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身長 (cm)	函館市	155.0	152.3	161.8	155.0	166.4	157.0	169.0	156.9	169.4	157.3	170.5	157.2
	北海道	153.9	152.9	161.1	155.3	165.9	156.8	168.5	157.2	170.1	157.2	170.9	157.8
	全 国	152.7	151.9	159.9	154.8	165.2	156.5	168.3	157.1	169.9	157.5	170.7	157.8
体重 (kg)	函館市	48.5	47.3	52.7	50.8	58.3	51.8	58.9	52.2	61.7	52.8	63.1	52.2
	北海道	45.5	45.0	50.5	48.0	55.5	50.3	60.1	53.1	62.0	53.1	64.4	54.0
	全 国	44.0	43.7	48.8	47.2	53.9	50.0	58.7	51.7	60.5	52.6	62.5	52.9

(2) 平成28年度 定期健康診断時の児童・生徒の疾病等状況

小学校 (単位：人，%)

区 分		人数	構成比	
在籍者数		10,573	—	
口 腔 検 査	受検者数	10,367	—	
	歯周疾患治療要する者	192	1.9	
	その他歯疾病等異常の者	247	2.4	
	疾病者計	439	4.2	
眼 の 検 査	受検者数	10,323	—	
	結 膜 炎	アレルギー性の者	212	2.1
		感染性の者	0	0.0
		その他の者	16	0.2
	その他	眼位の異常の者	56	0.5
		その他の異常・眼疾の者	51	0.5
	疾病者計	335	3.2	
耳 ・ 鼻 ・ 咽 喉 の 検 査	受検者数	5,387	—	
	耳 の 疾 患	滲出性中耳炎の者	22	0.4
		慢性中耳炎の者	2	0.0
		その他の者	249	4.6
	鼻 の 疾 患	アレルギー性鼻炎の者	371	6.9
		慢性鼻炎の者	51	0.9
		副鼻腔炎の者	30	0.6
	その他	その他の者	21	0.4
		咽頭	アデノイドの者	0
	疾病	扁桃肥大の者	55	1.0
その他疾病異常の者		2	0.0	
疾病者計		803	14.9	
結 核 検 査	受検者数	10,573	—	
	精密検査実施者	1	0.0	
	結核罹患患者	0	0.0	
尿 検 査	受検者数	10,526	—	
	陽性者	65	0.6	
心 臓 健 診	受検者数	1,670	—	
	2次検査指示数	22	1.3	
内 科 的 疾 患 等 の 査	受検者数	10,379	—	
	脊柱・胸郭異常の者	52	0.5	
	皮 膚 疾 患	アトピー性皮膚炎の者	191	1.8
		伝染性皮膚疾患の者	0	0.0
		その他皮膚疾患の者	52	0.5
	疾病者計	295	2.8	

中学校 (単位：人，%)

区 分		人数	構成比	
在籍者数		5,491	—	
口 腔 検 査	受検者数	5,204	—	
	歯周疾患治療要する者	408	7.8	
	その他歯疾病等異常の者	90	1.7	
	疾病者計	498	9.6	
眼 の 検 査	受検者数	5,252	—	
	結 膜 炎	アレルギー性の者	153	2.9
		感染性の者	0	0.0
		その他の者	14	0.3
	その他	眼位の異常の者	11	0.2
		その他の異常・眼疾の者	15	0.3
	疾病者計	193	3.7	
耳 ・ 鼻 ・ 咽 喉 の 検 査	受検者数	2,145	—	
	耳 の 疾 患	滲出性中耳炎の者	0	0.0
		慢性中耳炎の者	0	0.0
		その他の者	56	2.6
	鼻 の 疾 患	アレルギー性鼻炎の者	169	7.9
		慢性鼻炎の者	4	0.2
		副鼻腔炎の者	18	0.8
	その他	その他の者	5	0.2
		咽頭	アデノイドの者	3
	疾病	扁桃肥大の者	4	0.2
その他疾病異常の者		0	0.0	
疾病者計		259	12.1	
結 核 検 査	受検者数	5,460	—	
	精密検査実施者	0	0.0	
	結核罹患患者	0	0.0	
尿 検 査	受検者数	5,353	—	
	陽性者	49	0.9	
心 臓 健 診	受検者数	1,797	—	
	2次検査指示数	39	2.2	
内 科 的 疾 患 等 の 査	受検者数	5,307	—	
	脊柱・胸郭異常の者	15	0.3	
	皮 膚 疾 患	アトピー性皮膚炎の者	169	3.2
		伝染性皮膚疾患の者	0	0.0
		その他皮膚疾患の者	5	0.1
	疾病者計	189	3.6	

(注)：構成比は各受検者数に対する割合

4 学校安全

(1) 平成28年度独立行政法人日本スポーツ振興センター加入・給付状況

(加入者数はH28.5.1現在)

内 訳		学校種別	小 学 校 (46校)	中 学 校 (28校)	高 校 (1校)	幼 稚 園 (2園)	計
加入 内 訳	加入者数		10,574	5,478	950	44	17,046
	掛金額(A)		9,286,030	4,739,740	1,771,750	12,980	15,810,500
給 付 内 訳	医療費 給付対象(B)		10,078	5,155	950	44	16,227
	件数(C)		503	832	231	0	1,566
	給付金額(D)		3,634,351	7,835,527	2,861,220	0	14,331,098
	給付率($\frac{C}{B} \times 100$)		5.0	16.1	24.3	0	9.7
	平均給付額($\frac{D}{C}$)		7,225	9,418	12,386	0	9,151
	障害 件数		1	0	0	0	0
内 訳	給付金額		820,000	0	0	0	0
	死亡 件数		0	0	0	0	0
合 計	給付金額		0	0	0	0	0
	件数		504	832	231	0	1,567
内 訳	給付金額(E)		4,454,351	7,835,527	2,861,220	0	15,151,098
	掛け金に対する給付率 ($\frac{E}{A} \times 100$)		48.0	165.3	161.5	0	95.8

※ 負傷・疾病給付金額には、継続給付金額を含む。

5 学校給食

(1) 調理方式

(単位：校、人)

区 分	小 学 校		中 学 校		計		
	学校数	児童数	学校数	生徒数	学校数	児童・生徒数	
単 独 校 方 式	9	3,235	5	1,603	14	4,840	
親 子 共 同 調 理 場 方 式	親学校	12	3,057	7	2,000	19	5,057
	子学校	25	4,039	13	1,773	38	5,812
	計	37	7,096	20	3,773	57	10,869
合 計	46	10,331	25	5,376	71	15,707	

当市の学校給食は、全校完全給食で、単独校（自校）方式、親子共同調理場方式を学校の実情にあわせて実施している。

親子共同調理場方式とは、調理施設のある学校（親）から調理施設のない学校（子）へ温食等を運搬する方式である。

(2) 給食費の推移

(単位：円)

区 分	年 度	1食あたり平均単価					実施 回数	年 間 給食費	月 額 給 食 費
		学年	主食	牛乳	副食	計			
小 学 校	27	2～5	64.71	43.90	141.75	250.36	185	46,320	(10回徴収) ・2～5年生 4～1月 4,632
		1・6					182	45,570	・1・6年生 4～1月 4,557
	28	2～5	65.36	45.16	139.84	250.36	185	46,320	(10回徴収) ・2～5年生 4～1月 4,632
		1・6					182	45,570	・1・6年生 4～1月 4,557
	29	2～5	65.75	45.46	139.15	250.36	185	46,320	(10回徴収) ・2～5年生 4～1月 4,632
		1・6					182	45,570	・1・6年生 4～1月 4,557
中 学 校	27	1～2	76.00	43.90	190.49	310.39	186	57,740	(10回徴収) ・1・2年生 4～1月 5,774
		3					178	55,250	・3年生 4～1月 5,525
	28	1～2	76.88	45.16	188.35	310.39	186	57,740	(10回徴収) ・1・2年生 4～1月 5,774
		3					178	55,250	・3年生 4～1月 5,525
	29	1～2	77.55	45.46	187.38	310.39	186	57,740	(10回徴収) ・1・2年生 4～1月 5,774
		3					178	55,250	・3年生 4～1月 5,525

6 就学援助

(1) 就学援助費支給内容（平成28年度，年額）

（単位：円）

区 分		小 学 校		中 学 校	
給 食 費		1・6年	45,570	1・2年	57,740
		2～5年	46,320	3年	55,250
学用品費 通学用品費 校外活動費	1年		12,990		24,590
	その他の学年		15,220		26,820
新入学児童生徒学用品費等			20,470		23,550
体育実技用具費	柔道		—	上限	7,510
	剣道		—	上限	51,940
	スキー	上限	26,020	上限	37,340
	スケート	上限	11,590	上限	11,590
宿泊校外活動費		上限	3,620	上限	6,100
修学旅行費			実費		実費
通学費			実費		実費
医療費			実費		実費

(2) 給食扶助

（単位：人，%，円）

年度	学校別	児童生徒数（A）	該当人員（B）	$(B) \div (A) \times 100$	扶助総額
27	小学校	10,854	2,853	26.3	127,317,416
	中学校	5,598	1,603	28.6	89,259,843
	計	16,452	4,456	27.1	216,577,259
28	小学校	10,580	2,692	25.4	119,224,446
	中学校	5,485	1,497	27.3	82,606,887
	計	16,065	4,189	26.1	201,831,333

(3) 学用品等扶助

(単位：円)

年度	学校別	学用品費等扶助		新入学児童生徒用品費等扶助費		修学旅行扶助費		通学扶助費		計	
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
27	小学校	2,860	41,992,876	430	8,802,100	598	14,694,551	26	645,160	3,914	66,134,687
	中学校	1,620	44,713,310	504	11,869,200	637	31,598,452	34	1,204,940	2,795	89,385,902
	計	4,480	86,706,186	934	20,671,300	1,235	46,293,003	60	1,850,100	6,709	155,520,589
28	小学校	2,706	39,552,510	403	8,249,410	581	16,401,536	34	869,225	3,724	65,072,681
	中学校	1,521	41,451,134	488	11,492,400	598	32,975,677	29	1,035,910	2,636	86,955,121
	計	4,227	81,003,644	891	19,741,810	1,179	49,377,213	63	1,905,135	6,360	152,027,802

(4) 医療扶助

(単位：円)

年度	学校別	トラコーマ及び結膜炎		中耳炎		慢性副鼻腔炎およびアデノイド		う 歯		伝染性の皮膚疾患 (白癬・疥癬・膿痂疹)	
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
27	小学校	3	4,740	15	138,580	8	93,290	240	2,348,310	—	—
	中学校	3	6,350	5	316,350	4	41,470	99	1,096,690	—	—
	計	6	11,090	20	454,930	12	134,760	339	3,445,000	—	—
28	小学校	2	7,330	6	48,920	2	23,790	184	1,945,170	—	—
	中学校	—	—	3	22,780	1	7,120	85	856,780	—	—
	計	2	7,330	9	71,700	3	30,910	269	2,801,950	—	—

年度	学校別	寄 生 虫		計	
		人員	金額	人員	金額
27	小学校	—	—	266	2,584,920
	中学校	—	—	111	1,460,860
	計	—	—	377	4,045,780
28	小学校	—	—	194	2,025,210
	中学校	—	—	89	886,680
	計	—	—	283	2,911,890

(5) 特別支援教育就学扶助

(単位：円)

平成27年度						平成28年度					
小学校		中学校		計		小学校		中学校		計	
人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
168	3,695,181	72	3,408,966	240	7,104,147	153	3,836,862	79	3,411,347	232	7,248,209

7 特別支援

(1) 特別支援学級の設置状況（平成29.5.1現在）

小学校

障がい別 学校名	知的障がい		自症・情緒		肢体不自由		病弱	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
弥生	1	4	1	3				
青柳	1	2	1	3				
あさひ	1	1	2	9				
中部	1	2	1	2				
北星	1	1	1	2				
八幡	1	5	1	7				
万年橋	1	1	1	1				
港	1	2	1	4				
高盛			1	6				
千代ヶ岱	1	1	1	1				
中島	1	1	1	4				
千代田			1	2	1	1		
柏野	1	3	1	5				
金堀	1	5	1	4				
駒場	1	3	1	4				
深堀	1	3	2	9				
日吉丘	1	2	1	3				
北日吉	1	1	1	3				
湯川	1	4	1	2				
高丘	1	1	1	8				
上湯川	1	1	1	1				
旭岡	1	3	1	1				
鱒川			1	2				
石崎			1	1				
桔梗	1	7	1	7				
北昭和	1	1	1	4				
昭和	2	11	2	11	1	2	1	1
亀田	1	4	2	16				
赤川	1	4	1	3				
中央	1	3	1	5				
鍛神	1	5	3	19				
神山	1	1	2	10				
東山	1	3	1	4				
本通	1	3	1	5				
南本通			1	2				
えさん	1	2	1	3				
榎法華			1	1				
磨光	1	1	1	1	1	1		
臼尻	1	1	1	2				
大船	1	2						
計	35	94	46	180	3	4	1	1

中学校

障がい別 学校名	知的障がい		自症・情緒		肢体不自由		病弱	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
西			1	4				
潮見	1	4	1	1				
宇賀の浦			1	1				
凌雲	1	2	1	1				
港	1	1	1	5				
的場	1	7	1	8				
深堀	1	3						
湯川	1	8	2	12				
戸倉	1	2	1	2				
鱒川			1	1				
銭亀沢			1	1				
赤川	2	10	1	1				
桔梗			1	3				
亀田	1	4	1	8				
五稜郭	2	14	3	19				
本通	2	11	1	7				
潮光	1	1						
恵山	1	1						
計	16	68	18	74			1	1



合同宿泊学習「函館山登山」

(2) 交流教育の推進

- ・ 函館盲学校との交流 ～ 千代田小学校，亀田小学校，五稜郭中学校
- ・ 函館聾学校との交流 ～ 深堀小学校，深堀中学校
- ・ 五稜郭特別支援学校との交流 ～ 亀田中学校，凌雲中学校
- ・ 函館養護学校との交流 ～ 旭岡小学校，旭岡中学校

(3) 行事

- ・ 小・中別合同宿泊学習（各1泊2日）
- ・ 教育福祉合同作品展（含即売会）

8 中学生海外派遣事業

未来の函館を担う中学生を広い視野と国際感覚を備えた人材として育成することを目的として、姉妹都市をはじめとする海外諸都市に派遣する事業である。

派遣先においては市内視察、学校訪問などを通じて、海外の中学生、市民などとの交流を深め、中学生の国際理解教育の充実を図っている。

学生海外派遣実績

年度	派遣先	派遣人数	派遣日程
16	ユジノサハリンスク市	15人	平成16年 9月20日～27日
	ウラジオストク市	14人	平成16年 9月 9日～14日
	天津市	20人	平成16年10月16日～21日
17	ユジノサハリンスク市	15人	平成17年 9月19日～26日
	ウラジオストク市	19人	平成17年 7月 1日～ 5日
	天津市	20人	平成17年10月19日～24日
18	ウラジオストク市	20人	平成18年10月 8日～15日
	レイク・マコーリー市	20人	平成18年11月24日～29日
19	ユジノサハリンスク市①	15人	平成19年 9月 7日～14日
	ユジノサハリンスク市② ※1	8人	平成19年 9月23日～26日
	ウラジオストク市	20人	平成19年10月 2日～ 9日
	レイク・マコーリー市	20人	平成19年10月24日～29日
20	ユジノサハリンスク市	15人	平成20年 9月12日～19日
	レイク・マコーリー市	16人	平成20年11月 5日～10日
21	ウラジオストク市	21人	平成21年10月18日～25日
22	レイク・マコーリー市	17人	平成22年11月11日～18日
23	レイク・マコーリー市	13人	平成23年11月10日～17日
24	高陽市	20人	平成24年10月18日～21日
25	高陽市	10人	平成25年10月16日～19日
26	高陽市	14人	平成26年10月15日～18日
27	高陽市	11人	平成27年10月21日～24日
28	高陽市	25人	平成28年10月19日～22日
29 (予定)	ユジノサハリンスク市	29人	平成29年10月14日～18日

※1 18年度派遣予定であったが、現地事情により19年度に延期したものである。



平成28年度 高陽市訪問団

9 函館市南北海道教育センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和49年9月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町3丁目38番38号 (TEL57-8251・FAX57-6232)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建(一部鉄骨造2階)
- ・敷地面積 3,608.70㎡
- ・建物延面積 1,946.35㎡



(2) 事業の概要

ア 研究事業

当面する教育課題を解決するため、地域の教育センターの独自性を生かした基礎的で実践的な調査・研究を行い、学校教育の充実発展に寄与する。

- (7) 教育方法部…各教科等における学習指導の充実に向けた研究
- (イ) 教育相談部…教育相談の考え方を生かした子どもへの効果的な支援の在り方についての研究
- (ウ) 教育支援部…一人ひとりの子どもの社会的な自立に向けた効果的な支援の在り方等についての研究

イ 研修事業

教職員および教育関係者の資質を高めるため、教職員の法定研修をはじめ地域の教育課題や今日的課題を踏まえた各種研修等を実施し、教育に関する専門性と指導力の向上に努める。

ウ 教育相談事業

子どものよりよい成長を願い、適応および進路や適性に関する教育相談を行い、適切な指導と援助に努める。

適応指導教室「やすらぎ学級」において一人ひとりの子どもの望ましい成長を支援する。

エ その他

研修室等の貸館、知能検査用具の貸し出し、研究に関する資料の貸し出し等を行う。

(3) 平成28年度事業のまとめ

ア 研究事業

- (7) 教育方法に関する研究 ・「思考力・判断力・表現力等を育む授業づくり」
- (イ) 教育相談に関する研究 ・「自己指導能力を高める開発的な生徒指導」
- (ウ) 教育支援に関する研究 ・「子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方」

イ 研修事業

(7) 基本研修の実施状況

研 修 名	受 講 者 数 (人)		
	小学校	中学校	計
初任段階教員研修	8	7	15
10年経験者研修	7	7	14
教職経験者研究協議会	5	4	9
新任校長研修会	8	3	11
新任教頭研修会	2	2	4
学校運営研修会	8	6	14
主幹教諭研修会	6	6	12

(函館市立学校分)

(イ) 専門研修の実施状況

区 分	研修数	受講者数(人)	日程
管理職研修	4	290	4
教科等研修	4	167	4
課題別研修	5	208	5
特別支援教育研修	10	319	10
計	23	984	23

(ウ) 担当者研修・協議会の実施状況

研 修 名	受講者数(人)
期限付き教諭等研修会	21
特別支援教育支援員研修会	74
特別支援学級担当教諭研究協議会	57
養護教諭研究協議会	23
道徳教育推進教師研究協議会	88
小・中学校教育課程研究協議会	117

(函館市立学校分)

(エ) 教育講演会の実施状況

講 演 会 名	参加者数(人)
特別支援教育講演会	64
教育フォーラム2016in函館	186

ウ 教育相談の実施状況

内 訳	相談回数
学 習	8
発 達	36
生 活	1,270
進 路	142
計	1,456

エ 貸館状況

区 分	件数	利用人数	備 考
函館市教育委員会	54	2,044	合同校長会等
函館市内教育研究会等	71	3,277	校長会, 教頭会, 研修会等
その他	21	468	発明クラブ等
計	146	5,789	

IV 資 料 編

1	函館市教育の沿革概要	102
2	函館市内の指定文化財	119
3	市立学校・幼稚園一覧	126
4	市内学校・幼稚園一覧(市立学校・幼稚園を除く)	130
5	社会教育関係団体一覧	132

1 函館市教育の沿革概要

嘉永元年 (1848)	○佐々木作右衛門が鍛冶町に私塾「藤村堂」開設
〃 3年 (1850)	○森菊三郎が内潤町に「猿山塾」を開設, 読み方, 書き方を教授
〃 4年 (1851)	○本道最初の心学道場「誠終舎」開設
安政元年 (1854)	○ペリー来航, 日米和親条約の締結で箱館開港
慶応2年 (1866)	○富原九一郎が大黒町に「富原私塾」を開設, 読み方, 書き方, 算術を教授
明治2年 (1869)	○蝦夷地を北海道, 箱館を函館と改称し, 開拓使を設置
〃 3年 (1870)	○柳田藤吉が「郷学校」(のちに郷塾と改称)を会所町に設け, 漢・英を教授
〃 4年 (1871)	○官立函館学校(本道最初の官立学校)創設, 漢・英二学を教授(官員の子弟のみ)
〃 5年 (1872)	○学制公布 ○函館病院附属医学所で教授開始 ○官立函館学校へ一般人の入学許可 ○私立戸井教育所開設
〃 6年 (1873)	○官立函館学校を「露学校」と改称(翌年, 官立松陰学校に, のち元町学校) ○露国宣教師, 元町に正教学校を開校 ○本道最初の中学校である官立変則中学校(3か年制)を富岡町に設立
〃 7年 (1874)	○変則中学校を富岡学校と改称, 14歳以上19歳以下の者が入学 ○米国メソジスト監督教会員が元町で「日々(にちにち)学校」を開始(現遺愛学院の前身)
〃 8年 (1875)	○函館最初の官立小学校である会所学校が開校(6歳以上13歳以下の児童)
〃 9年 (1876)	○官立小学教科伝習所を会所学校に開設(本道における師範学校の前身) ○公立松陰学校開校(最初の公立小学校)
〃 10年 (1877)	○公立内潤学校開校 ○私学愛陶舎, 鶴岡学校設立 ○私立夜学の弁天学校, 金蘭学校, 行余学校, 松濤学校(女子夜学校の最初)など開校(ともに小学校ではなく, 日用簡易の学科教授)
〃 11年 (1878)	○公立住吉学校(現青柳小学校の前身), 公立宝学校, 公立常盤学校, 公立亀田学校が開校 ○日本聖保禄会員が元町で教育の事業開始(現白百合学園高等学校の前身)
〃 12年 (1879)	○函館における最初の女子小学校である第一公立女学校が開校 ○函館における最初の夜間小学校である私立淳風学校が開校 ○私立函館商船学校, 公立上湯川学校が開校 ○函館公園内に開拓使仮博物館が落成(前年着工の函館公園完成) ○小学教科伝習所附属小学校開校(会所学校廃止)
〃 13年 (1880)	○私立臥牛学校開校 ○公立石崎学校, 公立湯川学校, 公立宇賀学校が開校 ○官立小学教科伝習所を官立函館師範学校と改称 ○小学教科伝習所附属小学校を函館師範学校附属小学校と改称 ○図書館の先駆, 思斉会が発足(翌年, 書籍館となり一般公開) ○戸井教育所を廃止, 公立戸井学校, 公立白浜学校, 公立瀬田来学校を開校 ○撥法華簡易学校開業 ○公立尻岸内学校, 根田内校, 古武井教育所開校
〃 14年 (1881)	○私立若山学校, 沢学校, 藤村学校など開校 ○官立函館師範学校内に一般青少年対象の私立函館夜学校を開設

明治14年	(1881)	○函館教育協会（のちの函館教育会）発足
〃 15年	(1882)	○私立福田学校，一貴学校が開校 ○私立遺愛女学校開校（現遺愛女子高等学校，現校舎は明治41年落成） ○公立弥生学校開校 ○私立東川学校開校（同年，公立に編入して公立東川学校となる） ○開拓使を廃止，三県（函館，札幌，根室）を設置 ○函館県に教育令実施 ○公立函館女学校開校（翌年，公立女子小学校と改称） ○私立高砂学校開校（翌年，私立高砂小学校と改称，明治17年公立に編入） ○この年，函館の人口36,419人，学齢児童5,049人，就学児童2,014人，未就学児童2,945人 ○公立小安学校開校（戸井）
〃 16年	(1883)	○函館師範学校附属小学校内に幼稚園を設置，満3歳からの幼児20名を収容（函館における最初の幼稚園） ○函館県小学校校則，函館県小学校教則実施 ○函館商船学校が県立に移籍（のち官立となり，東京商船学校函館分校となる） ○公立幸小学校開校，公立東川学校を公立東川小学校に改称 ○私立商業学校が開校
〃 17年	(1884)	○私立商業学校内に私立末広小学校開設 ○元町ハリストス教会内に私立正教女学校裁縫場開設（のちの正教女学校の創始） ○函館師範学校に教員講習場を設け，県内郡区の教員を対象に講習会開催 ○函館公園内に博物場第二号館開設 ○白浜学校，小安学校を合併し，小安学校とした。（戸井）
〃 18年	(1885)	○函館師範学校内に県立函館女学校創立 ○私立皇漢英学講習所，私立五島学舎，私立函館学校開校，嘯山私塾開設 ○戸井小学校新築
〃 19年	(1886)	○私立聖保禄女学校（現白百合高等学校）が開校 ○私立豊川小学校，浜野小学校，堀川小学校，巴小学校が開校 ○県が廃止され，札幌に北海道庁を設置 ○札幌・函館の師範学校を廃止，改めて札幌に北海道師範学校を設置 ○函館に当分，北海道師範学校分校を設置 ○日浦簡易小学校開校
〃 20年	(1887)	○公立住吉，東川，高砂，幸の4小学校を私立小学校とする ○庁立函館商業学校開校 ○私立函館学校内に私立函館幼稚園開設 ○北海道師範学校函館分校廃校（師範学校の校名を北海道尋常師範学校と改称）
〃 21年	(1888)	○公立函館書籍館開館 ○私立六和女学校開校（現大谷高等学校の前身） ○榎法華簡易小学校 校舎改築
〃 22年	(1889)	○公立函館女学校開校（高等小学校に類する女学校，修業年限4か年，ほかに別科として16歳以上の女子が入学） ○私立函館学校廃校（高等科の女生徒を公立函館女学校に移籍） ○高竜寺吉祥協会本部に私立吉祥女学校が開校 ○聖公会牧師ウォルター・アンデレスが元町に私立靖和女学校を開校 ○古武井教育所を根田内（恵山）小学校に合併
〃 23年	(1890)	○元町正教女学校に西洋裁縫科設置 ○私立恵似小学校開校（真宗大谷派北海道慈恵会設立）
〃 24年	(1891)	○官立函館商船学校新築落成，東京商船学校函館分校と改称

明治25年	(1892)	○亀尾小学校開校 ○英人ネトルシップ, 元町に旧土人学校を開設 ○私立遺愛女学校付設小学校・幼稚園開校 ○戸井小学校鎌歌分校設置
〃	26年 (1893)	○公立函館女学校を公立函館女子高等小学校と改称
〃	28年 (1895)	○米人シャーロット・ドレバー, 函館訓盲会を設立 (現函館盲・聾学校の前身) ○庁立函館商業学を廃止し, 庁立函館尋常中学校 (現函館中部高等学校の前身) を開校, 商業専修科併設 ○楯法華簡易小学校を楯法華尋常小学校と改称
〃	29年 (1896)	○私立東川尋常高等小学校に屋内運動場完成
〃	30年 (1897)	○公立幸尋常高等小学校・公立宝尋常高等小学校が開校 (幸・宝小学校の改称)
〃	31年 (1898)	○住吉・東川・高砂尋常小学校が公立移管
〃	32年 (1899)	○函館尋常中学校商業専修科を廃止, 元町に庁立函館商業学校を新設・開校
〃	33年 (1900)	○函館区に初めて7名の学務委員設置 (公民2, 区会議員3, 教員2) ○戸井小学校鎌歌分校が独立し, 鎌歌小学校となる。
〃	34年 (1901)	○東京商船学校函館分校廃止, 庁立函館商船学校が開校 (のち七重浜に移転) ○庁立函館尋常中学校を庁立函館中学校と改称 (明治39年現時任町に移転) ○戸井, 瀬田来両尋常小学校を合併し, 日新尋常小学校と改称
〃	35年 (1902)	○私立六和女学校を私立函館大谷女学校と改称
〃	36年 (1903)	○函館区中部方面の学齢児童増加, 宝, 東川, 住吉, 高砂, 亀田の各小学校で二部授業開始 ○若松尋常高等小学校開校 ○古武井教育所を根田内 (恵山) 小学校から分離し, 古武井小学校を開校
〃	38年 (1905)	○庁立函館高等女学校開校 (現函館西高等学校の前身) ○宝小学校に宝補習夜学校を付設
〃	39年 (1906)	○私立函館実践女学校が東川町西別院内に開校
〃	40年 (1907)	○小学校令改正, 義務教育6か年制開始
〃	41年 (1908)	○市立函館幼稚園が栄町に設立 (昭和7年愛国婦人会函館幼稚園, 昭和18年函館幼稚園として市立に移管)
〃	42年 (1909)	○弥生小学校で区内の教員や児童の図画成績展覧会開催 (函館初の展覧会) ○函館教育会が谷地頭に公設運動場を設置 (渡辺熊四郎の寄付) ○私立函館図書館が函館公園内に設置・開館
〃	43年 (1910)	○公会堂落成・開堂 (相馬哲平氏の寄付)
〃	44年 (1911)	○公立函館工業補習学校が青柳町に開校 (大正9年新川町に新校舎に移転)
〃	45年 (1912)	○新川尋常小学校開校
<hr/>		
大正2年	(1913)	○公立第二東川尋常小学校が開校 ○私立遺愛幼稚園が開園 ○五稜郭跡, 函館区に貸与 (翌年6月, 公園として一般公開)
〃	3年 (1914)	○北海道函館師範学校開校 (現北海道教育大学函館校の前身)
〃	5年 (1916)	○函館図書館五階建書庫落成 (相馬哲平氏の寄付)
〃	6年 (1917)	○公立千代ヶ岱尋常小学校開校 ○函館教育会主催, 学童水泳会 (七重浜, 水泳学校の最初) ○小熊育英資金創始 (小熊幸一郎氏の寄付) ○公立第一尋常夜学校 (第二東川小学校内), 公立第二尋常夜学校 (新川小学校内) 開校 ○函館慈恵院附属大森小学校開校
〃	7年 (1918)	○最初の区視学, 任命
〃	8年 (1919)	○楯法華尋常小学校 校舎新築落成

大正 9 年 (1920)	○公立松風尋常高等小学校落成，授業開始（翌10年開校式） ○椴法華尋常小学校高等科を併置，椴法華尋常高等小学校と改称
〃 10年 (1921)	○千代ヶ岱尋常小学校を千代ヶ岱尋常高等小学校と改称 ○函館教育会主催第一回児童安全デー開催（児童の交通安全を強調） ○函館教育会主催第一回林間学校開設（最初の林間学校・大正15年から市が主催） ○区立函館工業学校開校（翌年庁立，現函館工業高等学校の前身） ○公立巴尋常小学校開校
〃 11年 (1922)	○函館支庁を渡島支庁と改称 ○函館区が函館市となり，区立小学校は市立小学校と改称 （当時，市内の市立尋常高等小学校は，弥生，函館女子，住吉，宝，東川，松風，若松，千代ヶ岱，亀田の9校，市立尋常小学校は，幸，常盤，第二東川，高砂，巴，新川の6校，私立小学校は，鶴岡尋常小学校，函館慈恵院附属大森小学校の2校） ○五稜郭跡が国の史跡に指定
〃 12年 (1923)	○函館中学校に夜間中学校が開校 ○函館教育会が小学生の読物「函館の小学生」を刊行（昭和18年廃刊） ○私立函館大谷女学校が私立函館大谷高等女学校と改称
〃 13年 (1924)	○谷地頭尋常高等小学校，弥生女子尋常高等小学校が開校 ○私立函館大妻技芸学校開校 （蓬莱町に開校，翌年松風町，昭和4年高砂町に移転・現函館大妻高等学校の前身）
〃 14年 (1925)	○私立遺愛第二幼稚園開園 ○函館市学校衛生婦会発足 ○尻岸内小学校，根田内（恵山）小学校に高等科を設置
〃 15年 (1926)	○函館市主催第一回林間学校，五稜郭公園内で開催 ○市教育課内に学校衛生主事を設置
昭和 2 年 (1927)	○万年橋尋常小学校開校 ○函館教育会主催，ベストロッチ百年祭記念座談会開催（五島軒） ○私立函館図書館が市立移管（新築して翌年7月開館） ○大森尋常高等小学校開校
〃 3年 (1928)	○柏野尋常小学校開校 ○市立函館商工実修学校（商業部，工業部，女子商業部）開校
〃 4年 (1929)	○弥生女子尋常高等小学校ほか7校（谷地頭，住吉，東川，第二東川，松風，千代ヶ岱，巴）の高等科を廃止，市内高等科の女児全員を新設の函館女子高等小学校（開校式は翌年3月）に収容し，授業開始 ○国史跡五稜郭 堀外周長斜坂部が追加指定
〃 5年 (1930)	○谷地頭，住吉，汐見，新川の4小学校に虚弱児童の養護学級設置 ○私立昭和技芸学校開校（現清尚学院高等学校の前身） ○私立函館大谷幼稚園開園
〃 6年 (1931)	○函館市体操研究会主催第一回市内小学校教員陸上競技会を函館中学校で開催
〃 7年 (1932)	○函館大妻技芸学校を函館大妻女子高等技芸学校と改称 ○第一回函館市小学校連合体育大会を柏野総合運動場で開催 ○函館学校歯科医師会創設 ○函館市小学校地理教育研究会が「函館市地理読本」を編集，発行 ○函館市小学校診療所を松風小学校に開設
〃 8年 (1933)	○中島尋常小学校開校
〃 9年 (1934)	○四稜郭が国の史跡に指定 ○志苔館跡が国の史跡に指定

昭和9年	(1934)	○函館大火により、罹災学童18,046名、死亡学童218名
〃 10年	(1935)	○坂本市長「函館市教育是」発表 ○函館放送局が学校放送を開始 ○官立函館高等水産学校開校（現北海道大学水産学部の前身） ○庁立函館商船学校が廃止され、新たに庁立函館水産学校が開校 ○私立竜谷幼稚園開園 ○第一回北洋漁業視察小学校教員団9名出発 ○第一回「港まつり」挙
〃 11年	(1936)	○住吉尋常小学校を青柳尋常小学校、大森尋常高等小学校を高盛尋常高等小学校に改称 ○的場尋常高等小学校開校 ○私立函館第二大谷幼稚園開園
〃 12年	(1937)	○宝・松風・若松・新川の4小学校が尋常小学校となり、高等科廃止 ○大森尋常小学校開校 ○私立函館中等夜学校を私立函館夜間中学と改称 ○東川青年学校開校
〃 13年	(1938)	○弥生女子尋常小学校を弥生尋常高等小学校に合併
〃 14年	(1939)	○湯川町が函館市に合併 尋常高等小学校2校(湯川・亀尾)、尋常小学校3校(鱒川・蛾眉野・寅沢)が市に移管 ○昭和技芸学校を私立昭和女子高等技芸学校（旧制中学校）と改称 ○私立函館経理学校が開校（現函館大学附属有斗高等学校の前身）
〃 15年	(1940)	○函館市立中学校が開校（旧函館東高等学校、現市立函館高等学校の前身）
〃 16年	(1941)	○国民学校令、国民学校施行規則が公布され、小学校は国民学校と改称 ○八幡国民学校開校、的場青年学校開校 ○太平洋戦争爆发 ○楯法華尋常高等小学校を楯法華国民学校と改称
〃 17年	(1942)	○谷地頭・大森・万年橋・中島女子の各青年学校が開校 ○市教育課に体育主事設置
〃 18年	(1943)	○函館師範学校が北海道第二師範学校と改称 ○市立函館幼稚園開園（愛国婦人会函館幼稚園が市立移管）
〃 19年	(1944)	○寅沢国民学校が廃校 ○函館高等水産学校が函館水産専門学校と改称
〃 20年	(1945)	○市内国民学校初等科児童が集団疎開（亀尾、鱒川、銭亀沢、石崎、島川、市渡、駒ヶ岳、大沼、森、濁川、大野、清水、知内、湯里、吉岡、福島、松前等の学校、寺院その他へ分散宿泊） ○ポツダム宣言を受諾、終戦 ○谷地頭国民学校が廃止され、同校校舎に北海道第二師範学校女子部設置
〃 21年	(1946)	○放出物資によるミルク補食給食開始（11月～幸小学校、翌年～高盛、千代ヶ岱、常盤、東川小学校） ○楯法華小学校 校舎新築
〃 22年	(1947)	○教育基本法、学校教育法が公布（教育制度改革、六三三制発足） ○函館市新学制実施協議会を結成 ○国民学校の名称が小学校と改称 ○新制中学校、公立13校（的場・弥生・新川・湯川・川原・時任・柳町・旭・中島・万年橋・亀尾・元町・五稜郭）国立1校（附属）私立3校（遺愛・大谷・白百合） ○函館市公民館開館（旧青年会館） ○函館市学校図書館研究会発足（全国で最初） ○小安・汐首・日新小学校に新制中学校併置（戸井） ○楯法華中学校開校

昭和22年 (1947)	○尻岸内小学校, 恵山小学校, 古武井小学校, 日浦小学校に新制中学校を併置
〃 23年 (1948)	○函館教育会が解散 (函館文化会が継承) ○万年橋中学校を大川中学校と改称 ○新制高等学校が発足 ○高盛中学校, 松風中学校, 青柳中学校が開校 ○教育委員会法公布 ○市立函館図書館第一分館開設 ○市立函館博物館開設 (市立図書館内) ○日米文化センターが開設 ○榎法華中学校校舎新築落成
〃 24年 (1949)	○第一回函館市成人祭実施 ○レッド・ページにより, 6名の教員に休職発令 ○亀田村字港地区が函館市に合併 (港小学校が市立移管) ○弥生中学校を船見中学校と改称 ○時任・元町・五稜郭・青柳・川原の5中学校が廃校 ○私立函館藤幼稚園が開園 ○北海道第二師範学校が北海道学芸大学函館分校と改称
〃 25年 (1950)	○函館水産専門学校が北海道大学水産学部と改称 ○駒場小学校・千代田小学校が開校 ○愛宕中学校が開校 ○高盛中学校を光成中学校, 松風中学校を松川中学校, 中島中学校を中央中学校に改称 ○函館白百合幼稚園が開園 (昭和39年元町より当時亀田町本通に移転) ○青柳中学校を谷地頭中学校と改称し, 北海道第二師範学校女子部跡に移転 ○港小学校に特殊学級 (精神薄弱) を設置 ○柏野小学校に養護学級 (3学級) を設置 ○第一回函館市教育宝くじ発売 ○函館市文化賞規則制定 (文化の日, 第一回授与式举行)
〃 26年 (1951)	○函館昭和女子高等技芸学校移転 (西川町→東川町) し, 昭和竜谷技芸高等学校に改称 ○千代ヶ岱公園に市営野球場が完成 ○第一回成人学校開校 ○函館市奨学資金条例制定 ○私立函館ちとせ幼稚園が開園 ○日新中学校独立校舎竣工 (戸井) ○尻岸内第一中学校開校 (日浦中学校と尻岸内中学校の統合) ○尻岸内第二中学校開校 (恵山中学校と古武井中学校の統合)
〃 27年 (1952)	○文部省モデルスクールの新川中学校が落成 ○谷地頭中学校に特殊学級 (精神薄弱) を設置 ○函館市学校給食研究会発足, 給食用パン代補助開始 ○函館市教育委員会が発足 ○私立めぐみ幼稚園開園 (昭和49年本町より桔梗町に移転, 桔梗めぐみ幼稚園と改称) ○潮光中学校独立校舎竣工 (戸井) ○国史跡五稜郭跡が特別史跡に指定
〃 28年 (1953)	○函館市教育委員会公報, 創刊号を発行 ○函館市新学制実施協議会を改め, 函館市学校教育審議会発足 ○函館商科短期大学開校 ○函館大妻技芸高等学校移転 (高砂町→川原町) ○公立戸井高等学校開校

昭和29年	(1954)	<ul style="list-style-type: none"> ○第一回函館山市民ハイキング大会実施 ○尻岸内第二中学校を東光中学校に校名変更 ○尻岸内第一中学校を尻岸内中学校に校名変更
〃	30年 (1955)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市視聴覚ライブラリーを設置 ○谷地頭小学校開校 ○谷地頭中学校を潮見中学校と改称 ○第一回水泳学校開催（七重浜） ○市立函館博物館五稜郭分館が開館
〃	31年 (1956)	<ul style="list-style-type: none"> ○金堀小学校開校 ○私立国華幼稚園，私立ひまわり幼稚園が開園
〃	32年 (1957)	<ul style="list-style-type: none"> ○港中学校開校 ○函館市教育目標および教育課程を編成 ○函館市学校教育の重点を設定 ○函館市教育研究所を設置 ○私立函館女子商業高等学校が開校（現函館大学附属柏稜高等学校） ○私立湯の川幼稚園，私立第二竜谷幼稚園が開園
〃	33年 (1958)	<ul style="list-style-type: none"> ○第一回市民体育祭開催（千代ヶ岱公園陸上競技場） ○港中学校に特殊学級（精神薄弱）設置 ○私立函館若葉幼稚園開園 ○古武井小学校新校舎落成
〃	34年 (1959)	<ul style="list-style-type: none"> ○青柳小学校，新川小学校，中島小学校，若松小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置（昭和38年，若松小の特殊学級廃止） ○函館市青少年保護育成事務局発足 ○函館市青少年補導センター発足 ○アイヌの生活用具コレクションが国の重要有形民俗文化財に指定
〃	35年 (1960)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市青少年問題協議会発足 ○函館五稜郭病院内に柏野小学校・的場中学校の特殊学級「みどり学園」（病弱虚弱）を開設 ○私立ラ・サール高等学校開校 ○私立函館第三大谷幼稚園開園 ○尻岸内中学校新校舎落成
〃	36年 (1961)	<ul style="list-style-type: none"> ○深堀中学校開校 ○弥生小学校，高盛小学校，新川中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○千代ヶ岱公園内に第二種公認陸上競技場が完成 ○亀尾中学校の分教場が独立し，鱒川，蛾眉野中学校として開校 ○私立湯川明照幼稚園，市立函館元町白百合幼稚園が開園 ○昭和竜谷技芸高等学校が普通科を開設し，昭和竜谷女子高等学校と改称 ○函館大妻技芸高等学校が函館大妻高等学校と改称 ○安全都市宣言
〃	37年 (1962)	<ul style="list-style-type: none"> ○五稜中学校開校 ○函館五稜郭病院内特殊学級「みどり学園」（病弱虚弱）を五稜中学校に移管 ○函館市文化財保護条例公布・施行 ○国立函館工業高等専門学校開校
〃	38年 (1963)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館大谷女子短期大学開校 ○函館北高等学校開校 ○市立函館病院内に弥生小学校特殊学級「やよい学園」（肢体不自由）を開設 ○柏野小学校養護学級を転用して精神薄弱学級を設置 ○的場中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置（昭和48年廃止）

昭和38年	(1963)	○村立戸井高等学校独立校舎竣工
〃 39年	(1964)	○日吉が丘小学校開校 ○完全給食（A型）を実施（幸・常盤・弥生・谷地頭・青柳・東川・大森・新川・若松・松風・巴・八幡・万年橋・港・高盛・千代ヶ岱・中島・千代田・柏野・金堀・駒場・日吉が丘・湯川・亀尾・鱒川の25小学校，亀尾・鱒川の2中学校） ○昭和竜谷高等学校が東川町より亀田本町に移転 ○万年橋小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○「函館市ふたば学園」内に日吉が丘小学校および深堀中学校特殊学級（精神薄弱）を開設
〃 40年	(1965)	○函館市立道南青年の家が落成 ○市内初の学校プールを金堀小学校に設置 ○函館大学開校 ○松風小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○学校給食センター落成（恵山地区）
〃 41年	(1966)	○市立松風幼稚園開園（松風小学校に併設） ○中央中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○「市立函館整肢学院」に青柳小学校および旭中学校の特殊学級（肢体不自由）を開設（のちに青柳学園と改称） ○市立函館博物館本館開館 ○銭亀沢村が函館市に合併（銭亀小学校，石崎小学校，宇賀小学校，銭亀沢中学校が市立移管） ○私立函館短期大学附属幼稚園開園
〃 42年	(1967)	○学校施設等を勤労青少年の社会教育活動に開放するため，初の学校開放実施（新川小学校） ○函館大谷高等学校に男子部（当時亀田本町本通）を設置 ○亀田小学校（亀田町立当時）に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○木造大日如来坐像が国の重要文化財に指定 ○戸井村学校給食開始 ○戸井中央公民館開館 ○第1回戸井村文化祭開催
〃 43年	(1968)	○桐花中学校（亀田町立当時）・大川中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○戸井青少年会館開館 ○尻岸内小学校に特殊学級を開設 ○恵山小学校につつじ小公園を設置 ○尻岸内町郷土博物館開館
〃 44年	(1969)	○函館商業高等学校が亀田町の新校舎に移転 ○函館市青年センター開館 ○梁川交通公園開設 ○昭和竜谷女子高等学校を函館昭和女子学園高等学校と改称 ○市立函館博物館郷土資料館開館
〃 45年	(1970)	○町立北海道恵山高等学校開校（古武井小学校仮校舎） ○上湯川小学校開校 ○西小学校開校（常盤小学校と幸小学校の統合） ○函館市民会館開館 ○第一回新成人海外派遣実施
〃 46年	(1971)	○深堀小学校開校 ○大森小学校に特殊学級（言語障がい）を設置 ○函館市民プール開館 ○太刀川家住宅店舗が国の重要文化財に指定

昭和46年	(1971)	○戸井高等学校が全日制となる。
		○南茅部町青少年会館開館
〃 47年	(1972)	○東小学校開校（銭亀小学校と宇賀小学校の統合）
		○函館市働く婦人の家開館
		○戸井郷土館開館
		○南茅部町福祉センター（南茅部公民館）開館
〃 48年	(1973)	○新川小学校に特殊学級（情緒障がい・肢体不自由）を設置
		○戸倉中学校開校
		○市立日吉幼稚園開園
		○亀田市が函館市と合併 （亀田・鍛神・赤川・桔梗・中の沢・昭和・中央・本通の8小学校，鍛神小東山分校，桐花・亀田の2中学校が函館市立として編入，私立太陽の子幼稚園，私立大谷短期大学附属幼稚園，私立函館白百合学園幼稚園，私立ゆたか幼稚園の4園が函館市内となる）
		○私立函館白百合学園中学校休校
		○東幼稚園・西地区学校プール完成（戸井）
		○北海道恵山高等学校，実習用漁艇「第一えさん」竣工
〃 49年	(1974)	○私立函館第二大谷幼稚園が花園町に移転し，花園大谷幼稚園として開園
		○函館市南北海道教育センター開所
		○函館市民体育館開館
		○旧函館区公会堂が国の重要文化財に指定
		○総合体育館および町民プール落成（恵山地区）
		○北海道恵山高等学校新校舎落成
〃 50年	(1975)	○北日吉小学校開校
		○本通中学校開校
		○「函館市ゆのかわ学園」に湯川小学校の特殊学級（精神薄弱）を開設
		○重度心身障がい児のための住宅訪問指導員制度発足
		○著保内野で中空土偶発見
		○北海道恵山高等学校，実習用漁艇「第五えさん」竣工
〃 51年	(1976)	○北昭和小学校開校
		○高丘小学校開校
		○万年橋幼稚園開園
		○日吉が丘小学校に特殊学級（情緒障がい）を設置
		○「函館市ゆのかわ学園」に湯川中学校の特殊学級（精神薄弱）を設置
		○市立函館図書館赤川通分室開館
		○第一回函館市婦人大学講座開設
		○第一回市民美術公募展開催
		○国立函館大学誘致促進期成会発足
		○戸井高等学校道立移管
〃 52年	(1977)	○西中学校開校（船見中学校と愛宕中学校の統合）
		○市立函館図書館上湯川児童図書室開館
		○私立第2太陽の子幼稚園開園
		○第1回はこだて放送文化セミナー開設
		○総合センター（戸井総合学習センター）開館
		○恵山小学校新校舎落成
〃 53年	(1978)	○中部小学校が開校（新川小学校と松風小学校の統合）
		○東山小学校が開校
		○函館東高等学校校舎改築に着手（計画年度昭53～58）
		○市立函館図書館第1分館桔梗配本所開設

昭和53年 (1978)	<ul style="list-style-type: none"> ○見晴町B遺跡・中野A遺跡発掘調査実施 ○日新小学校改築工事竣工 ○楳法華小学校 校舎改築落成 ○日浦小学校新校舎落成
〃 54年 (1979)	<ul style="list-style-type: none"> ○旭岡小学校開校 ○北美原小学校開校 ○私立函館ひかり幼稚園開園 ○北海道五稜郭養護学校開校 (青柳小学校特殊学級(肢体不自由), 旭中学校特殊学級(肢体不自由), 柏野小学校特殊学級(病弱虚弱), 五稜中学校特殊学級(病弱虚弱)を廃止) ○市立小・中学校に米飯給食を導入(週1回) ○移動図書館車(ともしび号)運行開始 ○土偶が国の重要文化財に指定 ○北海道指定有形文化財旧函館博物館1号修復工事实施 ○権現台場遺跡発掘調査実施(昭54～55年度) ○函館市道立高等学校誘致促進期成会発足 ○私立函館あおい幼稚園が開園 ○日新中学校改築工事竣工 ○楳法華小学校 屋内体育館改築落成 ○週1回の米飯給食を開始(恵山地区) ○総合体育館付設テニスコート完成(恵山地区)
〃 55年 (1980)	<ul style="list-style-type: none"> ○赤川中学校開校 ○私立函館三育小学校開校 ○銭亀沢中学校校舎改築 ○重要文化財旧函館区公会堂保存修理工事着手(昭55～57年度) ○第1回函館子どもの船開設 ○第1回函館市民健康マラソン大会開催 ○特別史跡五稜郭跡二の橋修理工事着手(昭55～56年度) ○函館市指定有形文化財旧北海道庁函館支庁庁舎保存修理工事着手(昭55～56年度) ○函館大谷女子短期大学に幼児教育科を新設 ○函館市に道立高等学校の新設決定, 昭和58年度開校 〔北海道教育長期総合計画(後期実施計画)〕 ○函館市学校教育の重点を改訂 ○楳法華総合センター開館 ○東光中学校新校舎落成 ○週2回の米飯給食を開始(恵山地区) ○東光中学校体育館落成
〃 56年 (1981)	<ul style="list-style-type: none"> ○旭岡中学校開校 ○湯川中学校分教場新築工事着手(翌年市立北中学校として開校) ○私立湯川明照幼稚園廃止 ○私立ききょう幼稚園開園 ○私立高丘幼稚園開園 ○特別史跡五稜郭跡一の橋, 二の橋修理工事完成 ○函館市総合文化センター基本計画策定 ○第1回函館子どもの祭典開催 ○戸井西幼稚園開園(戸井地区)
〃 57年 (1982)	<ul style="list-style-type: none"> ○北中学校開校 ○凌雲中学校開校(中央中学校と松川中学校の統合)

昭和57年 (1982)	<ul style="list-style-type: none"> ○北洋資料館開館 ○教育委員会施行30周年記念事業 〔文化講演会, 函館市教育委員会のあゆみ刊行(編集昭和57年度~59年度)〕 ○「子どもの生活を考える」市内7ブロックで発足 ○市立函館図書館湯川配本所開館(湯川支所内) ○銭亀沢中学校校舎改築 ○北海道五稜郭養護学校校舎落成 ○北海道函館養護学校校舎落成 ○楳法華中学校改築 ○古武井小学校新校舎落成 ○尻岸内小学校の体育館, 音楽および理科の特別教室落成 ○北海道恵山高等学校の定時制課程の生徒募集を停止し, 全日制課程, 漁業経営科1学級40名をもって昭和58年4月1日に開校する許可 ○東光中学校のグラウンド整備工事完成
〃 58年 (1983)	<ul style="list-style-type: none"> ○南本通小学校開校 ○北海道函館稜北高等学校開校 ○義務教育施設整備目標策定(昭59~平5年度) ○すずらん留守家庭児童会開設(上湯川小学校内) ○西部地区伝統的建造物群調査実施 ○函館ハリストス正教会復活聖堂が国の重要文化財に指定 ○北海道恵山高等学校全日制課程漁業経営科第一回入学式
〃 59年 (1984)	<ul style="list-style-type: none"> ○桔梗中学校開校 ○函館大谷高等学校が男女共学開始 ○核兵器廃絶平和都市宣言 ○南茅部町スポーツセンター(南茅部スポーツセンター)開設
〃 60年 (1985)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市教育委員会30年誌発行 ○千代田小学校校舎改築(昭59~60年度) ○サイベ沢遺跡発掘調査完了(昭59~60年度) ○町民運動広場(戸井運動広場)完成(戸井地区) ○ふれあい高齢者大学開設(恵山地区) ○尻岸内小学校新校舎落成
〃 61年 (1986)	<ul style="list-style-type: none"> ○中の沢小学校校舎・屋体改築 ○湯川小学校校舎・防音改築(昭58~61年度) ○北海道立函館美術館開館 ○市民プール50mプール改築(昭59~61年度) ○ふるさとの歴史的事跡モニュメント設置調査完了(昭59~61年度) ○北海道恵山高等学校全日制課程普通科第一回入学式
〃 62年 (1987)	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道恵山高等学校定時制課程閉課記念式典挙行 ○北星小学校校舎・屋体新築(昭61~62年度) ○尻岸内中学校体育館に暖房設備を設置 ○尻岸内中学校新校舎落成
〃 63年 (1988)	<ul style="list-style-type: none"> ○史跡志苔館跡環境整備事業完了(昭58~62年度) ○函館市学校教育の重点を改訂 ○北星小学校開校(巴小学校と若松小学校の統合) ○義務教育施設整備計画〔木造校舎・屋内運動場改築事業(平成元~7年度)〕策定 ○駒場小学校火災焼失(1月25日), 建設着手 ○亀田中学校校舎改築(昭62~63年度)

昭和63年 (1988)	<ul style="list-style-type: none"> ○第42回全国レクリエーション大会兼第1回全国スポーツ・レクリエーション祭開催 ○陣川町遺跡発掘調査完了(昭62～63年度) ○重要文化財函館ハリストス正教会復活聖堂保存修理事業完了(昭61～63年度) ○函館市西部地区歴史的景観条例公布・施行 ○函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区の決定および保存計画の策定 ○南茅部町民運動公園(南茅部運動広場)開設
平成元年 (1989)	<ul style="list-style-type: none"> ○財団法人函館市文化・スポーツ振興財団設立 ○駒場小学校改築 ○柏野小学校校舎改築(昭和63～平成元年度) ○権現台場遺跡発掘調査実施 ○第44回国民体育大会「はまなす国体」水泳競技(夏季),自転車競技(秋季)を開催 ○函館市北方民族資料・石川啄木資料館開館 ○伝統的建造物群保存地区保存事業開始 ○国際観光都市宣言 ○町民プールの温水化工事を実施(恵山地区) ○古武井小学校児童通路の緑化事業および芝生植栽工事完成
〃 2年 (1990)	<ul style="list-style-type: none"> ○青柳小学校開校(青柳小学校と谷地頭小学校の統合) ○桔梗小学校改築(平成元～2年度) ○亀田小学校改築(平成元～2年度) ○「登校拒否児童生徒の適応指導の在り方に関する調査研究委託事業」文部省委託(平成2～3年度) ○「第4回ツール・ド・北海道」開催 ○特別史跡五稜郭跡保存整備基本計画策定 ○史跡四稜郭環境整備事業完了 ○箱館奉行所復元詳細調査実施 ○南茅部町民白尻スキー場(現白尻スキー場)開設 ○南茅部町民テニスコート(現南茅部市民庭球場)開設 ○ふるさとの民話集第一号完成(恵山地区) ○尻岸内中学校グラウンド整備工事完成
〃 3年 (1991)	<ul style="list-style-type: none"> ○赤川小学校改築 ○万年橋小学校改築(平成2～3年度) ○湯川中学校改築(平成2～3年度) ○第1回函館ハーフマラソン大会開催 ○函館市青少年芸術教育奨励事業開始 ○豊原2遺跡発掘調査実施(平成3～5年度) ○小・中学校へのコンピュータ導入
〃 4年 (1992)	<ul style="list-style-type: none"> ○潮見中学校改築(平成3～4年度) ○市制施行70周年記念事業宝くじスポーツフェア「名球会がやってくる」開催 ○中学生を対象とした適応指導教室「やすらぎ学級」を南北海道教育センター内に開校 ○「スポーツ健康都市宣言」制定
〃 5年 (1993)	<ul style="list-style-type: none"> ○宇賀の浦中学校開校(旭中学校と新川中学校の統合) ○函館市文学館開館(北方民族資料館は単独館化) ○中島小学校改築(平4～5年度) ○八幡小学校改築(平4～5年度) ○外国人英語指導助手導入
〃 6年 (1994)	<ul style="list-style-type: none"> ○千代台公園野球場(オーシャンスタジアム)全面改修

- 平成6年 (1994)
- 「第8回ツール・ド・北海道」開催
 - 石倉貝塚発掘調査実施（平成6～8年度）
 - 港小学校改築（平成5～6年度）
 - 港中学校改築（平成5～6年度）
 - 「いきいき長寿都市宣言」制定
 - 社会科副読本「わたしたちのまち恵山」完成（恵山地区）
 - 古武井小学校の児童を対象に恵山町初のバイキング給食を開始
- // 7年 (1995)
- 神山小学校開校
 - 金堀小学校改築（平成6～7年度）
 - 深堀中学校改築（平成6～7年度）
 - 外国人英語指導助手増員（2名体制）
 - 湯川ネット式海水浴場開設
- // 8年 (1996)
- 生涯学習部設置（社会教育部を改組）
 - 社会教育施設整備基本計画策定
 - 生涯学習推進基本構想策定
 - 鱒川小中学校改築
 - 石崎小学校改築
 - 鍛神小学校改築（平成7～8年度）
 - 桐花中学校改築（平成7～8年度）
 - 外国人英語指導助手増員（3名体制）
 - 函館市青少年研修センター（ふるる函館）開所
 - スクールカウンセラー活用調査研究委託事業開始（平成8～9年度）
 - 大船C遺跡（現大船遺跡）発掘調査実施（平成8～13年度，17～18年度）
- // 9年 (1997)
- 私立函館大学付属女子高等学校を私立函館大学附属柏稜高等学校と改称（男女共学）
 - 私立函館白百合学園中学校再開
 - 第2次義務教育施設整備計画策定
 - 函館市日吉サッカー場完成
 - 港小学校プールに上屋設置
 - 本通中学校屋内体育館改修（7月6日火災による）
 - 中の沢小学校上屋付プール完成
 - 第2回北海道生涯学習フェスティバル開催
 - 「一男女共同参画社会をめざすーはこだてプラン21」策定
 - 小中学校屋内体育館暖房設備の整備開始
 - 潮光中学校新校舎完成
- // 10年 (1998)
- 「戦後学校教育の五十年」の発行
 - スクールカウンセラー活用調査研究委託事業継続（2名体制）
 - 函館市芸術ホール（ハーモニー五稜郭）完成
 - ウィークエンド・サークル活動推進事業開始
 - 美原図書館夜間開館試行
 - 駒場小学校上屋付プール完成
 - 青柳小学校プールに上屋設置
 - 「第12回ツール・ド・北海道」開催
 - 長野県南佐久郡白田町と「五稜郭ゆかりのまち協定書」締結
 - 戸倉中学校情緒特殊学級「ふれあい学級」開設
 - 戸井幼稚園開園（戸井東幼稚園と戸井西幼稚園の統合）
 - 鎌歌小学校を閉校し，日新小学校に統合
 - 戸井西小学校開校（汐首小学校と小安小学校の統合）

平成10年	(1998)	○戸井生涯学習センター開館 ○南茅部町民プール（南茅部プール）開館
〃	11年 (1999)	○函館市千代台公園陸上競技場全面改修 ○北美原小学校，赤川小学校に肢体不自由特殊学級開設 ○南本通小学校プールに上屋設置 ○瀬戸川1遺跡発掘調査実施（平成11～12年度） ○私立函館ラ・サール中学校開校 ○函館市千代台公園弓道場火災焼失(10月30日) ○南茅部町立古部小学校廃校 ○南茅部町立磯谷小学校廃校 ○古部体育館，古部グラウンド，磯谷体育館，磯谷グラウンド開設
〃	12年 (2000)	○湯川小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○大森小学校「ことばの教室」を廃止。中部小学校・中央小学校「ことばの教室」新設（日吉が丘小学校とあわせて3校体制に） ○外国人英語指導助手増員（5名体制に） ○函館市千代台公園弓道場改修 ○郷土資料館（旧金森洋物店）改修 ○中部小学校肢体不自由特殊学級閉鎖 ○特別史跡五稜郭跡箱館奉行所復元構想策定 ○豊原4遺跡発掘調査実施（平成12～13年度） ○垣ノ島A遺跡発掘調査実施（平成12～21年度）
〃	13年 (2001)	○教育委員会事務局を生涯学習部・学校教育部の2部制に（管理部を廃止） ○女性課を市民部に移管（男女共同参画課に） ○特別史跡箱館奉行所庁舎復元計画策定 ○「第15回ツール・ド・北海道」開催 ○旧遺愛女子校宣教師館が国の重要文化財に指定 ○旧岩船氏庭園（香雪園）が国の名勝に指定 ○柏野小学校，中央小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○湯川中学校肢体不自由特殊学級開設 ○大船遺跡が国の史跡に指定
〃	14年 (2002)	○亀尾小学校特認校に指定 ○中部小学校，港中学校に弱視特殊学級開設 ○東小学校に知的障がい特殊学級開設 ○桐花中学校に情緒障がい特殊学級開設 ○学校完全週5日制施行 ○学校評議員制度導入 ○あさひ小学校開校（大森小学校と東川小学校の統合） ○市立函館博物館がアルセニエフ博物館（ロシア）と姉妹提携 ○志海苔古銭と大甕，函館八幡宮大神輿が市指定有形文化財に ○中央図書館プロポーザルコンペ実施 ○市立函館図書館第1分館廃止
〃	15年 (2003)	○市立はこだて幼稚園開園（函館幼稚園と松風幼稚園の統合） ○市立函館図書館千歳図書室開設 ○蛾眉野小中学校統合廃止（亀尾小中学校と統合） ○あさひ小学校，高丘小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○北昭和小学校に知的障がい特殊学級開設 ○北海道志海苔中世遺構出土銭附甕敷板が国の重要文化財に指定

平成16年 (2004)	<ul style="list-style-type: none"> ○「第18回ツール・ド・北海道」開催 ○えさん小学校開校（尻岸内小学校，恵山小学校，古武井小学校，日浦小学校の統合） ○戸井町，恵山町，榎法華村，南茅部町が函館市と合併 （戸井西・日新・えさん・榎法華・木直・磨光・臼尻・大船の8小学校，潮光・日新・尻岸内・東光・榎法華・尾札部・臼尻の7中学校，恵山高校，戸井幼稚園が函館市立として編入，道立戸井高校，道立南茅部高校の2高校が函館市内となる） ○国指定史跡大船遺跡，国指定重要文化財土偶が市に移管（南茅部） ○名勝旧岩船氏庭園（香雪園）保存修理事業実施（平成16～21年度） ○函館市スポーツ振興計画策定 ○市立函館図書館上湯川児童図書室閉館
〃 17年 (2005)	<ul style="list-style-type: none"> ○八幡小学校に肢体不自由特殊学級開設 ○旭岡小，鍛神小，戸倉中に知的障がい特殊学級開設 ○深堀小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○尾札部中学校に肢体不自由特殊学級開設 ○恵山中学校開校（尻岸内中学校と東光中学校の統合） ○函館恵山高等学校が旧尻岸内中学校校舎へ移転 ○市立函館図書館本館 中央図書館の移転に伴い休館 ○遺愛学院（旧遺愛女学校）本館が国の重要文化財に追加指定 ○大船遺跡発掘調査実施 ○垣ノ島遺跡発掘調査実施 ○市民体育館天井改修工事のため休館（6/30～12/17） ○函館市中央図書館開館 ○北星小，駒場小，港中，臼尻小，恵山中に知的障がい特殊学級開設 ○昭和小学校改築（平成17～19年度）
〃 18年 (2006)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市南茅部縄文遺跡群整備構想策定 ○函館市文化芸術振興条例施行 ○函館公園が国の登録記念物に指定 ○ブラキストンの大形磨製石斧，高松凌雲の医療器具が市の有形文化財に指定 ○放送大学函館学習室開設（函館大学内） ○特別史跡五稜郭跡箱館奉行所庁舎復元工事着手（平成18～22年度） ○弥生小，千代田小，港小，桔梗小，本通小，南本通小に情緒障がい特殊学級開設 ○高丘小に知的障がい特殊学級開設 ○的場中に肢体不自由特殊学級開設 ○「縄文シティサミットinはこだて」，「縄文市民サミット」開催
〃 19年 (2007)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市西桔梗野球場開設 ○市立函館高等学校開校（函館東高等学校と函館北高等学校の統合） ○土偶が国宝に指定 ○函館市文化芸術の振興に関する基本方針策定 ○外国人英語指導助手増員（6名体制に） ○市立函館高等学校改修 ○市立函館博物館五稜郭分館閉館 ○万年橋小，日吉が丘小，昭和，鍛神小に情緒障がい特別支援学級開設 ○北日吉小，えさん小に知的障がい特別支援学級開設 ○東山小に肢体不自由特別支援学級開設
〃 20年 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> ○北日吉小，鱒川小，榎法華小，本通中に情緒障がい特別支援学級開設 ○桔梗小，本通中に知的障がい特別支援学級開設 ○鍛神小，北中に肢体不自由特別支援学級開設 ○市立万年橋幼稚園，市立日吉幼稚園廃止

平成20年 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> ○南部忠平記念陸上大会開催 ○五稜郭初度設計図と五稜郭平面図が市の有形文化財に指定 ○史跡大船遺跡が世界文化遺産暫定一覧表に登載
〃 21年 (2009)	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道函館恵山高等学校閉校 ○弥生小学校開校（西小学校と弥生小学校の統合） ○八幡小，高盛小，木直小，亀田中，恵山中に知的障がい特別支援学級開設 ○磨光小，潮見中，港中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○日吉が丘小に肢体不自由特別支援学級開設
〃 22年 (2010)	<ul style="list-style-type: none"> ○文化芸術アウトリーチ事業開始 ○特別史跡五稜郭跡内に箱館奉行所開館 ○重要文化財旧函館区公会堂築100年記念事業の実施 ○金堀小，深堀小，昭和小，神山小，本通小，宇賀の浦中，尾札部中，白尻中に知的障がい特別支援学級開設 ○北星小，高盛小，東小，西中，恵山中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○中島小に肢体不自由特別支援学級開設 ○昭和小，港中に病弱・身体虚弱特別支援学級開設 ○椴法華中親子学校給食共同調理場供用開始 ○ツール・ド・北海道2010開催 ○第20回記念2010函館ハーフマラソン大会開催
〃 23年 (2011)	<ul style="list-style-type: none"> ○垣ノ島遺跡が国の史跡に指定 ○はつらつママさんバレーボール in Hakodate開催 ○赤川小，磨光小，白尻小，港中，的場中，深堀中に知的障がい特別支援学級開設 ○金堀小，駒場小，神山小，東山小，北中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○湯川中に肢体不自由特別支援学級開設 ○磨光小学校開校（磨光小学校と木直小学校の統合） ○縄文文化交流センター開館 ○椴法華総合センター改修 ○日吉が丘小学校・五稜中学校耐震化
〃 24年 (2012)	<ul style="list-style-type: none"> ○円空作仏像観音像が市の有形文化財に指定 ○青柳小，北星小，万年橋小，東山小，北中に知的障がい特別支援学級開設 ○八幡小，高丘小，旭岡小，本通小，白尻小，桔梗中，亀田中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○弥生小学校新校舎供用開始 ○凌雲中学校耐震化
〃 25年 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> ○市制施行90周年記念第29回「平和の日」函館の集い開催 ○青柳小，中島小，石崎小，えさん小，宇賀の浦中，赤川中，潮光中，椴法華中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○本通中に肢体不自由特別支援学級開設 ○青柳小学校，深堀小学校耐震化 ○函館市学校給食基本方針策定 ○旧市立函館図書館書庫改修
〃 26年 (2014)	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食で「和食の日」開始 ○日吉が丘小，北日吉小，銭亀沢中に知的障がい特別支援学級開設 ○的場中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○昭和小，磨光小に肢体不自由特別支援学級開設 ○鱒川中に病弱・身体虚弱特別支援学級開設 ○豊原4遺跡出土の足形付土版等一括資料が市の有形文化財に指定 ○函館市公民館改修

- 平成26年 (2014)
- 南茅部総合センター開館 (南茅部公民館改修)
 - 千代ヶ岱小・東山小・楸法華小・深堀中耐震化
- 〃 27年 (2015)
- 北海道戸井高等学校閉校
 - 特別支援教育推進体制の改善
 - 函館市教育支援委員会開設
 - 函館アリーナ開館
 - 函館フットボールパーク開設
 - 北日吉小・湯川小・上湯川小・旭岡小・東小・北昭和小・昭和小・北美原小・鍛神小・本通小・白尻小・大船小・湯川中・旭岡中・銭亀沢中・赤川中・亀田中・本通中・恵山中・戸井幼稚園耐震化
 - 戸井公民館・戸井郷土館・戸井埋蔵文化財展示館・戸井青少年会館閉館
- 〃 28年 (2016)
- 特別史跡五稜郭跡で平成26年に崩落した石垣の修復完了
 - 戸井西部総合センター開館
 - 五稜郭中学校開校 (五稜中学校・大川中学校・桐花中学校の統合)
 - あさひ小, 柏野小, 上湯川小に知的障がい特別支援学級開設
 - 千代ヶ岱小, 赤川中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設
 - 千代田小に肢体不自由特別支援学級開設
 - 北海道豊原4遺跡土坑出土品が国の重要文化財に指定
 - 函館マラソン開催 (初のフル・ハーフ同時開催)
 - 第51回全国史跡整備市町村協議会大会開催
- 〃 29年 (2017)
- 戸倉中学校開校 (戸倉中学校と亀尾中学校の統合)
 - 北星小, 千代ヶ岱小, 中島小, 大船小, 潮光中に知的障がい特別支援学級開設
 - 上湯川小, 鱒川小, 南本通小, 磨光小, 銭亀沢中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設

2 函館市内の指定文化財（平成29年4月1日現在）

国指定（16件）



土偶



木造大日如来坐像



太刀川家住宅店舗



旧函館区公会堂



函館ハリストス正教会復活聖堂



遺愛学院(旧遺愛女学校)旧宣教師館



遺愛学院(旧遺愛女学校)本館



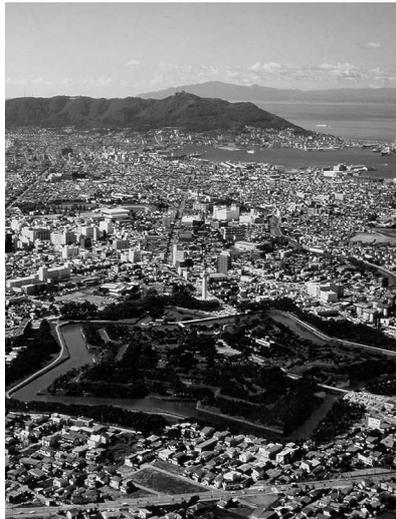
北海道志海苔中世遺構出土銭



大谷派本願寺函館別院(本堂)



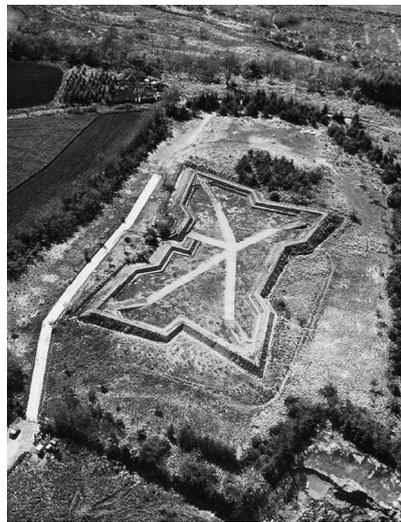
北海道豊原4遺跡土坑出土品



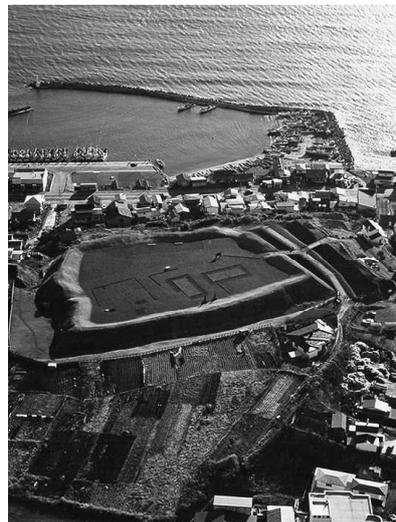
五稜郭跡



アイヌの生活用具コレクション



四稜郭



志苔館跡



大船遺跡

国選定(1件)



旧岩船氏庭園(香雪園)



垣ノ島遺跡



函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区

一 覧 表

(1) 国 指 定 (16件)

種 別	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日	摘 要
国宝	土偶	臼尻町551-1 縄文文化交流センター	函館市	H19.6.8	縄文時代後期の土偶であり、高さ 41.5cm, 幅20.1cm
重要文化財	木造大日如来坐像	住吉町12-23 高野寺	高野寺	S42.6.15	11世紀から12世紀初期の作 明治24年(1891)紀州高野山から付与
	太刀川家住宅店舗	弁天町15-15	個人	S46.12.28	明治34年(1901)初代太刀川善吉が建築 明治末期の開港場商家の典型例
	旧函館区公会堂	元町11-33	函館市	S49.5.21	明治43年(1910)建設の擬洋風建築物
	函館ハリストス 正教会復活聖堂	元町3-13	函館ハリストス 正教会	S58.6.2	大正5年(1916)に建築されたロシアビ ザンチン様式を基本とする聖堂
	遺愛学院 (旧遺愛女学校) 本館 旧宣教師館	杉並町23-11	学校法人 遺愛学院	H13.6.15	明治41年(1908)に建築された洋風木造 校舎と外国人宣教師の洋風住宅 (H16.12.10本館追加指定)
	北海道志海苔 中世遺構出土銭	青柳町17-1 博物館	函館市	H15.5.29	昭和43年、志海苔町で発見された38万 枚を超える埋蔵古銭と大甕・敷板
	大谷派本願寺函館 別院 本堂 鐘楼 正門	元町16-15	宗教法人 真宗大谷派函館別院	H19.12.4	本堂は大正4年(1915)に竣工した国内 最初の鉄筋コンクリート構造の寺院建 築。鐘楼、正門も大正初期に建設された。
北海道豊原4遺跡 土坑出土品	臼尻町551-1 縄文文化交流センター	函館市	H28.8.17	縄文時代早期の土坑から出土した副 葬品と思われる土器・土製品・石器	
重要有形 民俗文化財	アイヌの生活用具 コレクション	末広町21-7 北方民族資料館	函館市	S34.5.6	民族学者馬場脩氏が昭和初期に樺太な どから収集したアイヌ民族資料
特別史跡	五稜郭跡	五稜郭町 本通1丁目	函館市	S27.3.29	安政4年(1857)武田斐三郎設計により 着工、元治元年(1864)竣工 明治維新箱館戦争の舞台
史跡	四稜郭	陣川町	函館市	S9.1.22	明治2年(1869)五稜郭の背後を固める ため急造した洋式堡塁
	志苔館跡	志海苔町・赤坂町	函館市	S9.8.9	室町時代中期の小豪族の館
	大船遺跡	大船町	函館市	H13.8.13	縄文時代前期末から中期末までの約千 年間に築いた集落跡
	垣ノ島遺跡	臼尻町	函館市	H23.2.7	縄文時代早期から後期にかけての長 期間にわたる集落跡で、大規模な盛土 遺構が存在
名勝	旧岩船氏庭園 (香雪園)	見晴町	函館市	H13.8.13	明治時代後半に市内の呉服商により 造成された、大規模で本格的な庭園

(2) 国 選 定 (1件)

種 別	名 称	所 在 地	選定年月日	摘 要
重要伝統的 建造物群 保存地区	函館市元町末広町 伝統的建造物群 保存地区	弥生町, 大町, 元町, 末広町, 豊川町 の各一部	H1.4.21	旧外国公館, 宗教施設および煉瓦造の 倉庫群, 和洋折衷様式の町家など異 国情緒豊かな町並み

(3) 国 登 録 (20件)

種 別	名 称	所 在 地	管理・所有者	登録年月日	摘 要
登録有形	五島軒本店旧館	末広町4-13	株五島軒	H9.5.7	昭和9年(1934)建築のレストラン
	北海道教育大学函館 校北方教育資料室 (旧函館師範学校)	八幡町1-2	北海道教育大学	H12.4.28	大正3年(1914)建築の洋風木造校舎
	プレイリー・ハウス (旧佐田邸)	元町32-43他	個人	H12.4.28	昭和3年(1928)建築の洋風一般住宅
	函館中華会館	大町1-20	(社)函館中華会館	H13.4.24	明治43年(1910)建築の関帝廟形式の集会所
	遺愛学院講堂	杉並町64-1	学校法人遺愛学院	H14.6.25	昭和10年(1935)建築の周囲との調和を図った講堂
	函館大手町ハウス (旧浅野セメント 函館営業所)	大手町5-1	個人	H17.7.12	大正7年(1918)建築の、木造擬洋風社 屋
	遺愛学院(旧遺愛女 学校)謝恩館	杉並町64-1	学校法人 遺愛学院	H17.7.12	大正11年(1922)建築、昭和36年2階部 分増築の同窓会会館
	高龍寺本堂	船見町21-1外	宗教法人高龍寺	H24.2.23	明治32年(1899)建築、大規模で装飾 性豊かな近代の曹洞宗本堂
	高龍寺開山堂	船見町21-1外	宗教法人高龍寺	H24.2.23	明治30年(1897)頃建築、函館市内に 残る煉瓦造建築の古例となる遺構

種別	名称	所在地	管理・所有者	登録年月日	摘要
登録有形	高龍寺山門及び袖塀	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	明治43年頃(1910)建築,雲龍や獅子等の彫刻を施す,装飾豊かな門
	高龍寺防火塀	船見町21-1外	宗教法人高龍寺	H24.2.23	明治43年(1910)建築,大火が頻発した近代函館を象徴する遺構
	高龍寺金毘羅堂	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正6年(1917)建築,高龍寺境内で最も装飾的な建築のひとつ
	高龍寺水盤舎	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正6年頃(1917)建築,立体的で充実した彫刻のある水盤舎
	高龍寺鐘楼	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正11年(1922)建築,水盤舎同様充実した彫刻のある鐘楼
	高龍寺宝蔵	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正5年(1916)建築,煉瓦造を用いた独特の形式の蔵
	高龍寺位牌堂	船見町21-1外	宗教法人高龍寺	H24.2.23	昭和8年(1933)建築,地階を有し,彫刻に技巧が凝らされた建物
	高龍寺土塀	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正6年(1917)頃建築,山門袖塀の左右に伸びる土塀
	旧藤澤家住宅主屋	時任町28他	個人	H28.11.29	昭和9年(1932)函館大火後に郊外に展開した新興住宅地に建つ住宅建築
	函館YWC A会館	松陰町6-2	一般財団法人 函館YWC A	H28.11.29	昭和前期に建設された郊外住宅の趣きを示す洋風建築
登録記念物 (名勝地)	函館公園	青柳町	函館市	H18.1.26	明治12年(1879)開園の和洋折衷型の公園

(4) 道指定 (20件)

指定区分	名称	所在地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	樽岸出土の石器	青柳町17-1 博物館	函館市	S32.12.20
	夷酋列像粉本	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S34.2.24
	旧金森洋物店	末広町19-15	函館市	S38.7.26
	旧函館博物館1号	青柳町17-5	函館市	S38.7.26
	旧函館博物館2号	青柳町17-4	函館市	S38.7.26
	榎法華出土の尖底土器	青柳町17-1 博物館	函館市	S43.3.29
	釈迦涅槃図 蠣崎波響筆	船見町21-11 高龍寺	高龍寺	S43.3.29
	石崎八幡神社の鰐口	青柳町17-1 博物館	石崎八幡神社	S43.3.29
	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	青柳町17-1 博物館	函館市	S45.2.12
	刀 銘源正雄	青柳町17-1 博物館	函館市	S45.2.12
	板碑(貞治の碑)	船見町18-14 称名寺	称名寺	S46.3.5
	板碑(戸井町の板碑)	小安町525-1 戸井西総合センター	函館市	S46.3.5
	サイベ沢遺跡出土の遺物	青柳町17-1 博物館	函館市	S46.3.5
	住吉町遺跡出土の遺物	青柳町17-1 博物館	函館市	S46.3.5
	旧北海道庁函館支庁庁舎	元町12-18	函館市	S60.3.30
	旧開拓使函館支庁書籍庫	元町12-1	函館市	S60.3.30
	無形民俗 文化財	松前神楽	青柳町9-23	松前神楽 連合保存会
史跡	恵山貝塚	恵山町	函館市	S42.3.17
	女那川煉瓦製造所跡	川上町	函館市	S42.3.17
	古武井熔鉱炉跡	高岱町	函館市	S42.3.17

(5) 市指定 (87件)

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	小林源之助著 蝦夷地草木写生図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	小玉貞良筆 蝦夷国風図絵	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	アイヌ風俗12ヵ月屏風1双(うち7月～12月は平沢屏山筆, 1月～6月は宮原柳僊模写)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	近藤重蔵書翰	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	イワン・マホフ著 ろしやのいろは	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	古川古松軒筆 松前蝦夷地之図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	菅原透ほか鏝23点, 唐草文ほか小物5点	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	恵山貝塚出土品を中心とする恵山文化期骨角器製品一括資料506点並びに恵山貝塚出土遺物を中心とする恵山式土器一括資料62点(いずれも旧能登川コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	日ノ浜遺跡出土 硬玉製玉(縄文晩期)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	カムチャツカ出土 マンモス牙	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	セイウチ(海象)剥製	五稜郭町37-8 北洋資料館	函館市	S37.11.3
	樺太出土 マンモス下顎骨と臼歯	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	十一面観音立像	船見町18-14 称名寺	称名寺	S38.11.3
	阿弥陀如来像	船見町18-14 称名寺	称名寺	S38.11.3
	不動明王立像	船見町20-20 真言寺	真言寺	S38.11.3
	梁川八景	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S38.11.3
	唐美人	青柳町17-1 博物館	函館市	S38.11.3
	落下コロポックル人の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S38.11.3
	蝦夷嶋図説	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S39.11.3
	蝦夷嶋奇観	柏木町	個人	S39.11.3
	維摩	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	アイヌ絵巻	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	蓬萊図	湯川町	個人蔵	S39.11.3
	詩書 榎本武揚筆	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	函館新聞綴込一括	柏木町	個人	S39.11.3
	有舌尖頭器類 73点	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	絹本着色 春雨桜雉図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 厳上鴛鴦図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 五節句図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 牡丹睡猫図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	紙本単彩 雁来紅図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	羽太庄左衛門正養 手沢本 休明光記 9冊	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S40.11.3
	羽太庄左衛門正養 手沢本 休明光記付録12冊	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S40.11.3
	蝦夷日誌 松浦武四郎著	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	実験北蝦夷山川地理取調図 松浦武四郎著	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷家財図説 松浦武四郎稿	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷疇奇観 松浦武四郎写	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	短冊 松浦武四郎筆	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	黒百合 松浦武四郎筆	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷人巫寒山遙拝の図 松浦武四郎筆	柏木町	個人	S41.11.3
伝ゴローニンの書	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S43.12.4	
弁天島八千代橋の図	臼尻町595 臼尻小学校	函館市	S53.2.28	

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日	
	川汲温泉葉王殿奉納絵馬 竜の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S53.2.28	
	川汲温泉葉王殿奉納絵馬 馬の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S53.2.28	
	巖島神社旧社殿彫刻	白尻町151 巖島神社	宗教法人巖島神社	S53.2.28	
	奉納経神社仏閣順拝帳	川汲町975	個人	S53.2.28	
	飯田屋漁場文書	尾札部町1220	個人	S53.2.28	
	ヲタハマ稲荷文書	大船町136-1 ヲタハマ稲荷神社	個人	S53.2.28	
	尾札部稲荷神社文書	尾札部町473 尾札部稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S53.2.28	
	熊泊稲荷文書	大船町316-1 大船稲荷神社	宗教法人 大船稲荷神社	S53.2.28	
	旧イギリス領事館	元町33-14	函館市	S54.11.3	
	ペリー提督寄贈の洋酒びん2本 (小島家旧蔵・旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S54.11.3	
	伝目定作 釈迦如来坐像	尾札部町	個人	S54.12.7	
	伝目定作 釈迦如来立像	木直町	個人	S54.12.7	
	伝目定作 脇侍形菩薩立像	川汲町1520-4 南茅部総合センター	函館市	S54.12.7	
	伝目定作 釈迦如来坐像	川汲町1520-4 南茅部総合センター	函館市	S54.12.7	
	伝目定作 恵比須像	大船町	個人	S54.12.7	
	川汲稲荷神社奉納絵馬 『楠木正成正行父子桜井驛の別れの図』	川汲町1520-4 南茅部総合センター	宗教法人 尾札部稲荷神社	H12.8.10	
	伝目定作 恵比須大黒神像	安浦町	個人	H12.8.10	
	白尻B遺跡出土『シカ絵画土器』	白尻町551-1 縄文文化交流センター	函館市	H12.8.10	
	八木B遺跡出土 『注口土器及び下部有孔土器』	白尻町551-1 縄文文化交流センター	函館市	H12.8.10	
	日米親善人形『メリー』	白尻町595 白尻小学校	函館市	H12.8.10	
	函館八幡宮大神輿	谷地頭町2-5 函館八幡宮	函館八幡宮	H14.6.5	
	ブラキストンの大形磨製石斧	青柳町17-1 博物館	函館市	H18.4.12	
	高松凌雲の医療器具	青柳町17-1 博物館	函館市	H18.4.12	
	五稜郭初度設計図	青柳町17-1 博物館	函館市	H20.10.8	
	五稜郭平面図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	H20.10.8	
	円空作仏像観音像	船見町18-14 称名寺	護念山撰取院称名寺	H24.2.8	
	有形民俗	コーディアック・アリユート 3人乗皮舟付かい3本	末広町21-7 北方民族資料館	函館市	S54.11.3
		木直稲荷神社 第1号～第6号棟札	木直町803 木直稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S54.12.7
		川汲稲荷神社 第1号～第4号棟札	川汲町861 川汲稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S54.12.7
		巖島神社 第1号～第6号棟札	白尻町151 巖島神社	宗教法人 巖島神社	S54.12.7
ヲタハマ稲荷神社 第1号～第2号棟札		大船町136-1 ヲタハマ稲荷神社	個人	S54.12.7	
無形民俗 文化財	安浦駒踊り	安浦町	安浦駒踊り保存会	S53.2.28	
	木直大正神楽	木直町	木直大正神楽 保存会	S53.2.28	
史跡	高田屋嘉兵衛碑	柏野町	函館市	S34.8.1	
	日ノ浜遺跡	高岱町	函館市	S34.8.1	
	北海道建網大謀網発祥の地及び記念碑	尾札部町2725	函館市	S53.2.28	
	東エゾ箱館在六箇場所白尻会所跡	白尻町234-1	函館市	S53.2.28	
名勝	恵山	柏野町	国	S34.8.1	
	道南金剛	日浦町	国	S34.8.1	
	賽の河原	柏野町	国	S34.8.1	

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
天然記念物	恵山高山植物群	柏野町	国	S34.8.1
	恵山断層	柏野町117	函館市	S34.8.1
	イチョウの大樹	白尻町175 覚王寺	宗教法人覚王寺	S53.2.28
	「大船の杉」大樹	大船町526	函館市	S53.2.28
	旧白尻村役場のエゾヤマザクラ	白尻町119	函館市	H16.3.10

3 市立学校・幼稚園一覧

(小学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地	学 級 数		
					普通	特別 支援	計
1 弥 生	M15. 4. 1	秋 山 隆 行	23-5285	弥生町4-16	7	2	9
2 青 柳	H2. 4. 1	小 川 祥 子	23-8348	青柳町22-13	8	2	10
3 あさひ	H14. 4. 1	畑 中 雅 昭	22-2181	大森町6-11	6	3	9
4 中 部	S53. 4. 1	山 本 良 子	22-2503	新川町30-26	6	2	8
5 北 星	S63. 4. 1	長谷川 秋 美	41-3340	大縄町24-26	6	2	8
6 八 幡	S16. 1. 15	松 浦 一 秀	41-5245	八幡町15-30	13	2	15
7 万年橋	S2. 1. 10	前 田 知 彦	42-0861	吉川町6-22	6	2	8
8 港	S22. 11. 8	三 浦 務	41-5855	港町1丁目22-1	14	2	16
9 高 盛	S2. 4. 26	松 村 淳	52-5168	高盛町17-1	6	1	7
10 千代ヶ岱	M6. 4. 9	大 場 雅 樹	51-3061	千代台町10-7	6	2	8
11 中 島	S7. 12. 30	稲 岡 敬 人	52-1437	中島町30-5	6	2	8
12 千代田	S25. 1. 7	奥 崎 敏 之	52-2518	梁川町23-4	6	2	8
13 柏 野	S3. 3. 2	片 桐 由 博	51-3877	松陰町5-10	12	2	14
14 金 堀	S31. 10. 1	沢 田 紀 之	51-1023	金堀町3-1	6	2	8
15 駒 場	S25. 4. 1	宇佐美 雅 司	52-2364	駒場町1-6	9	2	11
16 深 堀	S46. 2. 1	紺 野 克 典	53-7822	深堀町14-2	11	3	14
17 日吉が丘	S39. 4. 1	長谷川 巖	51-7072	日吉2丁目34-1	12	2	14
18 北日吉	S50. 4. 1	瀧 澤 義 守	55-0924	日吉4丁目5-5	12	2	14
19 湯 川	M13. 9. 12	工 藤 勉	57-1759	湯川町3丁目42-1	12	2	14
20 高 丘	S51. 5. 1	古 川 邦 彦	57-3381	高丘町3-2	12	2	14
21 上湯川	S45. 2. 1	西 田 浩 人	57-2211	上湯川町295	6	2	8
22 旭 岡	S54. 4. 1	西 口 昌 司	50-2867	西旭岡町1丁目33-1	6	2	8
23 亀 尾	M25. 3. 3	小 林 徹 也	58-4007	亀尾町28	3		3
24 鱒 川	M34. 5. 15	吉 田 敬 三	50-2911	鱒川町91	3	1	4
25 東	S47. 4. 1	前 田 直 樹	58-2847	銭亀町339	6		6
26 石 崎	M13. 4. 2	檉 野 人 範	58-2525	石崎町438	3	1	4
27 桔 梗	M15. 11. 2	宮 越 忍	46-3607	桔梗1丁目13-2	21	2	23
28 中の沢	S42. 9. 15	磯 部 伸 一	47-1302	桔梗5丁目25-5	12		12
29 北昭和	S51. 4. 1	谷 口 光 伸	45-1070	昭和4丁目38-1	7	2	9
30 昭 和	S40. 4. 1	白 幡 俊 一	41-4964	昭和1丁目5-5	14	6	20
31 亀 田	M34. 2. 1	榑 博 之	41-3370	富岡町1丁目18-1	11	3	14
32 赤 川	M13. 7. 30	鳥 羽 栄 治	46-3006	赤川町367	6	2	8
33 中 央	S48. 4. 1	井 岸 撰	46-4910	美原2丁目28-1	8	2	10
34 北美原	S54. 4. 1	佐々木 正 幸	46-1370	北美原1丁目9-16	21		21
35 鍛 神	M13. 4. 23	新 山 亨	51-4503	鍛治2丁目46-4	12	4	16
36 神 山	H7. 4. 1	山 田 幸 俊	32-7211	神山町233-1	12	3	15
37 東 山	S53. 4. 1	一 戸 裕 之	53-5531	東山2丁目3-1	13	2	15
38 本 通	S46. 4. 1	花 田 讓	54-3223	本通1丁目47-2	12	2	14
39 南本通	S58. 4. 1	小 山 みゆき	55-1281	本通3丁目10-1	8	1	9
40 戸井西	H10. 4. 1	水 野 修	58-2554	小安町548-1	3		3
41 日 新	M13. 10. 18	河 野 哲 郎	82-2030	弁才町279-1	3		3
42 えさん	H16. 4. 1	渋 谷 克 巳	84-2341	中浜町79	6	2	8
43 榎法華	M13. 4. 5	佐 藤 君 博	86-2051	新八幡町86-1	3	1	4
44 磨 光	M13. 12. 25	宗 像 英 明	63-2561	尾札部町1609-1	6	3	9
45 臼 尻	M11. 11. 10	大 浦 久美子	25-3059	臼尻町595	4	2	6
46 大 船	M13. 12. 17	鈴 木 敏 文	25-3161	大船町24	3	1	4
小学校計					388	85	473

平成29年5月1日現在

児童数			道費職員				市費職員				学校名
普通	特別支援	計	校長	教員	事務	計	事務	用務	調理	計	
188	7	195	1	12	1	14	1	2		3	弥生
222	5	227	1	15	1	17	1	2		3	青柳
192	10	202	1	17	1	19	1	2		3	あさひ
156	4	160	1	15	1	17		2		2	中部
107	3	110	1	13	1	15		2		2	北星
364	12	376	1	24	2	27	1	2	3	6	八幡
135	2	137	1	13	1	15		2	2	4	万年橋
400	6	406	1	21	1	23	1	2	3	6	港
153	6	159	1	11	1	13		2	2	4	高盛
126	2	128	1	12	1	14		2		2	千代ヶ岱
147	5	152	1	12	1	14		2	2	4	中島
91	3	94	1	11	1	13		2		2	千代田
378	8	386	1	18	1	20	1	2	3	6	柏野
200	9	209	1	12	1	14	1	2	2	5	金堀
228	7	235	1	16	1	18	1	2		3	駒場
243	12	255	1	20	1	22	1	2		3	深堀
357	5	362	1	21	1	23	1	2		3	日吉が丘
315	4	319	1	18	1	20	1	2		3	北日吉
317	6	323	1	18	1	20	1	2		3	湯川
311	9	320	1	18	1	20	1	2		3	高丘
131	2	133	1	11	1	13		2		2	上湯川
203	4	207	1	13	1	15	1	2		3	旭岡
17		17	1	5	1	7		1		1	亀尾
18	2	20		6	1	7		1		1	鱒川
87		87	1	9	1	11		2		2	東
12	1	13	1	6	1	8		1		1	石崎
709	14	723	1	33	1	35	1	2		3	桔梗
344		344	1	16	1	18	1	1		2	中の沢
225	5	230	1	13	1	15	1	2		3	北昭和
449	25	474	1	31	1	33	1	2		3	昭和
276	20	296	1	23	1	25	1	2		3	亀田
100	7	107	1	10	1	12		2		2	赤川
231	8	239	1	17	1	19	1	2		3	中央
687		687	1	28	2	31	1	2		3	北美原
339	24	363	1	24	1	26	1	2		3	鍛神
299	11	310	1	22	1	24	1	2		3	神山
423	7	430	1	22	1	24	1	2		3	東山
330	8	338	1	18	1	20	1	2		3	本通
202	2	204	1	13	1	15	1	2		3	南本通
32		32	1	5	1	7		1		1	戸井西
24		24	1	5	1	7		1		1	日新
66	5	71	1	10	1	12		1		1	えさん
24	1	25	1	6	1	8		1		1	椴法華
127	3	130	1	13	1	15		1		1	磨光
36	3	39	1	8	1	10		1		1	白尻
31	2	33	1	6	1	8		1		1	大船
10052	279	10,331	45	690	48	783	26	81	17	124	小学校計

(中学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地	学 級 数			
					普通	特別 支援	計	
1	西	S52.4.1	安達克佳	22-2625	弥生町11-16	5	1	6
2	潮見	S23.3.31	松田賢治	23-4295	青柳町10-7	5	2	7
3	宇賀の浦	H5.4.1	伊藤彰	23-5295	大森町34-7	5	1	6
4	凌雲	S57.4.1	浦田慎一	51-5248	千代台町22-19	6	2	8
5	港	S32.4.1	鳴海康司	41-5790	港町2丁目10-1	7	2	9
6	光成	S23.4.20	佐竹聡	51-5131	高盛町32-2	3		3
7	的場	S22.5.1	伊藤勝	52-5108	的場町12-7	9	2	11
8	深堀	S36.4.1	蓮本裕一	52-2682	深堀町28-1	9	1	10
9	湯川	S22.5.1	小川弘	59-2008	湯川町2丁目41-1	9	3	12
10	戸倉	S48.4.1	佐々木理之	59-2141	戸倉町26-1	9	2	11
11	旭岡	S56.4.1	三浦佐和子	50-3609	西旭岡町3丁目5	3		3
12	鱒川	S36.4.1	吉田敬三	50-2911	鱒川町91	2	1	3
13	銭亀沢	S29.4.1	松岡利夫	58-2542	豊原町140-30	3	1	4
14	赤川	S55.4.1	加賀重仁	46-0486	赤川町125	9	3	12
15	桔梗	S59.4.1	濱谷操	46-9990	桔梗町429-4	15	1	16
16	亀田	S23.5.10	内山作	46-3005	美原3丁目30-3	18	2	20
17	五稜郭	H28.4.1	風間和夫	41-1332	富岡町1丁目18-2	16	5	21
18	本通	S50.4.1	毛利繁和	55-3141	本通2丁目56-7	17	3	20
19	北	S57.4.1	滝澤智子	56-0553	山の手3丁目58-1	8		8
20	潮光	S27.4.1	工藤千香	82-2160	釜谷町227	3	1	4
21	日新	S22.5.21	額田光治	82-2061	泊町126	3		3
22	恵山	H17.4.1	中埜渡信裕	85-2122	柏野町9	3	1	4
23	楳法華	S22.4.1	岩田学	86-2151	新浜町151-1	2		2
24	尾札部	S24.8.3	笠島美教	63-2762	尾札部町2023	3		3
25	白尻	M22.5.1	福井順一	25-3281	豊崎町205	3		3
中学校計						175	34	209

(高等学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地	
1	市立函館	H19.4.1	佐竹卓	52-0099	柳町11-5

(幼稚園)

園 名	創立年月日	園長氏名	電話番号	所 在 地				
1	はこだて	H15.4.1	戸澤裕美枝	22-4735	千歳町15-5			
2	戸井	H10.4.1	土川千枝	82-3577	小安町523-7			
幼稚園計								

平成29年5月1日現在

生徒数			道費職員				市費職員				学校名
普通	特別支援	計	校長	教員	事務等	計	事務	用務	調理	計	
100	4	104	1	11	1	13		2		2	西
143	5	148	1	17	1	19	1	2		3	潮見
125	1	126	1	12	1	14		1	2	3	宇賀の浦
153	3	156	1	16	1	18		2		2	凌雲
205	6	211	1	16	1	18	1	2		3	港
75		75	1	11	1	13		2		2	光成
317	15	332	1	24	2	27	2	2	3	7	的場
263	3	266	1	19	1	21	1	2	2	5	深掘
270	20	290	1	22	1	24	1	2	3	6	湯川
300	4	304	1	22	1	24	1	2		3	戸倉
94		94	1	9	1	11		2		2	旭岡
11	1	12	1	6		7					鱒川
53	1	54	1	10	1	12		2		2	銭亀沢
306	11	317	1	21	1	23	1	2		3	赤川
526	3	529	1	30	1	32	1	2		3	桔梗
674	12	686	1	39	1	41	1	2		3	亀田
556	33	589	1	37	1	39	1	2		3	五稜郭
617	18	635	1	35	1	37	1	2		3	本通
245		245	1	19	1	21	1	2		3	北
22	1	23	1	10	1	12		1		1	潮光
19		19	1	9	1	11		1		1	日新
49	1	50	1	10	1	12		1		1	恵山
13		13	1	6		7	1	1		2	榎法華
66		66	1	9	1	11		1		1	尾札部
32		32	1	9	1	11		1		1	白尻
5,234	142	5,376	25	429	24	478	14	41	10	65	中学校計

学級数	生徒数	校長	教員	実習助手	事務	用務	計	学校名
24	959	1	69	1	5	0	76	市立函館

学級数				園児数				園長	教員	事務	用務	計	園名
3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計						
	1	1	2		9	8	17	1	3	1		6	はこだて
1	1	1	3	4	7	4	15	1	3		1	5	戸井
1	2	2	5	4	16	12	32	2	6	1	1	11	

4 市内学校・幼稚園一覧（市立学校・幼稚園を除く）

学校種別	設置区分	学 校 名	創立年月日	校長等氏名
大学	国立大学法人	北海道大学水産学部・水産科学院・水産科学研究所	M40.2.1	安 井 肇
	公立	北海道教育大学教育学部函館校	T3.4.1	後 藤 泰 宏
	私立	公立はこだて未来大学	H12.4.1	片 桐 恭 弘
短期大学	私立	函館大学	S40.4.1	野 又 淳 司
		函館短期大学	S28.1.31	猪 上 徳 雄
高等専門学校 高等学校	独立行政法人 道 立	国立高等専門学校機構函館工業高等専門学校	S37.4.1	但 野 茂
		函館中部高等学校	M28.4.1	中 島 悟
		函館西高等学校	M37.12.12	小 松 信 夫
		函館稜北高等学校	S58.4.1	佐々木 光 晴
		函館工業高等学校	M44.2.25	小 島 和 明
		函館商業高等学校	M20.1.11	大 庭 隆
	私立	南茅部高等学校	S24.4.1	戸 波 徹
		函館ラ・サール高等学校	S35.4.1	フェルミン・マルチネス
		函館大学附属有斗高等学校	S13.9.19	山 田 伸 二
		函館白百合学園高等学校	M11.5.28	本 間 厚
		函館大谷高等学校	M21.11.13	丸 山 政 秀
		遺愛女子高等学校	M7.1.26	福 島 基 輝
		函館大妻高等学校	T13.4.1	池 田 延 己
		函館大学附属柏稜高等学校	S32.4.1	宮 岡 秀 昌
		清尚学院高等学校	S5.2.22	土 家 康 宏
中学校	国立大学法人	北海道教育大学附属函館中学校	S22.4.1	金 光 秀 雄
	私立	遺愛女子中学校	S22.4.1	福 島 基 輝
		函館白百合学園中学校	創立S23.4.1 再開H9.4.1～	本 間 厚
		函館ラ・サール中学校	H11.4.1	フェルミン・マルチネス
小学校	国立大学法人	北海道教育大学附属函館小学校	T6.4.1	北 村 博 幸
	私立	函館三育小学校	S55.4.1	鈴 木 宏 和
幼稚園	国立大学法人	北海道教育大学附属函館幼稚園	S45.4.1	橋 本 忠 和
	私立	函館藤幼稚園	S9.10.13	佐 藤 由 規
		元町白百合幼稚園	S36.4.1	須 田 光 子
		カトリック湯の川幼稚園	S32.4.5	伊 藤 克 美
		函館短期大学附属幼稚園	S41.3.18	伊 勢 昭
		遺愛旭岡幼稚園	S57.3.26	福 島 基 輝
		遺愛幼稚園	M28.10.1	福 島 基 輝
		認定こども園 函館大谷幼稚園	S35.7.1	浅 井 睦 子
		認定こども園 花園大谷幼稚園	S49.4.10	長谷川 艶 子
		認定こども園 国の華幼稚園	S31.10.13	岸 田 千 佳 子
		認定こども園 龍谷幼稚園	S12.4.1	坂 本 る み
		認定こども園 函館ちとせ幼稚園	S26.4.1	小 林 博 子
		認定こども園総合施設 函館若葉幼稚園	S33.3.20	鈴 木 眞 由 子
		函館めぐみ幼稚園	S27.11.8	山 西 道 郎
		認定こども園 太陽の子幼稚園	S41.1.25	芝 西 佳 子
		函館白百合学園幼稚園	S25.4.5	堀 内 延 子
		函館大谷短期大学附属認定こども園	S40.4.1	葛 西 眞 理 子
		亀田ゆたか幼稚園	S47.3.2	佐 藤 篤 正
		認定こども園 第二太陽の子幼稚園	S52.2.28	芝 西 佳 子
		函館ひかり幼稚園	S53.12.13	後 藤 秀 子
		函館あおい幼稚園	S54.12.17	和 泉 陽 子
	認定こども園 ききょう幼稚園	S54.12.17	川 村 瑞 枝	
	認定こども園 高丘幼稚園	S54.12.7	玉 利 達 人	
特別支援学校	国立大学法人	北海道教育大学附属特別支援学校	S51.4.1	紀 藤 典 夫
	道 立	北海道函館盲学校	M28.10	秋 保 雅 浩
		北海道函館聾学校	M28.10	室 岡 弘 明
		北海道函館養護学校	S54.4.1	生 内 聡
		北海道函館五稜郭支援学校	S54.4.1	赤 松 拓

電話番号	所在地	学級数	学生・生徒等数	教員数
40-5505	港町3丁目1-1		937	79
44-4411	八幡町1-2		1,207	84
34-6448	亀田中野町116-2		1,192	69
57-1181	高丘町51-1		302	24
57-1800	高丘町52-1		290	19
51-1786	鍛冶1丁目2-3		(本) 184 (専) 10	16
59-6300	戸倉町14-1	(本)25 (専) 4	(本) 917 (専) 39	78
52-0303	時任町11-3	(全)18 (定) 4	(全) 719 (定) 74	(全)48 (定)10
23-8415	元町7-17	(全)11	(全) 439	(全)29
46-6235	石川町181-8	(全) 9	(全) 360	(全)27
51-2271	川原町5-13	(全)18 (定)9	(全) 717 (定) 65	(全)69 (定)26
41-4248	昭和1丁目17-1	(全)13 (定) 4	(全) 505 (定) 41	(全)39 (定)10
25-3372	川汲町1560	(全) 3	(全) 54	(全)12
52-0365	日吉町1丁目12-1	16	542	31
57-1381	湯川町2丁目43-1	17	478	35
55-6682	山の手2丁目6-3	12	358	30
52-1834	鍛冶1丁目2-3	11	286	21
51-0418	杉並町23-11	20	679	35
52-1890	柳町14-23	14	398	31
51-1481	柏木町1-34	15	419	34
41-6584	亀田本町5-17	9	218	13
46-2233	美原3丁目48-6	9	318	17
51-0418	杉並町23-11	6	126	11
55-6682	山の手2丁目6-3	3	56	7
52-0365	日吉町1丁目12-1	9	247	15
46-2235	美原3丁目48-6	12	408	17
34-2115	桔梗5丁目26-1	3	42	4
46-2237	美原3丁目48-6	3	68	5
41-3569	宮前町26-6	5	109	9
23-3551	元町15-30	3	38	4
51-3046	駒場町14-10	4	46	7
51-2757	柏木町7-26	6	93	10
50-3308	西旭岡2丁目6-1	4	66	6
22-0419	元町4-1	5	63	7
51-1674	千代台町10-10	6	87	7
54-2640	花園町17-17	7	127	11
51-0738	梁川町19-17	10	308	24
23-0274	東川町12-24	3	65	5
55-4182	松陰町9-7	7	144	18
42-4471	田家町9-30	7	177	10
47-1735	桔梗町433-43	9	200	11
41-1929	富岡町1丁目42-12	4	96	7
52-0945	山の手2丁目6-3	4	92	8
56-1038	鍛冶1丁目2-3	9	196	18
41-6585	美原1丁目28-10	6	138	12
41-9345	亀田港町13-5	7	167	18
54-2220	神山3丁目52-8	8	225	19
46-1008	美原2丁目46-10	6	166	12
49-0313	西桔梗町218-43	9	246	21
57-3621	高丘町27-33	5	145	23
46-2515	美原3丁目48-1	(小) 3 (中) 3 (高) 3	(小)19 (中)16 (高)24	28
42-3220	田家町19-12	(幼) 0 (小) 1 (中) 3	(幼) 0 (小) 2 (中) 7	15
52-1658	深堀町27-8	(幼) 2 (小) 2 (中) 2	(幼) 2 (小) 6 (中) 5	18
50-3311	旭岡町2	(小) 7 (中) 5 (高)10	(小)20 (中)13 (高)24	67
53-9395	五稜郭町39-13	(高) 6	(高)51	19

5 社会教育関係団体一覧

団体名	代表者名	活動のねらい及び活動内容
函館市児童生徒水難防止協議会	青田 基	児童生徒の水難事故防止普及活動
函館市文化団体協議会	安 保 天 壽	文化団体の発展と市民文化の向上
函館市スポーツ少年団	白 木 荘 太	心身の鍛練とスポーツ少年団の育成
函館市体育協会	久 保 俊 幸	スポーツ団体を統轄し、スポーツ振興を図る
函館マラソン大会実行委員会	岡 部 壽 一	地域住民の体力増進、健康維持を促進
渡島管内図書館振興協議会	北 斗 市 立 函 書 館 長	研修会の開催、管内図書館の連絡協調
函館啄木会	宮 崎 郁 子 岡 田 弘 子	石川啄木資料の永久保存と業績の顕彰
図書裡会	岡 田 弘 子	図書館所蔵の郷土資料複製叢書の刊行等、 図書館活動への寄与
市立函館博物館友の会	若 山 直	博物館活動の普及発展への寄与
函館ユネスコ協会	土 谷 二 朗	ユネスコ精神の推進と普及
研修終了生の会「にれの会」	佐々木 尚孝	会員相互の研修親睦 青少年研修センターの運営協力
函館市青年サークル協議会	丸 藤 競	親睦交流、研修会および活動の協力援助
函館市社会体育振興会	宇 山 隆 夫	地域で活動する指導員の育成と実践
函館市ラジオ体操会	中 村 弘	市民の健康増進のためのラジオ体操の普及と 発展
函館市民プール水泳振興会	小山内 稔	水泳振興を目指すため、指導者相互の研修と 研修協議を行う。
巴万泳会	佐々木 三郎	1万mを区切りとした体力づくり、持久力の向 上を目的とする。



スポーツ健康都市宣言

わたくしたち函館市民は、スポーツと健康づくりを通じて、からだと心を鍛え、活力あふれるまちづくりをめざし、ここに「スポーツ健康都市」を宣言します。

- 1 スポーツと健康づくりに励み、たくましいからだと豊かな心を育てます。
- 1 スポーツと健康づくりに親しみ、明るくすこやかな生活を営みます。
- 1 スポーツと健康づくりを通じて、友情とふれあいの輪を世界に広げます。

平成4年10月10日

函 館 市

